

植物



(1) レッドリスト種（植物）の概要

レッドリスト種に選定した植物は、342種でした。表4-3にカテゴリーごとの種数・概要を示します。

レッドリスト種に選定した種は、山地帯に生育する種や山麓部・平野部、それに河川・水辺に生育する種が多い傾向がみられました。

表4-3 植物レッドリスト種の概要

レッドリストカテゴリー	種数	選定した種の概要
絶滅 (EX)	32	・河川・水辺に生育するアザゼ等を選定しました。
野生絶滅 (EW)	0	・野生絶滅に該当する種は選定されませんでした。
絶滅危惧 I類 (CR+EN)	95	・山地帯に生育するオキナグサやササユリ、湧水地に生育するカワヂシャやコバノヒルムシロ等を選定しました。
絶滅危惧 II類 (VU)	92	・高山帯に生育するオヤマノエンドウや、山地帯に生育するオミナエシやキキョウ等を選定しました。
準絶滅危惧 (NT)	104	・山地帯に生育するカタクリやオオタチツボスミレ、河川・水辺に生育するバイカモ等を選定しました。
情報不足 (DD)	19	・山地帯に生育するガッサンチドリや山麓部・平野部に生育するカザグルマ等を選定しました。

(2) 危惧される減少要因

レッドリスト種の絶滅・減少要因としては、農業や森林管理がおこなわれなくなったことや森林伐採や土地開発等が挙げられます。

そのほか、園芸用の採取が減少要因となっている種もあります。

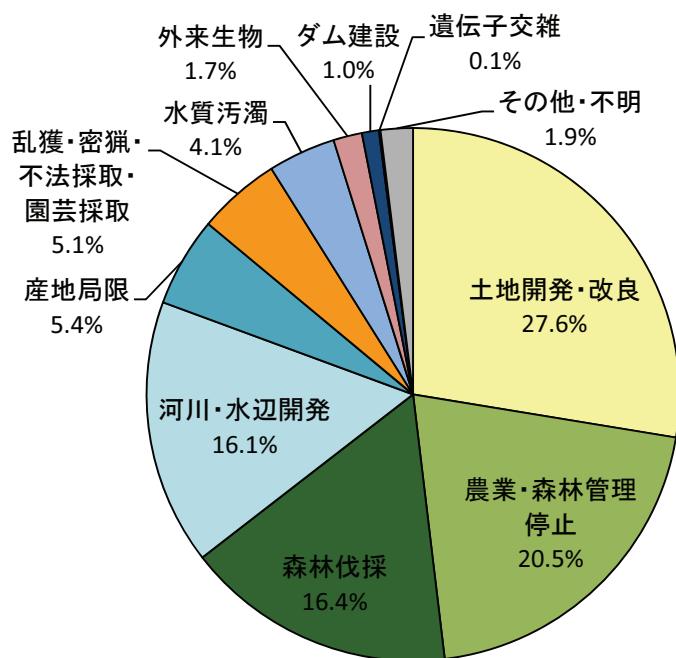


図 4-1 植物レッドリスト種の減少要因の割合

オオタチヤナギ (ヤナギ科)

Salix pierotii



生育環境

ノカラマツ (キンポウゲ科)

Thalictrum simplex var. brevipes



生息環境

安曇野市：絶滅

長野県：—

EX

—

環境省：—

—

●特徴：落葉広葉樹の高木。若葉は両面が絹毛で覆われ、成葉は披針形で長さ9~12cm、先は次第にとがり、基部は鋭形~鈍形、縁に密に細鋸歯があり、裏面は粉白色を帶びます。花は雌雄ともに長さ9~20mmの穂状に密につきます。花期は3~5月で、展葉と同時です。

●生育環境：河川沿いの比較的湿った岸辺に生育します。

●国内の分布：北海道南西部から九州に分布します。

●市内の分布：三郷の黒沢川の岸辺に生育していました。近年確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：伐採されたことによる個体数の減少が考えられます。現在生育している個体は確認されていません。

参考文献 No.

24, 52, 57

ノカラマツ (キンポウゲ科)

Thalictrum simplex var. brevipes



安曇野市：絶滅

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

EX

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ60~120cmの多年草。茎はあまり分枝せず、深い稜があり、1~2回3出の複葉を付けます。花は黄緑色で直径1cm、花弁はなく、多数の細長い雄しべを開出し、茎の先端に円錐状の花序を形成します。花期は6~9月です。

●生育環境：山地帯の日当たりのよい草地に生育します。

●国内の分布：本州から九州にかけて点在します。県内では北部、中部、東部に分布します。

●市内の分布：堀金の山麓部の草原に生育していました。1911年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

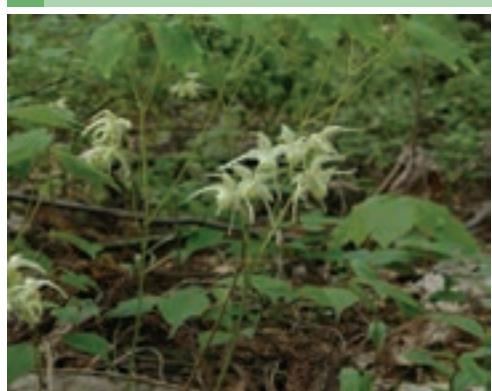
●減少要因：生育地が管理放棄されて森林化したことや、植林などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

キバナイカリソウ (メギ科)

Epimedium koreanum



生息環境

安曇野市：絶滅

長野県：—

EX

環境省：—

—

●特徴：高さ20~40cmの多年草。葉は2回3出複葉で、小葉は薄い洋紙質で先端は尾状に尖ることが多く、縁には刺状の毛が生えます。花は淡い黄色で、約2cmの長い距をもちます。花期は5~6月です。

●生育環境：山地帯の林縁などに生育します。

●国内の分布：北海道（渡島半島）、本州（日本海側）に分布します。県内では北部、南部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の落葉広葉樹林の林縁に生育していました。1930年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：園芸用としての採取による個体の減少が考えられます。また、森林伐採、土地開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

シナノヤマオトギリ (オトギリソウ科)

Hypericum erectum var. *subalpinum*



生育環境



▶草原



安曇野市：絶滅

長野県： — —

EX

環境省： — —

●特徴：高さ 30~60cm の多年草。茎は叢生し、葉は披針状長楕円形で黒点の中に明点が混じり、対生します。花は黄色、長さ 8~9mm の 5 枚の花弁からなります。花期は 7~9 月です。

●生育環境：山地帯の草地などに生育します。

●国内の分布：長野県の中部にのみ分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の草原に生育していました。1933 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：森林伐採、植林、土地開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 16, 24, 57

オオシナノオトギリ (オトギリソウ科)

Hypericum ovalifolium



生育環境



▶草原



安曇野市：絶滅

長野県：絶滅危惧 IB 類

EN

EX

環境省： — —

●特徴：茎の高さ 40~60cm の多年草。地下茎は木質化し、茎は 2~3 本叢生します。葉は対生し、卵形、円頭で基部は広く茎をなから抱き、ふちには黒点が並びます。花は黄色、長さ約 9mm の 5 枚の花弁からなります。花期は 7~9 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の草原に生育します。

●国内の分布：本州（中部地方の日本海側）に分布します。県内では北部、中部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の草原に生育していました。1923 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：登山者の踏みつけによる個体数の減少が考えられます。また、森林伐採、植林、土地開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 24, 57

モウセンゴケ (モウセンゴケ科)

Drosera rotundifolia



生育環境



▶湿地



安曇野市：絶滅

長野県： — —

EX

環境省： — —

●特徴：葉はさじ状で根生します。多数の腺毛があつて粘着し、とまつた虫を捕えて腺毛の分泌液で消化します。花は白色、5 弁からなり、直立した花茎の上部に花序を形成します。花期は 8 月です。県内で最も普通にみられる食虫植物です。

●生育環境：亜高山帯～高山帯の湿地や湿った裸地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の湿地に生育していました。1952 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：湿地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 1, 4, 24, 57

ハナハタザオ (アブラナ科)

Dontostemon dentatus



生息環境



安曇野市：絶滅

長野県：絶滅

EX

EX

環境省：絶滅危惧 IA 類

CR

●特徴：高さ 15~50cm の越年草。茎は直立し、葉は長さ 2~8cm で線状披針形です。花は紅紫色、4枚の花弁からなり、総状花序を形成します。花期は 6~8 月です。果実は 2~6cm の線形で細長く直立気味に付きます。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の日当たりのよい、まばらな草原などに生育します。

●国内の分布：本州（東北地方から中部地方）に分布します。県内では東部に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の草原に生育していました。1924 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：森林伐採、植林、土地開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

マルバマンサク (マンサク科)

Hamamelis japonica var. *obtusata*



生息環境



安曇野市：絶滅

長野県： —

—

EX

環境省： —

—

●特徴：高さ 2~5m の落葉広葉樹。葉は倒卵円形で先は丸いです。若い枝や葉柄には毛が密生します。花は黄色ですが、紅色をおびるものもあります。花弁は 4 枚からなり、広線形です。萼は 4 裂して果期まで残ります。花期は 3~5 月です。

●生育環境：山地帯に生育します。

●国内の分布：北海道西部、本州（日本海側）に分布します。県内では北部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の広葉樹林の林縁に生育していました。1954 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：森林伐採、植林、土地開発などによる悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

ホソバノキリンソウ (ベンケイソウ科)

Sedum aizoon



生息環境



安曇野市：絶滅

長野県： —

—

EX

環境省： —

—

●特徴：高さ 10~50cm の多年草。葉は多肉質で菱状橢円形～橢円形でふちには下半分にも鋸歯があります。花茎は叢生せず、1~2 本が直立し、花は黄色、5 枚の花弁からなり、茎頂に集まって咲きます。花期は 7~8 月です。

●生育環境：山地帯の草原に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の草原に生育していました。1952 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：森林伐採、植林、土地開発などによる減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 52, 57

シラヒゲソウ (ユキノシタ科)

Parnassia foliosa var. *nummularia*



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

EX

環境省：

—

●特徴：高さ 15~30cm の多年草。高さは 15~30cm で、3~8 本の花茎と数枚の根出葉を束生します。花茎は無柄で広卵形、多少茎を抱く葉を 4~6 枚付けます。花は径 2~2.5cm の白色、5 枚の花弁からなります。花期は 8~9 月です。【長野県指定希少野生動植物種】

●生育環境：山地帯から亜高山帯の湿地や湿った岩場に生育します。

●国内の分布：本州（中部地方以西の太平洋側）に分布します。県内では南部、東部に分布します。

●市内の分布：三郷・堀金の山地帯の広葉樹林の湿った林縁に生育していました。1929 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：花が美しいため、園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。また、生育地への植林や森林伐採などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

ノウゴウイチゴ (バラ科)

Fragaria iinumae



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県：

—

EX

環境省：

—

●特徴：多年草。匍匐枝が長く地を這います。根生する葉は倒卵形の 3 小葉からなり、縁には粗いとがった鋸歯があり、裏面は粉白色を帶びます。花は白色で径 15~25mm、5~7 枚の花弁からなり、まばらな集散花序を形成します。花期は 6~7 月です。

●生育環境：亜高山帯の湿った草原に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（日本海側）に分布します。県内では北部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の広葉樹林の林縁に生育していました。1928 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：森林伐採、植林、土地開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

3, 4, 5, 24, 57, 143, 144

マツバニンジン (アマ科)

Linum stelleroides



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県：絶滅危惧 I B 類

EN

EX

環境省：絶滅危惧 I A 類

CR

●特徴：高さ 40~60cm の一年草。茎は直立し、上部で枝分かれします。葉は互生し、柄は無く、狭披針形で長さ 1~3cm、幅 2~4mm。花は淡紫色、直径約 1cm の 5 枚の花弁からなります。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山地帯の日当たりの良い草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の日当たりのよい草原に生育していました。1965 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：森林伐採、植林、土地開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

アイヌタチツボスミレ (スミレ科)

Viola sachalinensis



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県：絶滅危惧 IA 類

CR

EX

環境省： —

—

●特徴：高さ約 10cm の多年草。茎は数本斜めに立ち、葉は円心形で鋸歯があります。花は淡い紫色です。花期は 6~7 月です。

●生育環境：高山帯の裸地に生育します。

●国内の分布：北海道と青森県、長野県に分布します。県内では北部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の森林の林縁に生育していました。1925 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：森林伐採、植林、土地開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

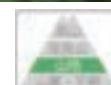
24, 57

スズメウリ (ウリ科)

Melothria japonica



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県： —

—

EX

環境省： —

—

●特徴：つる性の一年草。葉は 3 角状心形で薄く、表面はざらつきます。花は単生で白色、径 6~7mm、花冠は 5 深裂します。花期は 8~9 月です。果実は灰白色球形で径 13~20mm です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁や水辺などに生育します。

●国内の分布：本州、九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科の河川の岸辺に生育していました。1959 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：河川開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 39, 57

フサモ (アリノトウガサ科)

Myriophyllum verticillatum



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県：準絶滅危惧

NT

EX

環境省： —

—

●特徴：水中に生育する多年草。水中葉は 4~5 輪生で羽状に深裂し、裂片は糸状で対生します。花期は 5~7 月で、頂生する穗状花序を水面から突き出し、水中葉より小さい水上葉の腋に花を咲かせます。花序の上部に雄花、下部に雌花を付けます。

●生育環境：山麓部・平野部の溜池、用水路などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科の農地の池や水溜りに生育していました。1913 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：河川や湧水地の開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

イブキボウフウ (セリ科)
Seseli libanotis ssp. *japonica*



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県： — —

EX

環境省： — —

●特徴：高さ 1m 以上の多年草。上部は多く分枝します。葉は 2~3 回羽状複葉で葉裂片の縁及び脈上には細毛があります。花は白色で小さく、径 3~6cm の複散形花序を形成します。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山地帯の草原に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（近畿地方以北）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・穂高の山地帯の草原に生育していました。1953 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：生育地の管理放棄や、植林などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

3, 4, 24, 38, 57

イブキゼリ (セリ科)
Tilingia holopetala



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県： — —

EX

環境省： — —

●特徴：多年草。茎は普通紫色で無毛です。小葉片は卵形から広披針形、欠刻様の粗い鋸歯があります。花は白色で小さく、複散形花序を形成します。花期は 8~10 月です。

●生育環境：亜高山帯～高山帯の草原に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内では北部、南部に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の林縁に生育していました。1966 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：元々個体数が少なく、また、森林開発や植林、自然遷移や管理放棄などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 16, 24, 52, 57

ユキワリソウ (サクラソウ科)
Primula modesta



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県：絶滅危惧 IB 類 EN

EX

環境省： — —

●特徴：高さ 7~16cm の多年草。葉は根生し、倒卵形で先は丸く、下部は柄状となり、裏面は白色です。花は紅紫色で花喉部は黄白色、花冠は 5 深裂し、先はへこみ、茎頂に 3~15 個の花を散状に付けます。花期は 4~6 月です。

●生育環境：山地帯の岩場に生育します。

●国内の分布：本州（中部地方）から九州に分布します。県内では北部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の樹林下に生育していました。1921 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：元々個体数が少なく、また、森林開発や植林、自然遷移や管理放棄などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 24, 57

イヌセンブリ (リンドウ科)

Swertia diluta f. var. *tosaensis*



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県：絶滅

EX

EX

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ 5~30cm の一年草または越年草。茎はしばしば基部から分枝し、葉は橢円状披針形で先は鈍く、対生します。花は白色で淡紫色の条があり、径約 15mm で、5 深裂します。花期は 10~11 月です。

●生育環境：山地帯の湿地に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では北部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高の山麓部の草原の湿った所に生育していました。1936 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

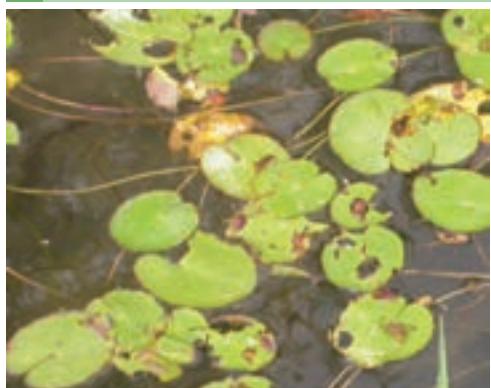
●減少要因：土地開発や圃場整備などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

アサザ (ミツガシワ科)

Nymphoides peltata



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

EX

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：多年草。根茎は泥の中を長くはい、それから太く長い茎を出します。葉は卵形から円形で径 5~10cm、表面は緑色、裏面は紫褐色になります。花は黄色、5 深裂し、裂片の先はへこみ、縁に長い毛があります。花期は 6~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の池や湖や池沼の水中に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では北部、中部、東部に分布します。

●市内の分布：豊科の犀川の古い流路の水たまりに生育していました。2011 年の豪雨により生育地が流されて以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：用水路の改修や河川開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

ツルカコソウ (シソ科)

Ajuga shikotanensis



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県：準絶滅危惧

NT

EX

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ 10~30cm の多年草。花茎は単生で直立します。開出する長い軟毛があります。根生葉は広倒披針形～倒卵形で葉柄があり鈍頭、茎葉は 1~2 対が対生します。花は淡紫色の唇形で茎の上部の苞の腋に輪生状につきます。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の草原に生育します。

●国内の分布：本州に分布します。県内では中部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の草原に生育していました。1933 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：土地開発や圃場整備などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

ジャコウソウ (シソ科)

Chelonopsis moschata



生育環境

ヤマジソ (シソ科)

Mosla japonica



生育環境

ホザキノミミカキグサ (タヌキモ科)

Utricularia caerulea



生育環境

安曇野市：絶滅

長野県：—

EX

—

環境省：—

—

●特徴：高さ 60～100cm の多年草。茎は分枝せずに斜上します。葉は狭倒卵形から広倒披針形で鋭頭、両面に毛が生え、基部は耳状心形で葉柄があり、対生します。花は紅紫色、大きな筒形で葉腋から出た花柄の先につきます。花期は8～9月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の溪流沿いの湿地に生育していました。1923年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

安曇野市：絶滅

長野県：準絶滅危惧

NT

EX

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：高さ 10～40cm の一年草。茎には白い短毛があり、分枝し、しばしば紅紫色を帶びます。葉は卵形～狭卵形で短い葉柄、低い鋸歯があり、両面に短毛が散生します。花は小さく淡紅紫色、唇形で、大きな苞が目立ちます。花期は9～10月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の日当たりのよい草原や裸地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高の山麓部の草原に生育していました。1953年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：土地開発や圃場整備などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

18, 19, 24, 36, 57, 144

安曇野市：絶滅

長野県：絶滅危惧 IB類

EN

EX

環境省：—

—

●特徴：高さ 5～15cm の多年草。糸のように細い根茎を横に這わせ、へら形の地上葉を付けます。地下部に捕虫のうを付けます。花は藍紫色で約 4mm、下向きの距を持ち、花柄があり、花軸の先に 1～4 個付けます。花期は 6～10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の日当たりのよい湿地に生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山麓部の湿地に生育していました。1952年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：土地開発や圃場整備などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

キクアザミ (キク科)

Saussurea ussuriensis



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県：—

—

EX

環境省：—

—

●特徴：高さ 30~120cm の多年草。根生葉は長柄があり、羽状浅中裂から粗歯牙縁、裂片は 3~7 対、上部の茎葉は小さく、無柄です。頭花は紅紫色で散房状につき、総苞片は 5~7 列で、先が短くとがります。花期は 7 月下旬~11 月上旬です。

●生育環境：山地帯の森林の林床や林縁、草原、岩場に生育します。

●国内の分布：本州（福島県以西）、九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科の山地帯の草原に生育していました。近年確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：草原の管理放棄や植林などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 19, 24, 57

セトガヤ (イネ科)

Alopecurus japonicus



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県：絶滅危惧 IB 類

EN

EX

環境省：—

—

●特徴：高さ 20~60cm の一年草。叢生し、葉は幅 5~8mm、花序は 3~6cm で円柱状、小穂は長さ 5~6mm で外花穎の基部から長さ 10~12mm の芒が出ます。スズメノテッポウより花序が太く、外花穎の芒が長いです。花期は 6 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の耕起前の水田に生育します。

●国内の分布：本州（関東地方以西）から南西諸島に分布します。県内では南部に分布します。

●市内の分布：豊科の土手や草原に生育していました。1912 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：土地開発や圃場整備などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

エゾノサヤヌカグサ (イネ科)

Leersia oryzoides



生育環境



安曇野市：絶滅

長野県：—

—

EX

環境省：—

—

●特徴：高さ 50~80cm の多年草。小穂は長楕円形で長さ 4.5~6.5mm、幅 1.5~2mm、枝上に 1 列に並びます。しばしば閉鎖花をつけます。小穂はイネに似ています。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の湧水地に生育していました。1949 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：土地開発や圃場整備などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

ムラサキコウキクサ (ウキクサ科)

Lemna japonica



生育環境



▶ 池 潟
▶ 溪 滝

安曇野市：絶滅

長野県：絶滅危惧 IA 類

CR

EX

環境省：

—

●特徴：常緑の浮遊植物。根端は鈍頭、根鞘基部には翼がありません。葉状体に厚みがあり、根の付け根を中心に赤紫色を帯びています。環境や季節によっては着色のみられない場合があります。

●生育環境：山麓部・平野部の溜池などに生育します。

●国内の分布：全国に分布しますが、特に西南日本に多いです。県内では中部に分布します。

●市内の分布：明科の用水路に生育していました。2001年に水路が改修されて以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：用水路の改修による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57, 59

ヒンジモ (ウキクサ科)

Lemna trisulca Linn. var. sagittata



生育環境



▶ 池 潟

安曇野市：絶滅

長野県：絶滅危惧 IA 類

CR

EX

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：葉の長さ7~10mmの一年草。葉状体は水中に浮遊し、葉は卵状長楕円形で、基部は矢じり形または切形となります。細長い柄があって互いに連結して水中に生育しています。花は夏季に咲き、花を付けた2~数個体が2つの群体となって水上に現れます。

●生育環境：山地帯の湧水があり、水がきれいで水温が低い池沼に生育します。

●国内の分布：北海道、本州に分布します。県内では中部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高・明科の水たまりに生育していました。1949年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：河川や湧水地などの開発による生育地の減少や水質の悪化が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57, 59

ヒンジガヤツリ (カヤツリグサ科)

Lipocarpha microcephala



生育環境



▶ 湿 地
▶ 耕 作 地

安曇野市：絶滅

長野県：

—

EX

環境省：

—

●特徴：高さ5~30cmの一年草。葉は根生し、線形で幅1~2mmです。頭状花序は小型で径5~8mmで多くは3個の柄のない小穂になります。小穂は卵円形で3~5mmです。苞は2個あり、開出します。花期は8~11月です。

●生育環境：山麓部・平野部の水田や湿地に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・穂高の農地に生育していました。近年確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：土地開発や圃場整備などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 19, 24, 57

アリドオシラン (ラン科)

Myrmecischis japonica



生育環境



森林



安曇野市：絶滅

長野県：準絶滅危惧

NT

EX

環境省：

—

●特徴：高さ 5~10cm の多年草。茎は地上を這い、先端が立ち上ります。花茎には白色の毛があり、白色の花を横向きに 1~3 個つけます。花期は 8 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の常緑針葉樹林に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（近畿地方以北）、四国に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の常緑針葉樹林に生育していました。1953 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：植生の遷移や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

3, 4, 16, 24, 52, 57

オオバノトンボソウ (ラン科)

Platanthera minor



生育環境



森林



安曇野市：絶滅

長野県：準絶滅危惧

NT

EX

環境省：

—

●特徴：高さ 25~60cm の多年草。茎に稜があります。葉は下部の数枚が大きく、長楕円形で長さ 7~12cm、上部は披針形で次第に小さくなります。花は黄緑色、10~25 個を穂状に付け、距は 12~15mm で下垂します。花期は 7~8 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山麓部の湿地に生育していました。1922 年以降確認されていないことから、絶滅したと考えられます。

●減少要因：土地開発や生育地の管理放棄、植林などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 13, 16, 24, 52, 57

ミズスギ (ヒカゲノカズラ科)

Lycopodium cernuum



生育環境



森林



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 IA 類

CR

CR+EN

環境省：

—

●特徴：常緑性のシダ類。日本での主な分布域は暖温帶です。匍匐茎は地表を這い、ところどころで側枝をだし直立します。直立枝はよく分枝しスギの木を思わせますが、長野県のものは直立枝がでるほど大きくなりません。

●生育環境：山地帯の温泉付近などのやや湿った暖かい場所などに生育します。

●国内の分布：本州南部から南西諸島、小笠原に分布しますが、北海道や本州北部にも限定的に分布します。県内では中部に分布します。

●市内の分布：穂高の中房温泉の温泉湧出口付近に生育しています。

●減少要因：温泉地の高温のところに生育するので産地が限定されています。

参考文献 No.

4, 13, 24, 57, 69, 145

アズミイノデ (オシダ科)

Polystichum microchlamys var. *azumiense*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：— —

環境省：— —

●特徴：夏緑性のシダ類。カラクサイノデに似ていますが、小羽片は羽軸から独立し、中軸の鱗片はやや小さいです。

●生育環境：山地帯の森林の湿った林床などに生育します。カラクサイノデよりも標高の低い場所に生育します。

●国内の分布：北海道から本州（中部地方）に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 57, 143, 144

ヒメワラビ (ヒメシダ科)

Thelypteris torresiana var. *calvata*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：— —

環境省：— —

●特徴：葉の長さ 60cm～1m の夏緑性のシダ類。葉は広卵状長楕円形、3回羽状深裂～複生です。小羽片は無柄で、植物体全体に短い毛が多いです。

●生育環境：山地帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では北部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林の林床や林縁に生育しています。

●減少要因：ヒノキやスギの植林により林床が暗くなつたことによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

オオクボシダ (ヒメウラボシ科)

Xiphopteris okuboi



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：準絶滅危惧

NT

環境省：— —

●特徴：葉の長さ 3～15cm の小型のシダ類。常緑性です。葉は狭披針形～線形で、羽状に深裂し、裂片は全縁です。葉全体に長毛を密生します。

●生育環境：山地帯の森林や暖温帶林の苔むした岩上に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の比較的標高が低い森林の岩上に生育しています。

●減少要因：周辺の植林による山地帯の岩上の生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

シロヤナギ (ヤナギ科)

Salix jessoensis



生育環境



▶ 湿地

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ約 20m の落葉広葉樹。若葉は両面に白色の絹糸があり、成葉は披針形、先は鋭頭、基部は鋭形から鈍形、縁に小波状の細鋸歯があります。裏面は粉白色です。花穂には短柄があります。花期は 4~6 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の河畔に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内では北部に分布しています。

●市内の分布：穂高の湧水地に生育しています。

●減少要因：河川改修による低湿地にある生育地の減少や、ダム建設後の河川敷の自然遷移による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 24, 57, 59

エゾヤナギ (ヤナギ科)

Salix rorida



生育環境



▶ 河川

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：絶滅危惧 I B 類 EN

環境省： — —

●特徴：高さ約 15m の落葉広葉樹。若葉は有毛ですが、すぐに無毛になります。成葉の葉身は披針形で、基部は楔形、長さ 8~12cm、幅 1.5~3cm、表面は深緑色で光沢があります。花穂は楕円形から長楕円形で柄は無く、葉より先に出ます。花期は 4 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の河畔に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方）に分布します。県内では中部地方に分布します。

●市内の分布：地下水が流れる河川敷の岸辺に生育しています。市内ではかつて奈良井川と梓川の合流点に生育していました。近年、穂高の渓谷に生育しているのがみつかっています。

●減少要因：ダム建設後の河川敷の自然遷移による生育地の悪化や減少が考えられます。分布の南限であり、県内に生育する個体数は大変少ないです。

参考文献 No.

4, 19, 69

ヤマトキホコリ (イラクサ科)

Elatostema laetevirens



生育環境



▶ 河川

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 20~40cm の多年草。茎は斜上し、葉はゆがんだ長楕円形です。雌雄同株で花序は球形、花期は 8~10 月です。ウワバミソウに似ていますが、栄養繁殖は行いません。

●生育環境：山地帯の沢沿いなどに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の渓流沿いに生育しています。

●減少要因：山地帯の渓流沿いにおける開発や自然遷移などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

18, 24, 36, 57, 143

マダイオウ (タデ科)

Rumex madaio



生育環境



▶ 河川

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 1m 以上の多年草。根出葉や下部の葉は大きく、有柄で長卵状橢円形、基部は心形となります。葉裏の脈上に毛状突起が生えます。花は大きな円錐花序を形成しますが、まばらで、果時には枝がすいてみえます。花期は 6~7 月です。

●生育環境：山地帯の水辺に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の渓流沿いに生育しています。

●減少要因：山地帯の渓流沿いにおける開発や森林の管理放棄による生育地の減少、または外来種との競合による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

ワチガイソウ (ナデシコ科)

Pseudostellaria heterantha



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 8~15cm の多年草。茎は直立し、葉は卵状披針形から倒披針形で基部は細くなります。花は白色で上部の葉腋から細長い柄を出して単生し、花弁は 5 枚で倒卵形です。花期は 4~5 月です。

●生育環境：山地帯の落葉広葉樹林の林床などに生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の森林下に生育しています。

●減少要因：山地帯におけるスギやヒノキなどの植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 52, 57, 63

アズミトリカブト (キンポウゲ科)

Aconitum azumiense



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：絶滅危惧 IA 類 CR

環境省： — —

●特徴：高さ 90~150cm の多年草。葉は互生し、長さ 10~22cm で掌状に深く 3 裂します。頂生の花序は下から上へ無限的に開花し、かぶと状の花は青紫色で、距は細長く、強く屈曲します。花柄には毛がありません。花期は 9~10 月です。

●生育環境：山地帯の常緑針葉樹林の林床などに生育します。

●国内の分布：長野県中部にのみ分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：草原における植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 57

シロウマレイジンソウ (キンポウゲ科)

Aconitum pterocaule var. *siroumense*



イラスト

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：大型のつる植物。アズマレイジンソウの変種で、茎がつる状になってしまっており、他の植物にからまるように伸びる特徴があります。花は紅紫色、花柄には毛が密生しています。花期は9~10月です。

●生育環境：山地帯の草原などに生育します。

●国内の分布：本州の日本海側に分布します。県内では北部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24

フクジュソウ (キンポウゲ科)

Adonis ramosa



生育環境

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — NT

環境省： — —

●特徴：高さ15~30cmの多年草。葉は3~4回羽状に細かく分裂します。径3~4cmの大きな黄金色の花を1個頂生します。花弁は萼片とほぼ同長かやや長く、花期は3~4月です。

●生育環境：山地帯の森林や草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の山地帯の常緑針葉樹林の林床に生育しています。

●減少要因：草原や森林の管理放棄による生育地の悪化や減少、乱獲や踏みつけなどによる個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 18, 24, 24, 36, 52, 57, 59, 63

オウレン (キンポウゲ科)

Coptis japonica



生育環境

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： 絶滅危惧 I B 類 EN

環境省： — —

●特徴：高さ15~40cmの多年草。茎は花後伸び、根出葉は1回3出複葉で強い光沢があります。花茎は上部で分枝し、直径約10mmの白色の花を1~3個付けます。花期は4~5月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育し、日陰を好みます。

●国内の分布：北海道南西部と本州（主に日本海側）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：薬草として採取されたことによる個体数の減少や、森林の伐採による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 15, 24, 57

オキナグサ (キンポウゲ科)

Pulsatilla cernua



生息環境



▶ 草原



▶ 河川・海岸

安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 I B 類

EN

CR+EN

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ 10~40cm の多年草。茎や葉全体に白色の長毛が密生し、茎頂に鐘形の花を 1 個付けます。花には花弁が無く、萼片が花弁状になり、長さ 2~2.5cm、内面が暗紫色、外側が白い毛で覆われます。花期は 4~5 月です。【長野県指定希少野生動植物種】

●生育環境：山地帯の日当たりのよい草原に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の日当たりのよい草原に生育しています。

●減少要因：草原の荒廃や森林化による生育地の悪化や減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 24, 52, 57, 59

セツブンソウ (キンポウゲ科)

Shibateranthis pinnatifida



生息環境



▶ 草原



▶ 河川・海岸

安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

CR+EN

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：高さ 5~15cm の多年草。茎葉は不揃いな線形掌状で 2 枚が対生します。花は径約 2cm で 1 個を頂生します。花弁状の萼片は白色で 5~8 枚されます。花期は 3~4 月です。

●生育環境：山地帯の落葉広葉樹林の林床などに生育します。

●国内の分布：本州（関東地方以西）に分布します。県内では北部、中部に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山地帯の落葉広葉樹林の林床や林縁に生育しています。

●減少要因：開発や植生の遷移などによる生育地の悪化や減少及び園芸用としての乱獲による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 52, 57

キンバイソウ (キンポウゲ科)

Trollius hondoensis



生育環境



▶ 森林



▶ 草原

安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：準絶滅危惧

NT

CR+EN

環境省： —

—

●特徴：高さ 40~80cm の多年草。茎は直立し、上部で分枝します。葉は円心形で、不揃いの鋭い鋸歯があります。花は 3~5 個が枝の先につき、花弁は無く、橙黄色の萼片が 5 枚つき、上向きに咲きます。花期は 7~8 月です。

●生育環境：山地帯の湿った森林の林縁や草原に生育します。

●国内の分布：本州（中部地方）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山麓部の森林の林縁に生育しています。

●減少要因：植生の遷移などによる草原などの生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57, 143, 144

コウモリカズラ (ツヅラフジ科)

Menispermum dauricum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：— —

環境省：— —

●特徴：つる植物。葉は浅く5~9裂し、基部よりわずかに内側で柄状に柄がつきます。花は小さな淡緑色、円錐状の花序を形成します。花期は5~6月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁や草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の山麓部の森林の林縁に生育しています。

●減少要因：森林伐採や森林管理の放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57, 59

ミヤマアオイ (ウマノスズクサ科)

Heterotropa fauriei var. *nakaiana*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：準絶滅危惧

NT

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ5~10cmの多年草。茎は地を這い、節間が長く伸長し、毎年1~2枚の根出葉を出します。葉は円腎形で、直径2~6cmです。花は浅い筒形の暗紫色、葉の下に隠れるように咲きます。花期は4月月下旬~6月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の森林の湿った林床を好みます。

●国内の分布：本州（中部地方）に分布します。県内では北部、中部に分布します。

●市内の分布：三郷のやや湿気の多いところに生育しています。

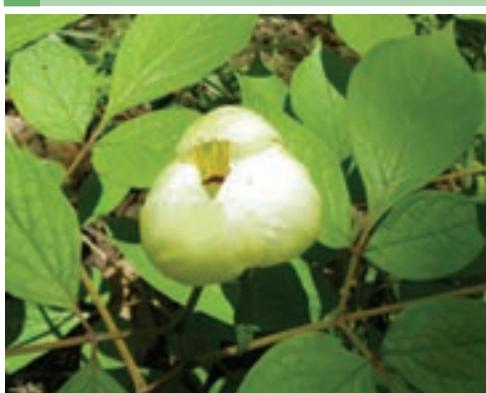
●減少要因：森林伐採や森林管理の放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

ヤマシャクヤク (ボタン科)

Paeonia japonica



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：高さ30~40cmの多年草。根茎は横にはい、太い根を出します。葉は2回3出複葉で3~4枚の茎葉を互生し、葉裏は白色を帶びます。茎の上に白色で大きな球形の花を1つ付けます。花期は5~6月です。【長野県指定希少野生動植物種】

●生育環境：山地帯の腐植土の発達したサワグルミやハルニレなどの落葉広葉樹林の林床に生育します。

●国内の分布：本州（関東地方、中部地方以西）から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林や自然遷移による生育地の悪化や減少及び乱獲や踏みつけによる個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 36, 52, 57, 63

フウロケマン (ケシ科)

Corydalis pallida



生育環境

マルバノキ (マンサク科)

Disanthus cercidifolius



生息環境

安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：—

CR+EN

環境省：—

●特徴：高さ 15~50cm の越年草。茎は円く、斜上します。葉は羽状複葉で、小葉は広卵形で細かく羽状に深裂し、さらに欠刻があります。花は黄色、細長い距を持ち、総状花序を形成します。花期は 4~5 月です。果実は長さ 10~20mm で数珠状です。

●生育環境：山地帯の沢沿いなどに生育します。

●国内の分布：本州（中部地方以西）から九州に分布します。県内では南部、東部に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の裸地に生育しています。

●減少要因：植林や自然遷移による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

マルバノキ (マンサク科)

Disanthus cercidifolius



生息環境

安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：—

CR+EN

環境省：—

●特徴：高さ 2~3m の落葉広葉樹。葉は円形浅心形から心形、鈍頭で全縁、長さ 3.5~8cm、幅 4~9cm で、長さ 2~2.5 cm の葉柄があります。秋に紅葉し、この時期に開花します。前年の蒴果も残っており、花と紅葉と果実が一度にみられる珍しい種です。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。

●国内の分布：本州（中部地方以西）、四国に分布します。県内では主に南部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の森林下に生育しています。

●減少要因：森林伐採による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

13, 18, 23, 24, 36, 48, 57

ボタンネコノメソウ (ユキノシタ科)

Chrysosplenium fauriei var. *kiotense*



生育環境

安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：準絶滅危惧 NT

CR+EN

環境省：—

●特徴：高さ約 10cm の多年草。根生葉は花期まで残り、茎葉は円形から楕円形、基部で急に狭まり無柄です。上部の苞は広楕円形で鮮黄色、萼裂片は直立し、淡緑色、花盤は緑色から淡黄緑色、雄蕊は 8 個、薬は暗紅色です。花期は 4~6 月です。

●生育環境：山地帯の沢沿いに生育します。

●国内の分布：本州（長野県以西の日本海側、ホクリクネコノメより南側）に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の渓流沿いに生育しています。

●減少要因：森林伐採による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

エゾスグリ (ユキノシタ科)

Ribes latifolium



生息環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 IA 類

CR

CR+EN

環境省：

—

●特徴：高さ約1.5mの落葉広葉樹。葉は5~10cmで基部は心形、掌状に5裂し、葉柄は4~6cmで短毛を密生、腺毛を散生します。長さ3~10cmの花序を形成し、萼が赤く鐘型で花弁のようにみえます。花期は5~6月です。果実は赤熟します。

●生育環境：山地帯の沢沿いの樹林内に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（長野県）に分布します。県内では中部、東部に分布します。

●市内の分布：三郷の山麓部のアカマツ林下に生育しています。

●減少要因：森林伐採による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 52, 57

スグリ (ユキノシタ科)

Ribes sinanense



生息環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：—

—

CR+EN

環境省：

—

●特徴：高さ約1.5mの落葉広葉樹。葉腋に太いとげがあります。葉は2~3cmで基部は切形、3中裂、両面に毛を密生し、葉柄は2~4cmで腺毛を散生します。萼は緑白色の筒型で5~7mmの裂片があります。花期は5~6月です。果実は赤熟します。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。

●国内の分布：本州（中部地方）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の犀川の河川敷や土手に生育しています。

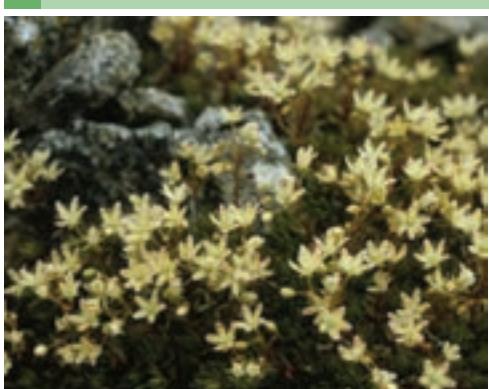
●減少要因：ダム建設後の自然遷移による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 36, 57, 59

シコタンソウ (ユキノシタ科)

Saxifraga cherleriooides var. rebunshirensis



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：—

—

CR+EN

環境省：

—

●特徴：高さ3~12cmの多年草。大きな株となり、葉は肉質で硬く、さじ状から線状の披針形で、縁には開出する毛が生えます。花は茎頂の花序に2~10個つき、花弁は5枚で、白色で濃黄色から赤色の斑点がつきます。花期は7~8月です。

●生育環境：高山帯の岩場に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内で北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高の高山帯の岩場に生育しています。

●減少要因：元々個体数が少なく、登山道の拡張や踏みつけによる個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 13, 24, 57, 144

イワキンバイ (バラ科)

Potentilla dickinsii



生育環境



■ 樹地
■ 草原



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 10~30cm の多年草。茎葉は 3 出複葉です。小葉は菱形で鋸歯があり、裏面は粉白色を帶びます。花は黄色で径約 1cm、5 枚の花弁からなります。花期は 6~7 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の裸地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：森林伐採による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 24, 57

カシオザクラ (バラ科)

Prunus verecunda var. kashioensis



生育環境



■ 樹地
■ 草原



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：絶滅危惧 IA 類

CR

環境省： — —

●特徴：落葉広葉樹の高木。樹皮は暗紅紫色、光沢があります。葉は両面に毛が多く、やや厚くやや光沢があり、基部は円形から僅かに心形です。花柄や萼、花柱の下部に毛があります。花は径約 3cm の淡紅色もしくは白色、葉と同時に開きます。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。

●国内の分布：本州北部及び南部に分布します。県内では北部、南部に分布します。

●市内の分布：明科の山地帯の樹林下に生育しています。

●減少要因：森林伐採による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

59

イワオウギ (マメ科)

Hedysarum vicioides



生育環境



■ 樹地
■ 草原



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 20~80cm の多年草。葉は羽状複葉で、小葉は 11~25 枚、裏面に伏毛があります。花は筒状の黄白色、上方の葉腋から出る花序に 10~30 花が下向きに咲きます。花期は 6~8 月です。節果は 2~4 個の小節果からなります。

●生育環境：主に高山の裸地や岩場に生育します。低山帯や亜高山帯にもみられることがあります。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の高山帯に生育しています。

●減少要因：登山者の踏みつけによる個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 16, 144

マキエハギ (マメ科)

Lespedeza virgata



生息環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：— —

CR+EN

環境省：— —

●特徴：高さ 40~60cm の落葉広葉樹。茎は斜上し、細くて硬く、葉は3小葉からなり、小葉はやや厚く上面は無毛、裏面に伏毛があります。花は淡紅紫色で白色を帯び、短い総状花序に2~5個がつきます。花期は8~9月です。

●生育環境：山地帯の日当たりのよい乾いた道ばたや草原に生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の神社・公園などに生育しています。

●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 19, 24, 38, 52, 57, 59

ノウルシ (トウダイグサ科)

Euphorbia adenochlora



生息環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 I B 類 EN

CR+EN

環境省：準絶滅危惧 NT

●特徴：高さ約 30cm の多年草。直立し、葉は狭い長楕円形から扳針形で互生します。茎頂に5枚の葉を散状に付け、その葉腋から5本の散形枝を出し、各枝から杯状花序を頂生します。花時には黄色い苞葉が目立ちます。花期は4~5月です。

●生育環境：山地帯の標高の低い比較的暖かい湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：堀金・明科の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 24, 36, 39, 57, 144

エゾユズリハ (ユズリハ科)

Daphniphyllum macropodum var. *humile*



生息環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：— —

CR+EN

環境省：— —

●特徴：高さ約 1m の常緑広葉樹。地際から分枝します。葉は枝の先端部に輪生状につきます。葉身は楕円形ないし倒卵状長楕円形、長さ10~15 cmです。花は腋性の総状花序を形成します。花は5~6月に咲きます。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（日本海側）に分布します。県内では北部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：元々個体数が少なく、また、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

フウリンウメモドキ (モチノキ科)

Ilex geniculata



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 1~1.5m の落葉広葉樹。枝には少ないですが明瞭な皮目があります。葉は卵状橢円形で長さ 4~11cm、先はとがり、基部は円形です。花は白色、葉腋から出る長い柄の先に 1~3 個付けます。花期は 6~7 月です。果実は球形で径約 6 mm、赤熟します。

●生育環境：山地帯の湿った場所に生育します。

●国内の分布：本州（東北地方南部から中国地方）から九州に分布します。県内では中部、南部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 57

クロカンバ (クロウメモドキ科)

Rhamnus costata



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 5~7m の落葉広葉樹。直径 10~15cm になり、葉は長楕円形ないし倒卵形です。花は葉腋に数花を束生します。果実はほぼ球形で径 6~8mm、熟すと黒色になります。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山地帯の沢沿いに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の減少や、森林伐採による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

アマチャヅル (ウリ科)

Gynostemma pentaphyllum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：つる性の一年草。葉は掌状複葉で普通 5 枚の小葉からなります。花は小さく、黄色で総状円錐花序を形成します。花冠は 5 深裂、裂片は長さ 2mm で細長く尖ります。花期は 8~9 月です。液果は球形で径 6~8mm、黒緑色をしています。

●生育環境：山地帯の森林の林縁などに分布します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の草原に生育しています。

●減少要因：植林及び管理放棄による草原などの生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 36, 38, 52, 56, 57, 145

ヒメミソハギ (ミソハギ科)

Ammannia multiflora



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：情報不足

DD

CR+EN

環境省：

—

●特徴：高さ 20~40cm の一年草。茎は 4 穂があり枝を分け、葉は対生し、ほとんど柄がない広線形から広披針形で、先がとがり、基部はやや耳状となって茎を抱きます。花は小さく、葉腋に数個密につきます。花期は 9~11 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の水田や休耕田などに生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では北部に分布します。

●市内の分布：明科の山麓部・平野部の水田内に生育しています。

●減少要因：水田の秋起こしや除草剤の使用による生育地の悪化や減少及び外来種のホソバヒメミソハギとの競合による減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 52, 57

ミズキカシグサ (ミソハギ科)

Rotala leptopetala var. *littorea*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：情報不足

DD

CR+EN

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ 10~30cm の一年草。茎は直立し、多くの枝を付けます。葉は対生し、柄は無く披針形で先はとがり、枝につきます。葉は急に小さくなります。花は葉腋につきしばしば帶紅色です。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の水田や休耕田などに生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷の山麓部・平野部の水田内に生育しています。

●減少要因：水田の秋起こしや除草剤の使用による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

アリノトウグサ (アリノトウグサ科)

Haloragis micrantha



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：—

—

CR+EN

環境省：—

—

●特徴：高さ 10~40cm の多年草。茎の下部は地面を這って枝を分け、直立します。葉は対生、上部の葉は時に互生し、長さ 6~12mm の卵形から卵円形です。花は小さく複総状花序を形成し、雄花期と雌花期があります。花期は 7~9 月です。

●生育環境：山地帯の日当たりのよい草原に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 18, 24, 36, 48, 52, 57, 145

セントウソウ (セリ科)

Chamaele decumbens



生息環境



森林



河川

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 10~30cm の多年草。莖は数個株立して斜上し、葉は 1~3 個 3 出複葉で長柄があり、小葉は卵形となります。花は白色、5~10 個の小花から複散形花序を形成し、花期は 4~5 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の森林の林床や沢沿いに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：明科の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 38, 57, 59

セリモドキ (セリ科)

Dystaenia ibukiensis



生息環境



森林



河川

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 60~80cm の多年草。節に白毛があります。葉は 2~3 回羽状複葉で、切れ込みは不規則で縁に短毛があります。花は白色で複散形花序を形成します。花期は 7~9 月です。

●生育環境：山麓部から山地帯の林縁に生育します。

●国内の分布：本州（中部地方以北の日本海側）に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の渓流沿いに生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 52, 57

オオハナウド (セリ科)

Heracleum dulce



生息環境



森林



草原

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 1~1.6m の多年草。葉は 3 小葉でやや大きく、裂片の先は長く尖ります。葉裏面には短毛が密生します。花は白色で大きな複散形花序を形成します。花序の一一番外側の花は形が異なりやや大きくなります。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：北海道、本州（近畿地方以北）に分布します。県内では北部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 57, 69, 143

ジムカデ (ツツジ科)

Harriemanella stelleriana



生育環境



▶ 草原
▶ 地



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 3~5cm の常緑広葉樹。茎は地面を長く這います。葉は小さく常緑で茎にらせん状に密につきます。花は白色、下若しくは横向きの楕形、立ち上がった茎の先に 1 個つきます。花期は 7~8 月です。

●生育環境：高山帯の岩場に生育します。

●国内の分布：北海道、本州(中部地方)に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の高山帯の乾いた草原に生育しています。

●減少要因：登山者の踏みつけによる個体数の現象が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 13, 16, 24, 57, 143

バイカツツジ (ツツジ科)

Rhododendron semibarbatum



生育環境



▶ 草
▶ 地



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：落葉広葉樹の低木。葉は薄く、枝先にやや輪状に集まって互生し、橢円形です。花を前年枝の先端近くに付けるため、葉の下に隠れて咲くように見えます。花は白色、上側内面に赤色の斑点があります。花期は 6~7 月です。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。

●国内の分布：北海道南部から九州に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：堀金の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 36, 48, 57

オオアカネ (アカネ科)

Rubia hexaphylla



生育環境



▶ 森林
▶ 農作地



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：つる性の多年草。葉は 6~8 枚が輪生します。葉腋から集散花序を伸ばし、径約 3mm の黄緑色であり目立たない花を付けます。花期は 8 月です。果実は核果で黒色に熟します。

●生育環境：山地帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：本州中部、九州北部に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：明科の農地の土手に生育しています。

●減少要因：草刈りや耕作放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57, 59

クマツヅラ (クマツヅラ科)

Verbena officinalis



生育環境



草原



河川・海岸

安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：— —

CR+EN

環境省：— —

●特徴：高さ 30~80cm の多年草。茎は四角で直立し、葉は羽状に中裂から深裂し、茎とともに毛があり、対生します。花は淡紅紫色、筒状の唇形で、約 30cm になる穗状花序を形成します。花期は 6~9 月です。

●生育環境：山地帯の草原や道ばたに生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。

●市内の分布：明科の山麓部・平野部の道ばたに生育しています。

●減少要因：元々個体数が少なく、踏みつけによる生育地の悪化が考えられます。

参考文献 No.

-

ニシキゴロモ (シソ科)

Ajuga yesoensis



生育環境



森林



河川・海岸

安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：— —

CR+EN

環境省：— —

●特徴：高さ約 10cm の多年草。茎は根本で分枝して立ち上がります。葉は數対が対生し、長楕円形から広卵形で葉柄があり、裏面が紫色を帯びることもあります。花は淡紫色若しくは淡紅色か白色、唇形で 2~6 個ずつが葉腋につきます。花期は 4~5 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州北部に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の森林の林床に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 16, 24, 57

ムシャリンドウ (シソ科)

Dracocephalum argunense



生育環境



草原



河川・海岸

安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 II 類 VU

CR+EN

環境省：絶滅危惧 II 類 VU

●特徴：高さ 20~40cm の多年草。茎は四角で直立し、下向きの細毛があります。上部の葉は広線形、全縁で厚く光沢があり、対生します。花は青紫色、筒状の唇形で下唇は 3 裂し中央裂片が大きくなり、茎頂に短い花穂を形成します。花期は 6~8 月です。

●生育環境：山地帯の草原に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の草原に生育しています。

●減少要因：草原などの生育地の減少及び花が美しいので園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 19, 24, 57, 59

ミゾコウジュ (シソ科)

Salvia plebeia



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 IA 類

CR

CR+EN

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：高さ 30~70cm の越年草。茎は四角で直立し、下向きの細毛があります。茎葉は短い柄があって対生し、縁に鈍い鋸歯があり、葉面のシワが目立ちます。花は淡紫色、筒状の唇形で、茎頂や葉腋から出る花序に多数つきます。花期は 8~9 月です。

●生育環境：河川敷の湿った草原、山麓部・平野部の湿地や水田の畦などに生育します。

●国内の分布：本州（茨城県以南）から南西諸島に分布します。県内では北部に分布します。

●市内の分布：明科の河川敷に生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発後の水質汚濁による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 24, 57

ウリクサ (ゴマノハグサ科)

Lindernia crustacea



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

CR+EN

環境省： —

—

●特徴：茎の長さ 10~20cm の一年草。茎は基部から分枝して地面に拡がり、葉は卵形または橢円形、鈍頭で低い鋸歯が数個あり、基部は丸く短い柄があり、対生します。花は紫色、唇形で葉腋から出る細長い花柄の先につきます。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の畠地や道ばたに生育します。

●国内の分布：日本全国に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：山麓部・平野部の水田の畦に生育しています。かつては全域の水田に普通にみられていました。

●減少要因：水田への除草剤の使用や稲作の変化による生育地の悪化が考えられます。

参考文献 No.

4, 19, 24, 57, 63, 144

オオヒナノウツボ (ゴマノハグサ科)

Scrophularia kakudensis



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：準絶滅危惧

NT

CR+EN

環境省： —

—

●特徴：高さ約 1m の多年草。茎は直立し、僅かに毛があります。葉は長卵形または卵形で質厚く、縁辺は上向きの細鋸歯が並び、鋭尖頭です。花は暗紅紫色、唇形で茎の先によく分枝する円錐花序を付け、花柄は斜上します。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁や草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の林縁に生育しています。1977 年以降確認されていません。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 52, 57

イヌノフグリ (ゴマノハグサ科)

Veronica polita var. *lilacina*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

CR+EN

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ 5~25cm の越年草。茎は分枝して横に広がり、全体に毛が散生します。葉は卵円形で下部では対生、上部では互生します。花は淡紅白色、紅紫色の条があり、葉腋ごとに 1 花つきます。花期は 3~5 月です。果実は 2 個の球が接した形です。

●生育環境：山麓部・平野部の畑地や道ばたの草原、石垣の間などに生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の農地に生育しています。

●減少要因：土地改良や作物の植え付け品種の減少、除草剤の使用などによる生育地の悪化が考えられます。外来種のオオイヌノフグリ、タチイヌノフグリとの競合もあります。

参考文献 No. 4, 24, 57, 59

カワヂシャ (ゴマノハグサ科)

Veronica undulata



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：準絶滅危惧

NT

CR+EN

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：高さ 10~50cm の越年草。茎は直立し、全体に毛無です。葉は披針形から長楕円状披針形でややとがる鋸歯があり、基部はやや茎を抱きます。花は白色、淡紅紫色の条があり、葉腋から出た花序に 15~50 個が付きます。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の水田の溝や岸辺に生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の細流や放置されたワサビ田に生育しています。

●減少要因：水路の管理放棄や湧水地の開発による生育地の悪化や少や、外来種のオオカワヂシャの繁茂による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No. 4, 16, 19, 20, 24, 56, 57, 59, 144, 145, 146

オカウツボ (ハマウツボ科)

Orobanche caerulescens



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：一

一

CR+EN

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ 10~25cm の寄生性の一年草。ハマウツボのうち、オトコヨモギに寄生するものをオカウツボと呼びます。茎は黄褐色で太く直立し、花は淡紫色、筒状の唇形で茎の上部に密につきます。花期は 5~7 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の日当たりのよい草原に生育します。

●国内の分布：母種であるハマウツボは北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の犀川の土手に生育しています。

●減少要因：過度の草刈りや踏みつけによる生育環境の悪化及び個体数の減少が考えられます。

参考文献 No. 4, 59

ミミカキグサ (タヌキモ科)

Utricularia bifida



生息環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

CR+EN

環境省：

—

●特徴：高さ 5~15cm の多年草。糸のように細い根茎が横に這い、線形の地上葉を付けます。地下部に捕虫のうがあります。花は約 3.5mm で黄色、後方斜め下向きの距を持ち、花柄があり、花軸の先に 1~4 個付けます。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の地表を流れる水のある湿地に生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山麓部の湿地に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の減少及び土地開発による湿地にある生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

ミヅカクシ (キヨウ科)

Lobelia chinensis



生息環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：

—

CR+EN

環境省：

—

●特徴：高さ 10~15cm の多年草。茎は地表を横に這い、斜上升する側枝を多く出し、葉は披針形でまばらに互生します。花は白色、淡紅色を帶び、長い花柄をもち葉腋から単生します。花は 2 唇形ですが、上側の 2 裂片と下側の 3 裂片はほぼ同形です。花期は 6~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の水田の畦や湿った道ばたに生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の水田の畦に生育しています。

●減少要因：水田での除草剤の使用や稲作の変化（畦ブロック使用など）による生育地の悪化が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 19, 24, 57, 59, 144

カントウヨメナ (キク科)

Aster yomena var. *dentatus*



生息環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

CR+EN

環境省：

—

●特徴：高さ約 80cm の多年草。葉は長楕円形で大きな鋸歯があり、両面に密毛があります。頭花は径 2.5~3cm で舌状花は淡青紫色～白色、筒状花は黄色です。総苞片はへら形です。花期 8~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湿地、湿った水田の畦や草原に生育します。

●国内の分布：本州（関東地方以北）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科の山麓部・平野部の草原に生育しています。

●減少要因：土地開発や道路工事による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 36, 57

モミジガサ (キク科)

Cacalia delphinifolia



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：— —

環境省：— —

●特徴：高さ 40~80cm の多年草。中部の葉は有柄、円形で掌状に 7 裂し、上部の葉は 3~5 裂で比較的小さいです。頭花は白色、多くは円錐状につき、小花は 5 個ずつつきます。花期は 8 月中旬~10 月下旬です。

●生育環境：山地帯の森林の林床や沢筋に生育し、湿った場所を好みます。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林の林床に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 24, 36, 48, 57, 145

カセンソウ (キク科)

Inula salicina var. *asiatica*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：— —

環境省：— —

●特徴：高さ 20~80cm の多年草。有毛で、葉は披針形で無縫、基部は耳状で広く茎を抱きます。頭花は黄色、径 3.5~4cm で 1~多数を茎の上部に上向きに付けます。花期は 6 月下旬~10 月下旬です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の湿地や湿った森林の林縁、道ばたに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の日当たりのよい湿地に生育しています。

●減少要因：河川の改修や土地改良による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 18, 19, 24, 36, 57, 59, 144

タカサゴソウ (キク科)

Ixeris chinensis ssp. *strigosa*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：絶滅危惧 II 類 VU

環境省：絶滅危惧 II 類 VU

●特徴：高さ 20~40cm の多年草。根生葉はロゼット状で花時にもあり、披針形か長楕円状披針形で全縁から不整羽裂、茎葉は少ないです。頭花は帶紫白色、径 2~2.5cm です。花期は 4~8 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の日当たりのよい草原や道ばたに生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の草原に生育しています。

●減少要因：草原の森林化による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 13, 24, 57, 59

ミヤマヨメナ (キク科)

Miyamayomena savatieri



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

CR+EN

環境省：

—

—

●特徴：高さ 20~50cm の多年草。根生葉は花時に残り、ロゼットを形成します。茎葉は長楕円形、大きな鋸歯が 4~6 個あり、葉柄に翼があります。頭花は径 3.5~4cm 舌状花は淡青紫色、筒状花は黄色です。花期は 5~7 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の森林の林床に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では北部、東部、南部に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の日当たりのよい草原に生育しています。

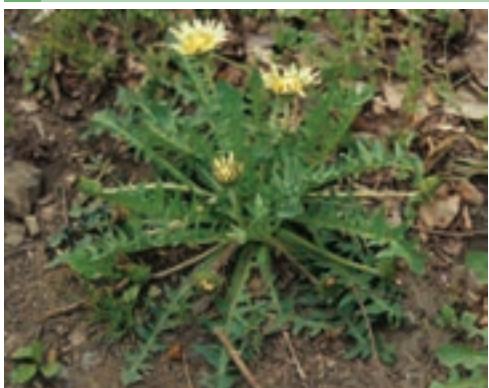
●減少要因：植林や管理放棄などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 52

ウスギタンポポ (キク科)

Taraxacum shinanense



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

CR+EN

環境省：

—

—

●特徴：多年草。葉と総苞は淡緑色、頭花は淡黄色です。総苞外片の角状突起は無い、もしくは小さいです。花期は 4~5 月です。

●生育環境：山地帯の日当たりのよい草原や道ばたに生育します。

●国内の分布：北海道、本州に分布します。県内では北部、中部、東部に分布します。

●市内の分布：明科の山地帯の日当たりのよい道ばたに生育しています。分布の南限にあたります。

●減少要因：道路開発による生育地の悪化や減少及び外来種との競合による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 36, 57, 59

アズミノヘラオモダカ (オモダカ科)

Alisma canaliculatum var. *azuminoense*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 IA 類

CR

CR+EN

環境省：絶滅危惧 IB 類

EN

●特徴：高さ 15~30cm の多年草。葉は根生し、披針形で基部は葉柄につづきます。花は白色、3 枚の花弁からなり、花茎は葉より上に伸びず、花が密集します。花序の枝は 3 本ずつ輪生し、さらに小枝を 3 本ずつ輪生します。花期は 7~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の池や水田などに生育します。

●国内の分布：長野県に固有で、安曇野市や松本市、茅野市に分布します。

●市内の分布：豊科の水田に生育しています。

●減少要因：圃場整備による生育地の減少及び水田での除草剤の使用や稻作の変化による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

19, 52, 63

トチカガミ (トチカガミ科)

Hydrocharis dubia



生育環境

セキショウモ (トチカガミ科)

Vallisneria asiatica



生育環境

コバノヒルムシロ (ヒルムシロ科)

Potamogeton cristatus



生育環境

安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅

EX

CR+EN

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：葉の径 2~7cm の浮葉性の多年草。走出枝が水底を這います。葉は長柄があり、円形で、基部は心形または深く切れ込み、裏面には気のうがあります。花は白色、やや大きく、雄花雌花ともに 3 枚の花弁からなります。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湖や池沼、溜池、用水路に生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では中部に分布します。

●市内の分布：豊科の水田に生育しています。

●減少要因：除草剤の使用や稲作の変化による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 I B 類

EN

CR+EN

環境省： —

—

●特徴：葉の長さ 30~70cm の沈水性の多年草。白色の走出枝が泥中を横に這います。葉は根生し、線形で鈍頭、幅は 4~10mm で、上部に不明瞭な鋸歯があります。雄花は花柄が切れて水面に浮上し、雌花は苞鞘の柄が水面まで伸びます。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山地帯の湖や池沼、河川、用水路などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の湧水地の水路に生育しています。

●減少要因：水路の改良や管理放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 19, 52

安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

CR+EN

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：沈水葉の長さ 4~6cm の沈水性または浮葉性の多年草。沈水葉は狭線形で、幅は 1mm 以下です。浮水葉は長さ 6~15mm の柄を持ち、長楕円形で、長さ 20~25mm、幅は 5~10mm で、基部はくさび形です。長さ 6~10mm の穂状花序を形成します。花期は 5~9 月です。

●生育環境：山地帯の湖や池沼、溜池に生育します。

●国内の分布：本州以西に分布します。県内では中部、南部に分布します。

●市内の分布：明科の湧水地や用水路に生育しています。

●減少要因：水路の改良や管理放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57, 144

フトヒルムシロ (ヒルムシロ科)

Potamogeton fischeri



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：— —

環境省：— —

●特徴：沈水性、浮葉性の多年草。沈水葉は披針形、浮葉は長楕円形でヒルムシロに似ていますが、葉の基部は円形または浅い心形で、縁が葉柄に沿って流れ、波型のしわを作ります。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の湖や池沼、溜池に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の用水路や溜池に生育しています。

●減少要因：植林後、日当たりが悪くなつたことによる生育地の悪化及びほかの種類との競合による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No. 16, 145

ナガレミズヒキモ (ヒルムシロ科)

Potamogeton octandrus var. octandrus



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：— —

環境省：— —

●特徴：沈水性の多年草。沈水葉は線形で沈水葉の中肋の両側に細胞間隙が良く発達するため透けてみえます。

●生育環境：山麓部・平野部の溜池や用水路などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科の湧水地や用水路に生育しています。

●減少要因：水路の改良や管理放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 24

ササユリ (ユリ科)

Lilium japonicum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：準絶滅危惧

NT

環境省：— —

●特徴：高さ 50~100cm の多年草。葉は披針形で柄があります。花は白色から淡紅色、大きな漏斗形で長さは 10~15cm です。花期は 6~7 月です。【長野県指定希少野生動植物種】

●生育環境：山地帯の森林の林縁や草原に生育します。

●国内の分布：本州（中部地方以西）から九州に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No. 1, 4, 15, 16, 24, 52, 57, 145

ヒメヤブラン (ユリ科)

Liriope minor



生育環境



森 林



草 原

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ約 20cm の多年草。葉は線形で細長く、幅は 2~3mm、根生します。花は淡紅色で茎頂にまばらな総状花序を形成します。花期は 7~9 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁や草原に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では北部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：明科の山地帯の日当たりのよい草原に生育しています。

●減少要因：草原の管理放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 19, 52

イトイヌノヒゲ (ホシクサ科)

Eriocaulon decemflorum var. nipponicum



生育環境



湿 地



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 2~39cm の一年草。根生葉の長さは 3~10cm、茎はごく短く、根生葉は線形です。頭花は花茎に頂生し、倒円錐形で径 1~7mm、白色で、総苞片は卵状披針形で頭花より長くなります。花期は 8 月下旬~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山麓部の湿原に生育しています。

●減少要因：土地開発による湿原などの生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

シロイヌノヒゲ (ホシクサ科)

Eriocaulon sikokianum



生育環境



湿 地



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：根生葉の長さ 12~18cm の一年草。茎は無く、根生葉は線形です。頭花は半球形で総苞を含み径 8~10mm、総苞片は頭花とほぼ同長です。花期は 8 月下旬~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湿地に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山麓部の湿原に生育しています。

●減少要因：土地開発による湿原などの生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

ヒロハノコヌカグサ (イネ科)

Aulacolepis treutleri var. *japonica*



生育環境



森林



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 I B 類

EN

CR+EN

環境省：

—

—

●特徴：高さ約 1m の多年草。葉は幅 1~2.2cm です。花序は 20~30cm の円錐形で、枝先にまばらに小穂がつきます。小穂は長さ約 3.5mm で 1 小花です。コヌカグサ類に比べ、小花は苞穎より長く、苞穎は長短二様です。花期は 6~7 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：本州（中部地方以西）に分布します。県内では中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高の森林の林床に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 24, 52, 57, 143

ミサヤマチャヒキ (イネ科)

Helictotrichon hideoi



生育環境



草原



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：

—

CR+EN

環境省：

—

—

●特徴：高さ 70~90cm の多年草。茎は細く、根出葉は細長く、花序は 6~8cm、やや疎らに拡がり、各枝にやや密に 1~2 個の小穂を付けます。小穂は小型で扁平、2~4 小花で、外花穎の背面から太い屈曲する芒が出ます。花期は 6~7 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の草原に生育します。

●国内の分布：長野県、静岡県に分布します。県内では中部、南部に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の草原に生育しています。

●減少要因：市内では個体数が少なく、森林や草原などの生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

19, 24, 57, 59

オオヒゲナガカリヤスモドキ (イネ科)

Miscanthus intermedium



生育環境



草原



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：

—

CR+EN

環境省：

—

—

●特徴：高さ 80~100cm の多年草。葉は幅 15~25mm、裏面は白色を帯び、疎らに長毛が生えることが多く、最上の葉は長さ 15cm 以上になります。総は 6~12 本で、カリヤスとの区別が難しいことがあります。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山地帯の草原に生育します。

●国内の分布：本州（東北地方及び中部地方の日本海側）に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の湿地に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

ヌメリグサ (イネ科)

Sacciolepis indica var. *oryzetorum*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：準絶滅危惧

NT

CR+EN

環境省：

—

●特徴：高さ 30～60cm の一年草。稈は直径 2mm 以上で基部から直立し、葉は幅 4～7mm で、花序は濃緑色でしばしば紫色を帯び、長さは 3～12cm です。花期は 8～10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の日当たりのよい湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では北部、南部に分布します。

●市内の分布：明科の高瀬川の河川敷に生育しています。

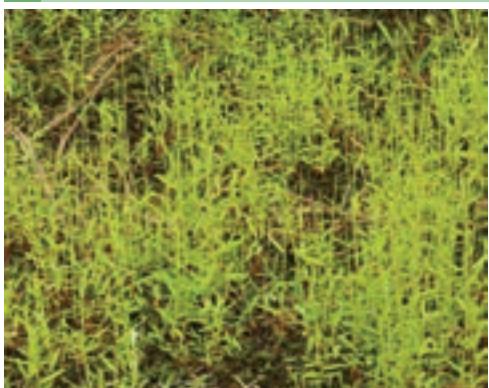
●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発後の水質汚濁による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

ウシクサ (イネ科)

Schizachyrium brevifolium



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 I B 類

EN

CR+EN

環境省：

—

●特徴：高さ 10～40cm の一年草。葉は短く、長さは 2～4cm、幅は 2～5mm です。花序は小花序が総状に並び、小花序は細い円筒形で基部が 1 本ずつ鞘葉に包まれ、有柄小穂と無柄小穂が対になって密につきます。花期は 8～10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湿った草原に生育します。

●国内の分布：本州（関東地方以西）から南西諸島に分布します。県内では中部、南部に分布します。

●市内の分布：豊科・堀金の湿地に生育しています。

●減少要因：土地開発や土地改良による湿地などの生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

イナヒロハテンナンショウ (サトイモ科)

Arisaema inaeense



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 I A 類

CR

CR+EN

環境省：絶滅危惧 I A 類

CR

●特徴：高さ 15～25cm の多年草。花茎が短く、仏炎苞筒部に隆起条があります。ヒロハテンナンショウに似ていますが、仏炎苞や花序付属体の形態が異なっています。花期は 5～6 月です。

●生育環境：山地帯の落葉広葉樹林の林床などに生育します。

●国内の分布：長野県、岐阜県に分布します。県内では中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

ザゼンソウ (サトイモ科)

Symplocarpus foetidus var. *latissimus*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：葉の長さ約 40cm になる多年草。葉は長柄があり、花は展葉前に開花し、長さ 10~20cm の花序に密に花を付け、悪臭があります。仮炎苞は暗紫褐色またはまれに緑色、長さは約 20cm、径約 15cm になります。花期は 3~7 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道、本州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山麓部の湿地に生育しています。

●減少要因：元々個体数が少なく、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 18, 21, 24, 36, 48, 52, 57

ヒメザゼンソウ (サトイモ科)

Symplocarpus nipponicus



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：葉の長さ 10~20cm の多年草。葉は長柄があります。花は展葉後に開花し、広楕円形で、長さ約 1cm の花序に密に花を付け、仮炎苞は暗紫褐色です。花期は 6 月です。

●生育環境：山地帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道、本州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷の山麓部の湿地に生育しています。

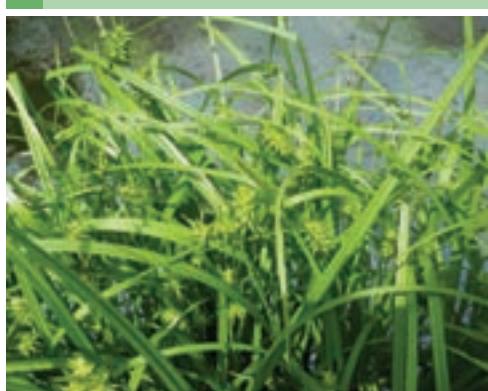
●減少要因：元々個体数が少なく、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 29, 36, 46, 52, 144

オニスゲ (カヤツリグサ科)

Carex dickinsii



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 20~50cm の多年草。根茎は長く匍匐します。葉は幅 4~8mm で、基部の鞘は淡褐色です。頂小穂は雄性で長い柄があり、側小穂は雌性で楕円形、柄はありません。果胞は長さ約 10mm で長い嘴をもち、熟すと開出します。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山地帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州まで分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の湿地に生育しています。

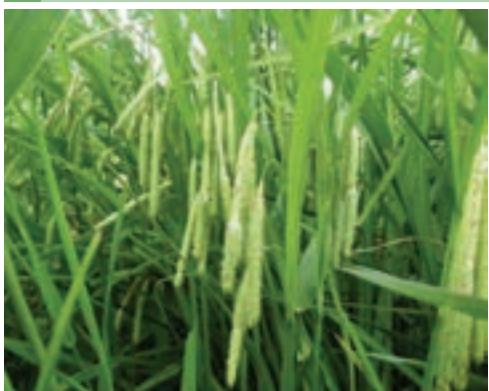
●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57, 145

アゼナルコ (カヤツリグサ科)

Carex dimorpholepis



生育環境



▶ 河川

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：絶滅危惧 I B 類

EN

環境省：

—

—

●特徴：高さ 40~80cm の多年草。叢生し、葉は幅 4~10mm で、基部の鞘は褐色です。小穂は 4~6 個がつき、下垂する円柱形で長さは 3 ~6cm、柄があり、上部では基部に雄花がつきます。果胞のくちばしは短いです。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の河畔の湿った草原などに生育します。

●国内の分布：北海道、本州、九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の河川敷に生育しています。

●減少要因：河川開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

-

ヤチカラズスゲ (カヤツリグサ科)

Carex omiana



生育環境



▶ 河川

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：

—

—

環境省：

—

—

●特徴：高さ 30~50cm の多年草。短い根茎から叢生します。葉は幅 2mm、基部の鞘は灰褐色です。花穂は 3~5 の小穂をややまばらに付け、小穂は数個の果胞からなり、熟すと開出、反曲します。果胞は長い嘴をもちます。花期は 5~7 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の日当たりの良い湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の湿地に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57, 145

シラコスゲ (カヤツリグサ科)

Carex rhizopoda



生育環境



▶ 河川

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：

—

—

環境省：

—

—

●特徴：高さ 20~50cm の多年草。短い根茎から叢生します。葉は幅 2~3mm で、基部の鞘は褐色です。小穂は 1 個で頂生し、長さは 1.5 ~4cm、上部は雄花部、下部は雌花部となり、果胞は卵形で、嘴は急に短くなります。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山地帯の沢沿いなどに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の湿地に生育しています。

●減少要因：土地開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

5, 16, 24, 57

アブラシバ (カヤツリグサ科)

Carex satsumensis



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 10~30cm の多年草。長い匍匐枝を伸ばし、葉は幅 2~5mm で基部の鞘は褐色~茶褐色、一部無葉身になります。花序は密な円錐花序で、長さ 3~8cm、多数の無柄の小穂が開出してつきます。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の道ばたや草原などに生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の裸地に生育しています。

●減少要因：生育地の自然遷移による森林化のため減少したと考えられます。

参考文献 No. 1, 4, 13, 19, 24, 57

ヒナガヤツリ (カヤツリグサ科)

Cyperus flaccidus



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 5~15cm の一年草。葉は短く葉鞘があります。花序は分枝して、まばらに小穂を付け、苞は 1 個で茎と同長で直立し、枝は 3~5 個です。小穂は掌状に 2~6 個がつき、扁平で淡緑色、長さは 5~12mm です。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の草原や河川敷に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：堀金の山麓部・平野部の農地に生育しています。

●減少要因：水田の秋起こしや除草剤の使用による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 52

アオガヤツリ (カヤツリグサ科)

Cyperus nipponicus



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： 準絶滅危惧

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 5~25cm の一年草。葉は幅 1~2.5mm です。花序は球形で、小穂が多数密生します。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湿地や水田の畦に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の水田に隣接する湿地に生育しています。

●減少要因：湿地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 4, 16, 19, 24, 57, 59

イガガヤツリ (カヤツリグサ科)

Cyperus polystachyos



生育環境



■ 濡地



■ 河川

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 10~50cm の多年草。根茎は短く、小さな株を作ります。葉は幅 1~3mm です。花序は 1 回分枝するか頭状に小穂を密集し、苞は葉状です。小穂はやや直立して線形、扁平で一部が血赤色を帶びます。8~10 月に熟します。

●生育環境：山麓部・平野部の主に海岸や河畔などの砂地に生育します。

●国内の分布：本州(関東以西)から南西諸島に分布します。

●市内の分布：明科の高瀬川の河川敷に生育しています。

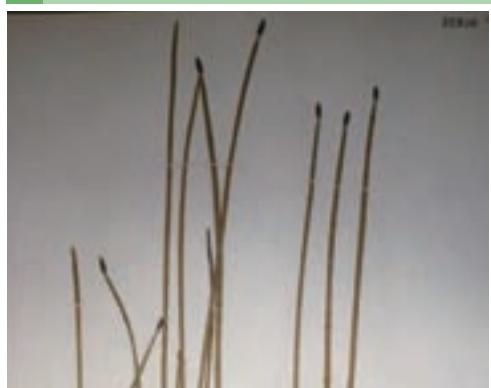
●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発後の水質汚濁による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 35, 73, 59

ヌマハリイ (カヤツリグサ科)

Eleocharis mamilata var. cyclocarpa



生育環境



■ 濡地



■ 河川

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 30~70cm の多年草。根茎は長く匍匐します。基部の鞘は赤紫色を帶び、長さ 3~10cm です。茎はやや太く、小穂は円柱形から長楕円形で、茎頂につきます。花期は 7~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湿地などに生育します。

●国内の分布：北海道、本州、九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科の犀川の河川敷に生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発後の水質汚濁による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 57

イトイヌノハナヒゲ (カヤツリグサ科)

Rhynchospora faberi



生育環境



■ 濡地



■ 河川

安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 10~40cm の多年草。茎は細く、根生葉の幅は 0.5~1mm です。分花序は小さく、2~5 個の少数の小穂がつきます。小穂は長さ 4~5mm で狭卵形です。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山地帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の湿地に生育しています。

●減少要因：植林及び土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

コイヌノハナヒゲ (カヤツリグサ科)

Rhynchospora fujiiana



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：— —

CR+EN

環境省：— —

●特徴：高さ 30～100cm の多年草。茎は細く、根生葉の幅は 1～1.5mm です。分花序は 4～5 個がまばらにつき、散房状で密に数個の小穂がつきます。小穂は長さ 5～6mm で披針形、濃赤褐色で光沢はありません。花期は 8～9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山麓部の湿地に生育しています。

●減少要因：植林及び土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

ギンラン (ラン科)

Cephalanthera erecta



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：準絶滅危惧 NT

CR+EN

環境省：— —

●特徴：高さ 10～30cm の多年草。葉は 3～6 個が互生し、長さ 3～8cm の狭長楕円形で、基部が茎を抱きます。花は白色、距があり、茎の上部に数個つきます。花期は 5～6 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の山地帯の森林の林床に生育しています。

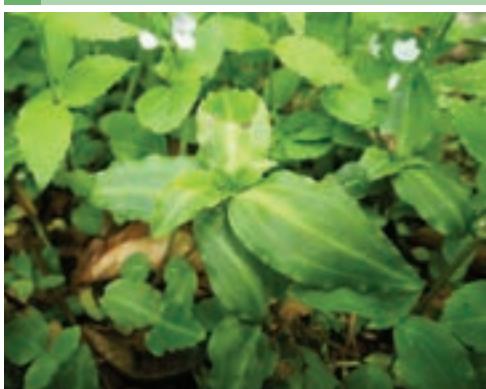
●減少要因：明るい林からヒノキやスギの林床が暗い林になったことによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 19, 24, 52, 57, 59, 143

アケボノシュスラン (ラン科)

Goodyera foliosa var. *maximowicziana*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：準絶滅危惧 NT

CR+EN

環境省：— —

●特徴：高さ 5～10cm の多年草。葉は楕円形で花序の下に数枚が集まって付きます。花は淡紅紫色、3～7 個が茎の先にやや偏って付き、花被片の長さは約 1cm です。花期は 8～9 月です。

●生育環境：山地帯の落葉広葉樹林の林床に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林の林床に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 57, 145

ヒメミヤマウズラ (ラン科)

Goodyera repens



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：準絶滅危惧

NT

環境省： —

—

●特徴：高さ 10~20cm の多年草。葉は茎の下部に集中し、卵形で長さ 1~2.5cm、葉面に白色の網目状の斑紋があります。花は白色、花序の一方に偏って 5~12 個を付けます。花期は 7~9 月です。

●生育環境：亜高山帯の常緑針葉樹林の林床に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（近畿地方以北）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 57, 63, 143, 145

ホザキイチヨウラン (ラン科)

Microstylis monophyllos



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：準絶滅危惧

NT

環境省： —

—

●特徴：高さ 15~30cm の多年草。葉は卵型で 1 枚です。茎の中ほどより上に、淡緑色で側花弁が約 2.5mm の小さい花をやや密に付けます。花期は 7~8 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の湿った林床や草原に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（近畿地方以北）、四国に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林の林床に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 57

コケイラン (ラン科)

Oreorchis patens



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

CR+EN

長野県：準絶滅危惧

NT

環境省： —

—

●特徴：高さ 30~40cm の多年草。葉は披針形で長さ 20~30cm、幅 1~3cm、1~2 枚付け、夏に枯れて、秋には新葉が出ます。花は黄褐色、唇弁には斑紋があり、総状に多数付けます。花期は 6~7 月です。

●生育環境：山地帯のやや湿った落葉広葉樹林の林床などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林の林床に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 52, 57, 144

タカネサギソウ (ラン科)

Platanthera mandarinorum var. *maximowicziana*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 I 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

CR+EN

環境省：

—

●特徴：高さ 10~15cm の多年草。葉の最下葉は長楕円形で長さ 3~4cm です。上方には披針形で 3~4 枚が順に小さくなる葉が付きます。花は淡黄緑色、5~10 個が穗状に付け、距の長さ 10~14mm、径約 1cm です。花期は 7~8 月です。

●生育環境：亜高山帯から高山帯の草原に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内では北部、中部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の亜高山帯から高山帯の草原に生育しています。

●減少要因：登山道の拡張や踏みつけによる影響が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 57, 143, 145

ヒメスギラン (ヒカゲノカズラ科)

Lycopodium chinense



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： —

—

VU

環境省：

—

●特徴：高さ 5~10cm の常緑性のシダ類。単生か基部で又状に分枝し先端に芽体を付け栄養繁殖を行います。コスギランに似ていますが、葉は針状披針形で、鮮緑色、斜上あるいは開出します。全体はやや大きめが繊細な感じがします。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の森林の湿った岩上に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の森林の林床に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 24, 57, 144

イヌスギナ (トクサ科)

Equisetum palustre



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：準絶滅危惧

NT

VU

環境省：

—

●特徴：高さ 20~60cm の夏緑性のシダ類。茎は上半部で規則正しく枝を輪生し、主軸の先は長く伸びます。葉柄は緑色で歯片は披針形です。胞子嚢穂は主軸に頂生します。

●生育環境：山麓部・平野部の日当たりのよい湿地に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の駐車場脇や道ばたのやや湿った場所に生育しています。

●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。また、踏み荒らしによる影響も考えられます。

参考文献 No.

4, 19, 24, 57, 59

ヤマハナワラビ (ハナヤスリ科)

Botrychium multifidum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：柄の長さ 7~8 cm の冬緑性のシダ類。栄養葉は質は厚く、三角状長楕円形で 3 回羽状に深裂し、小羽片はほぼ無柄で、裂片はほぼ全縁、葉柄に毛が多く、大型になります。胞子葉は栄養葉よりはるかに高く、直立します。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の森林や湿原に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の森林の林床に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 16, 24, 57

アカハナワラビ (ハナヤスリ科)

Botrychium nipponicum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：栄養葉の長さ 20~30cm の冬緑性のシダ類。栄養葉は長い柄があり、3出葉状に 3 回羽状分岐し、羽片には長い柄があり、裂片は鋸歯縁となります。胞子葉は栄養葉よりはるかに高く、直立します。冬期に葉が紅変します。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では中部、南部に分布します。

●市内の分布：堀金・明科の山地帯の森林の林床に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 24, 57, 59

フジシダ (コバノイシカグマ科)

Ptilopteris maximowiczii



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：葉の長さ 20~40cm の常緑性のシダ類。線状披針形、単羽複生で羽片は 50 対以上あり、広披針形、基部は前側に耳片があり、縁に深い鋸歯があります。先端は長く伸びて無性芽を付けます。葉柄は褐色で光沢があります。

●生育環境：山地帯の森林の林床に生育します。

●国内の分布：本州（関東地方以西）から九州に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：三郷・堀金の山地帯の渓流の岩壁に生育しています。

●減少要因：森林伐採や河川開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 4, 16, 24, 52, 57

カラクサシダ (ミズワラビ科)

Pleurosoriopsis makinoi



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：葉の長さ 3~5cm の小型のシダ類。夏に芽が出て、翌夏枯れます。葉は卵状長楕円形で全体に褐色の毛があり、2回羽状全裂で、やや質厚いです。

●生育環境：山地帯の森林の苔むした岩上に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

18, 24, 36, 48, 52, 57

オオヒメワラビ (メシダ科)

Deparia okuboana



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：葉の長さ 60~100cm の夏緑性のシダ類。3角状卵形、葉柄は緑色、葉片は深く切れ込み、羽軸に狭い翼ができます。葉柄下部の鱗片は淡褐色で落ち易いです。

●生育環境：山地帯の湿った森林の林床などに生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の森林の林床に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

18, 24, 36, 48, 57

エゾデンダ (ウラボシ科)

Polypodium virginianum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：葉の長さ 20~30cm の常緑性のシダ類。根茎は横走し、葉身の幅は狭く披針形、羽状に深裂し、葉縁にはやや小さな鋸歯があります。

●生育環境：山地帯の樹幹や岩上に生育します。

●国内の分布：北海道、本州中部に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 52, 57

ビロードシダ (ウラボシ科)

Pyrrosia linearifolia



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：根茎の長さ 5~10cm の常緑性のシダ類。根茎は長く這い、線形で細長く葉を密に付けます。葉柄と葉身はほとんど区別できず、葉は緑色ですが、全面に黄褐色の星状毛が密につくため、全体褐色にみえます。

●生育環境：山地帯の森林の岩上や樹上に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 57

オオアカウキクサ (アカウキクサ科)

Azolla japonica



生息環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：絶滅危惧 I B 類 EN

VU

環境省：絶滅危惧 I B 類 EN

●特徴：浮遊性の水生シダ類。葉は鱗片状で、互生してつき、秋に植物全体が紅色になります。冬には先端部を残して枯れます。

●生息環境：山麓部・平野部の湖や池沼、水田に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の放置されたワサビ田に生育しています。

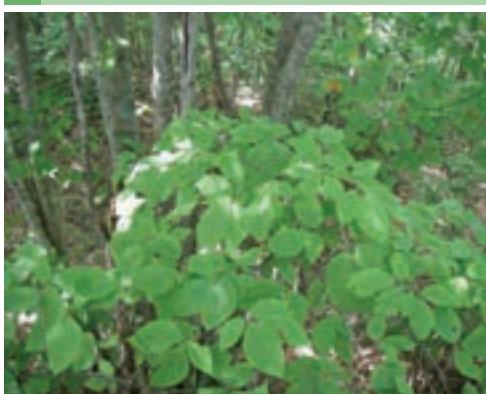
●減少要因：水路開発による水路や水たまりなどの生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

144, 145

イヌブナ (ブナ科)

Fagus japonica



生息環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：高さ 25m の落葉広葉樹。樹皮は灰黒色、いぼ状の皮目があります。葉は初め軟毛があり、長楕円形から卵状楕円形で先が鋭尖形、長さは 5~10cm で、側脈はまっすぐで 10~14 対、枯葉は晩秋まで残る傾向があります。花期は 4~5 月です。

●生息環境：山地帯に生育します。

●国内の分布：本州（岩手県以南）から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷・明科の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 52, 57, 143

ホソバイラクサ (イラクサ科)

Urtica angustifolia



生育環境



森林



河川

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：—

VU

環境省：—

●特徴：高さ 50～150cm の多年草。刺毛があります。托葉が各筋に 4 個あり、葉は狭卵形で細長く、先が細長くとがり、葉柄は 1～3cm とやや短いです。花期は 8～9 月です。

●生息環境：山地帯の森林の林縁や沢沿いに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では北部、中部に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の森林の林床に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 24, 36, 57, 63

ノダイオウ (タデ科)

Rumex longifolius



生育環境



湿地



河川

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：留意種

N

VU

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ 1m 以上の多年草。根出葉や茎の下部の葉は大きく、有柄で長卵状橢円形、基部は心形です。花は大きな円錐花序を形成します。花期は 6～8 月です。翼状内萼片は低鋸歯または全縁です。

●生育環境：山地帯の湿地や草原に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北、和歌山県）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の河川敷に生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 24, 36, 52, 57, 144

シナノナデシコ (ナデシコ科)

Dianthus shinanensis



生育環境



裸地



河川

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：—

VU

環境省：—

●特徴：高さ 20～45cm の多年草。葉は線状倒披針形でふちに毛があります。花は紅紫色、頂生する集散花序を形成し、密につきます。花弁は 5 枚からなり、縁が浅く切り込んで鋸歯状になります。花期は 7～8 月です。

●生育環境：山地帯の裸地などに生育します。

●国内の分布：本州（中部地方）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科の山地帯の裸地に生育しています。

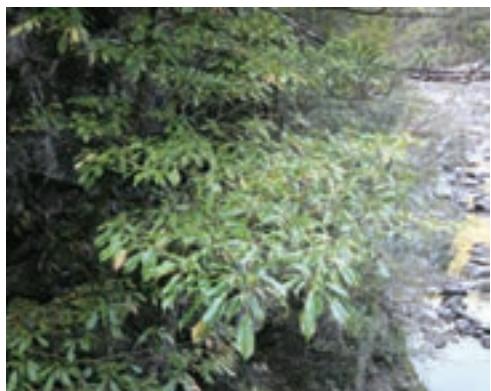
●減少要因：森林伐採や森林の管理放棄による裸地などの生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

3, 4, 24, 57

ヤマグルマ (ヤマグルマ科)

Trochodendron aralioides



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 20m の常緑広葉樹。長さは 5~14cm、幅 2~8cm の倒卵形で革質の葉と、長さ 2~9cm の葉柄があり、枝先に車輪状につきます。花は黄緑色、径約 1cm で、枝端に花序を形成し、10~20 個の花がつきます。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の崖地や岩場に生育します。

●国内の分布：本州（山形県以南）から南西諸島に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高の山麓部の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 18, 24, 36, 52, 57

キクザキイチゲ (キンポウゲ科)

Anemone pseudo-altaica



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 15~20cm の多年草。茎葉は 3 出複葉で 3 枚が輪生し、小葉は羽状に深裂します。大きな花が一個頂生し、上に向かって開きます。花弁はなく、白~淡紫色の萼片が 10 枚程度つきます。花期は 3~5 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床など生育します。

●国内の分布：北海道、本州（近畿地方以北）に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：山麓部の森林や草原に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 36, 38, 46, 52, 57

センニンソウ (キンポウゲ科)

Clematis terniflora



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：花の径 2~3cm のつる性の多年草。葉は卵円形で全縁の 2~5 小葉からなります。集散状の花序を形成し、花弁状の萼片は白色で 4 枚がつきます。花期は 3~4 月です。果実には銀白色の長い毛を密生させた花柱がつきます。

●生育環境：山麓部・平野部の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：日本全国に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：平野部の河川敷や用水路の土手に生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

19, 24, 57, 59

ウマノスズクサ (ウマノスズクサ科)

Aristolochia debilis



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

VU

環境省：

—

●特徴：高さ約 1m のつる性の多年草。よく分枝し、粉白色を帯びた三角状の狭卵形、長さ 4~7cm の葉を互生します。花は黄緑色、花弁がなく、萼が独特の筒型をした左右相称の花を葉腋に 1 個ずつ咲かせます。花期は 6~8 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の道ばた、農地の縁、河川の土手など当たりのよい人為的な環境に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・三郷・明科の山麓部・平野部の河川敷や用水路の土手に生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。また、道路開発やダム建設後、外来植物のハリエンジュとの競合による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 52, 57, 59

コケオトギリ (オトギリソウ科)

Hypericum laxum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：

—

VU

環境省：

—

●特徴：高さ数 cm~40cm の多年草。よく分枝します。葉は広卵形で小さく、黄緑色で、秋には真紅に紅葉します。花は長さ 2.5mm の 5 枚の花弁があり、雄蕊は 5~10 個と比較的少ないです。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湿地や水田に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の溪流沿いに生育しています。

●減少要因：植林による森林や草原などの生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 18, 19, 24, 36, 52, 57

エゾハタザオ (アブラナ科)

Arabis pendula



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：

—

VU

環境省：

—

●特徴：高さ 50~100cm の越年草。茎は直立します。葉は卵形~披針形で下部の葉には柄があります。花は白色、4 枚の花弁があり、総状花序を形成します。花期は 6~8 月です。果実は 3~10cm の線形で細長く、垂れ下がる様に付きます。

●生育環境：山地帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の草原に生育しています。

●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 38, 57, 59

マルバコンロンソウ (アブラナ科)

Cardamine tanakae



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：—

VU

—

環境省：—

—

●特徴：越年草。タネツケバナに似ていますが、より小型で根生葉の頂片が円心形で大きく目立ちます。花数は少なく、大きめで白い花を数個付けます。花期は4~6月です。全草に白毛を密生しているのが特徴です。果実は約2cmの広線形です。

●生育環境：山地帯の森林や沢沿いなどに生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷・堀金・明科の山地帯の溪流沿いに生育しています。

●減少要因：河川開発や砂防工事による堰堤や護岸工事のため生育地の悪化や減少したと考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 38, 52, 57, 59

ツメレンゲ (ベンケイソウ科)

Orostachys japonicus



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：準絶滅危惧

NT

VU

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：高さ8~30cmの多年草。葉は披針形、多肉質で、ロゼットを形成し、帶白緑色、上部のものほど小さくなります。花は白色で5枚の先のとがった花弁からなります。塔状に花序を形成し、密生して花を咲かせます。花期は10~11月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の河川の日当たりのよい岩場などに生育します。

●国内の分布：本州（関東地方以西）から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・三郷・明科の河川の土手や河川敷に生育しています。

●減少要因：河川開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 15, 16, 19, 20, 24, 39, 52, 56

マルバマンネングサ (ベンケイソウ科)

Sedum makinoi



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

VU

環境省：—

—

●特徴：高さ8~20cmの多年草。茎は横に這って分枝し、先は斜上します。葉は多肉質で、さじ状倒卵形、円筒から鈍円頭で対生（花序の部分では互生）します。花は黄色で花弁は5枚からなり、狭状扳針形で鋭頭、6~7月に咲きます。

●生育環境：山地帯の乾いた岩上に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：明科の山地帯の岩上に生育しています。

●減少要因：植林や森林の管理放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 57

ハナネコノメ (ユキノシタ科)

Chrysosplenium album var. *stamineum*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 5~10cm の多年草。塊状に群生します。根生葉は花期には枯れ、茎葉は扇状円形～円腎形で対生します。花は萼裂片が白色で、花弁の様にみえ、花期後、次第に淡緑色に変わります。雄蕊は 8 本で薬は暗紅色です。花期は 4~5 月です。

●生育環境：山地帯の沢沿いに生育します。

●国内の分布：本州（福島県から京都府）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷・堀金の山地帯の渓流沿いに生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発後の水質汚濁による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24

ヤブサンザシ (ユキノシタ科)

Ribes fasciculatum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ約 1m の落葉広葉樹。葉は広卵形で掌状に 3 浅～中裂し、欠刻状の鋭い鋸歯があり、葉柄は長さ 2~4 cm で細毛が生えていています。花は短枝の葉腋に束生し、萼が黄緑色の車型で裂片が 5 個あり、花弁のように見えます。花期は 4 月です。

●生育環境：山地帯の落葉広葉樹林に生育します。

●国内の分布：本州（関東地方以西）から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・穂高・明科の山地帯の河川敷に生育しています。

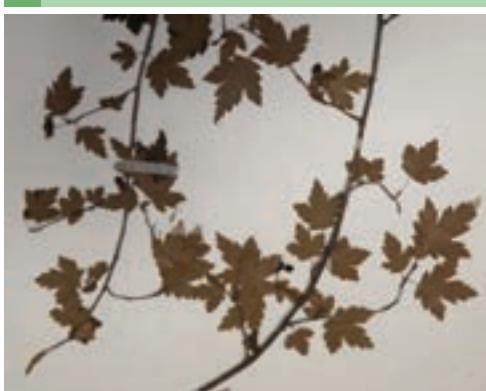
●減少要因：河川などの土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 38, 57, 59, 144

ザリコミ (ユキノシタ科)

Ribes maximowiczianum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ約 2m の落葉広葉樹。葉形がヤブサンザシに似ていますが、鋸歯が鋭尖で葉裏の脈状に刺状毛があります。葉柄は 7~10 mm でやや長い腺毛があります。花は総状につき、萼が黄緑色の車型で裂片が 5 個あり、花弁のように見えます。花期は 5 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の森林に生育します。

●国内の分布：本州（東北地方南部から中国地方）、四国に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金・明科の山麓部の森林の林縁に生育しています。

●減少要因：森林伐採や土地開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 56, 57, 59

ヒメキンミズヒキ (バラ科)

Agrimonia nipponica



生育環境



河川

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：高さ 50cm の多年草。まばらに分枝します。葉は茎の下方に集中し、3~5 小葉からなり、小葉の鋸歯は丸みを帯び、裏面には白色で微細な腺点があります。花は黄色、5 枚の花弁からなり、細長い穂状に疎らにつきます。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山地帯の落葉広葉樹林や草原に生育します。

●国内の分布：北海道南部・西部から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の渓流沿いに生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 35, 38, 52, 57

サナギイチゴ (バラ科)

Rubus oldhamii



生育環境



河川

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：留意種 N

VU

環境省：絶滅危惧 II 類 VU

●特徴：落葉広葉樹。茎は細いトゲを散生し、長く伸び、先から根を下ろします。葉は 5~7 小葉の羽状複葉で、欠刻状の重鋸歯があります。花柄上部と萼にトゲと腺毛があります。花は白色から淡紅色、5 枚の花弁からなります。花期は 5~6 月です。集合果は赤く熟します。

●生育環境：山地帯の草原や林縁に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の標高の低い森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

クサネム (マメ科)

Aeschynomene indica



生育環境



河川

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：高さ 50~100cm の一年草。葉は羽状複葉で、小葉は 40~60 枚からなります。花は淡黄色で、花期は 8~10 月です。豆果は広線形で 4~8 個の小節果からなります。

●生育環境：山麓部・平野部の水田や川沿いなどの湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：明科の水田や堰沿いの湿地に生育しています。

●減少要因：水路の改良や放置による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 19, 20, 24, 57, 59

ホドイモ (マメ科)

Apios fortunei



生育環境



森 林



草 原

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：茎の長さ 2m 以上になるつる性の多年草。茎を切ると白い乳液が出来ます。葉は 5 枚の小葉からなり、先が細長く伸びます。花は緑黄色で、葉腋から出る長い総花序につきます。花期は 7~9 月です。匍枝状の根茎があり、球形の塊根ができます。

●生育環境：山地帯の日当たりのよい森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山麓部の森林と草原の境界部分に生育しています。

●減少要因：森林伐採などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 36, 38, 52, 57

モメンヅル (マメ科)

Astragalus reflexistipulus



生育環境



森 林



草 原

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：準絶滅危惧 NT

VU

環境省：— —

●特徴：高さ 30~80cm の多年草。茎は這うように斜上します。葉は羽状複葉で、小葉は 13~19 枚されます。花は黄色、8~15 個が総状花序を形成します。花期は 6~8 月です。豆果は熟して直立し、淡褐色の伏毛があります。

●生育環境：山地帯の草原に生育します。

●国内の分布：北海道、本州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷・明科の山地帯の落葉広葉樹林の林縁に生育しています。

●減少要因：森林伐採や土地開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 52, 57, 59

ヤハズソウ (マメ科)

Kummerowia striata



生育環境



草 原



河 川

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：高さ 20~50cm の一年草。下向きの毛が生えます。葉は 3 小葉からなり、先が丸くなります。花は葉腋につき、淡紅紫色で、花期は 8~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の日当たりのよい草原や河川敷、道ばたなどに生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷・堀金の山地帯や河川敷の草原に生育しています。

●減少要因：草原管理の放棄や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 15, 16, 18, 19, 24, 36, 38, 39, 48, 52, 57, 59, 144

オヤマノエンドウ (マメ科)

Oxytropis japonica



生育環境



■草原
■種
■河川・湿地



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：高さ 10cm の小型の落葉広葉樹。葉は羽状複葉で多くは根生し、小葉は9~15枚からなります。花は紅紫色、花茎の先に1~2個付けます。花期は6~8月です。豆果は狭卵形で先が尖り短毛があります。

●生育環境：高山帯の砂礫地・草原に生育します。

●国内の分布：本州（中部地方）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の高山帯の乾燥した草原に生育しています。

●減少要因：踏みつけなどによる影響が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 15, 24, 57, 144

ヤブツルアズキ (マメ科)

Vigna angularis var. *nipponensis*



生育環境



■草原
■種
■河川



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：茎の長さ約3mになるつる性の一年草。茎や葉には黄褐色の長毛があります。葉は3小葉からなり、多くはやや3裂し、先端は急に鋭く尖ります。花は黄色で葉腋に2~10花がつきます。花期は8~10月です。豆果は線形で無毛です。

●生育環境：山麓部・平野部の河川敷に生育します。

●国内の分布：本州、九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の草原に生育しています。

●減少要因：草原管理の放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 38, 57, 59

オオヤマカタバミ (カタバミ科)

Oxalis obtriangulata



生育環境



■森林
■河川・湿地



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：準絶滅危惧 NT

VU

環境省：絶滅危惧 II 類 VU

●特徴：高さ4~25cmの多年草。太い根茎を持ちます。葉は3小葉からなり、小葉は比較的大きな倒三角形で上縁は切形となります。花は白色で紫色の筋が入ります。花期は4~5月で、まだ葉が展開しきる前に咲きます。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の森林の林床に生育します。

●国内の分布：本州中部、九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採や森林管理の放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 52, 57, 69

ニシキソウ (トウダイグサ科)

Euphorbia pseudochamaesyce



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

VU

環境省：

—

●特徴：高さ 15cm の一年草。すべての分枝は地表を這うように伸び、地面を覆います。葉は小型、長楕円形で対生します。花は花序を形成し、各枝の上方にまばらにつきます。花期は 7~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の畑地や道ばたに生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：三郷・明科の平野部の農地に生育しています。

●減少要因：土地改良や作物の種類の変更、除草剤の使用・多肥料・機械化などによる生育地の悪化や減少及び外来種のコニシキソウ・オニシキソウとの競合による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 19, 24, 52, 57, 59

キハダ (ミカン科)

Phellodendron amurense



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：

—

VU

環境省：

—

●特徴：高さ 20~25m の落葉広葉樹。樹皮は厚く、内皮は黄色で胃腸薬になります。葉は長さ 15~35cm で奇数羽状複葉、小葉は卵形から卵状長楕円形で 5~13 枚付けます。花は黄緑色で長さ 7~13cm の柄の先に花序を形成します。花期は 5~7 月です。

●生育環境：山地帯に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（岩手、福島県以南）から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 16, 18, 19, 20, 36, 52, 57, 66

ドクウツギ (ドクウツギ科)

Coriaria japonica



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：

—

VU

環境省：

—

●特徴：高さ 1~1.5m の落葉広葉樹。幹は叢生します。小枝には 4 穂があります。葉は羽状複葉状につき、卵形、3 主脈が目立ちます。花は前年枝の葉腋に総状花序を形成します。花期は 4~5 月です。果実は径約 1cm で、はじめ赤色で熟すと紫黒色になります。

●生育環境：山地帯の裸地や河畔に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（近畿地方以北）に分布します。県内では北部、中部、東部に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の河川敷や用水路の岸辺に生育しています。

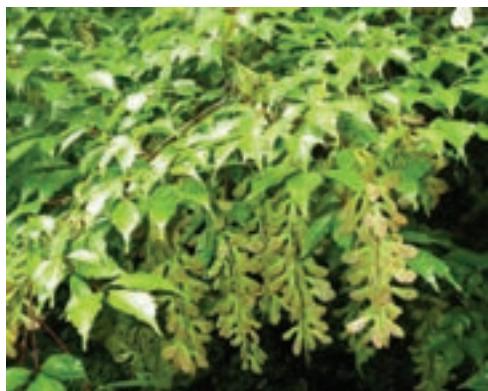
●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57, 59

ミツデカエデ (カエデ科)

Acer cissifolium



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 15~25m の落葉広葉樹。葉は 3 小葉からなり、小葉は橢円形で数対の大きな鋸歯があります。花は長さ 5~8 cm の下垂する総状の花序につきます。花期は 5 月です。分果は長さ 4~5cm、翼果は平行から鈍角に開きます。

●生育環境：山地帯の森林に生育し、湿った場所を好みます。

●国内の分布：北海道南部から九州中部に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の落葉広葉樹林に生育しています。

●減少要因：森林伐採による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 18, 24, 36, 48, 52, 57, 144

メグスリノキ (カエデ科)

Acer nikoense



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 15~25m の落葉広葉樹。葉は 3 小葉からなり、葉柄に毛が目立ちます。小葉は橢円形で縁に波状の鋸歯があり、裏面は伏毛が目立ちます。花は 1~2cm の柄の先につきます。花期は 5 月です。分果は長さ 4~5cm、翼果は平行から鈍角に開きます。

●生育環境：山地帯の森林に生育し、湿った場所を好みます。

●国内の分布：北海道南部から九州中部に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷・堀金の山地帯の落葉広葉樹林に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 18, 24, 36, 52, 57

オオイタヤメイゲツ (カエデ科)

Acer shirasawanum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 10~15m の落葉広葉樹。葉は掌状に 9~13 浅・中裂し、基部は心形から切形、裂片に細かい重鋸歯があります。花は 1~2cm の柄の先に複散房状の花序を形成します。花期は 5 月です。分果は長さ 2cm、翼果はほぼ水平に開きます。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。

●国内の分布：本州（福島県以南）、四国に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の落葉広葉樹林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 48, 52, 57, 144

ヒロハツリバナ (ニシキギ科)

Euonymus macropterus



生育環境

オオツリバナ (ニシキギ科)

Euonymus planipes



生育環境

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 3~5m の落葉広葉樹。葉は倒卵形から倒卵状橢円形、長さは 5~12cm で、幅は 3~7cm です。花は長さ 4~8mm の柄の先に集散花序を形成します。花期は 6~7 月です。果実は 4 翼があります。仮種皮は橙色になります。

●生育環境：山地帯から亜高山帯に生育します。

●国内の分布：北海道から四国に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の落葉広葉樹林に生育しています。

●減少要因：森林伐採による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 19, 24, 36, 57, 143, 144

オオツリバナ (ニシキギ科)

Euonymus planipes



生育環境

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 3~5m の落葉広葉樹。葉は橢円形から長橢円形、長さ 7 ~13cm、幅 4~6cm です。花は長さ 3~10mm の柄の先に集散花序を形成します。花期は 5~6 月です。果実には低い翼が 4~5 つあり、仮種皮は朱赤色になります。

●生育環境：山地帯に生育します。

●国内の分布：北海道、本州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の落葉広葉樹林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 57

サクラスミレ (スミレ科)

Viola hirtipes



生育環境

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 5~15cm の多年草。葉は長卵形で鈍頭、本部は心形となります。花は淡紅紫色で大きく、花弁は凹~円頭で側弁に毛があり、距は比較的長いです。花期は 5 月です。

●生育環境：山地帯の草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の落葉広葉樹林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 52, 57

コスミレ (スミレ科)

Viola japonica



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：高さ 6~12cm の多年草。葉は長さ 2~5cm で、卵形でとがり、基部は浅い心形ですが、花後は大きくなります。花は淡紫色、距は細長いです。花期は 3~6 月です。

●生育環境：山麓部・平野部に生育します。

●国内の分布：北海道南西部から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・明科の山地帯の落葉広葉樹林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 19, 24, 38, 52, 57, 59

マルバスミレ (スミレ科)

Viola keiskei



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：高さ 5~10cm の多年草。葉は円心形でやわらかく、基部は深い心形になります。花は大きく白色、側弁は無毛または少毛です。唇弁に紫条があります。花期は 4~5 月です。

●生育環境：山麓部・平野部に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷の用水路の土手や社寺林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 19, 24, 36, 28, 40, 45, 52, 57

マキノスミレ (スミレ科)

Viola makinoi



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II類

長野県：準絶滅危惧 NT

VU

環境省：— —

●特徴：高さ 4~10cm の多年草。葉は直立気味で、三角状披心形、細くて尖り、時に白斑が入ります。葉は花後大きくなり、特に基部が広くなります。花は濃紅紫色、側弁に毛は無く、距は細いです。花期は 4~5 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床や道ばたに生育します。

●国内の分布：本州（近畿地方以北）に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の草原や日当たりのよい森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 52, 57

アケボノスミレ (スミレ科)

Viola rossii



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

VU

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 10~15cm の多年草。太くて短い根茎を持ちます。葉は大きな心形で先は急にとがり、果期には長さ約 7cm にもなります。花は大きく淡紅紫色で、距は太くて短く、側弁に毛はありません。花期は 4~5 月で葉が開ききる前に咲きます。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育し、やや乾いた場所を好みます。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の森林の林床に生育しています。

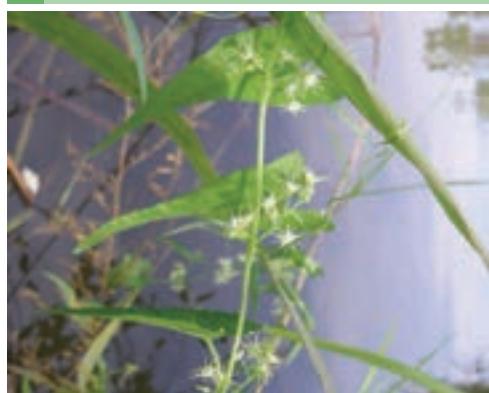
●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 24, 52, 57

ゴキヅル (ウリ科)

Actinostemma lobatum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

VU

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：つる性の一年草。葉は三角状披針形で先がとがります。花は黄緑色、目立ちません。花期は 8~11 月です。果実は蓋果で上半分には突起があり、熟すと蓋のように離れます。

●生育環境：山地帯の河川敷などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の湧水地の土手に生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発後の水質汚濁による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 52, 57, 59, 144

ヒメアカバナ (アカバナ科)

Epilobium fauriei



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

VU

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 5~25cm の多年草。葉は広線形で細いです。地下に小鱗茎をつくって越冬するため、葉腋にしばしばむかごができます。花は淡紅色、4 枚の花弁からなります。花期は 7~8 月です。

●生育環境：亜高山帯から高山帯の裸地に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方及び鳥取県）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の渓流沿いの湿地に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 13, 16, 24, 57, 143

トチバニンジン (ウコギ科)

Panax japonicus



生育環境

ムカゴニンジン (セリ科)

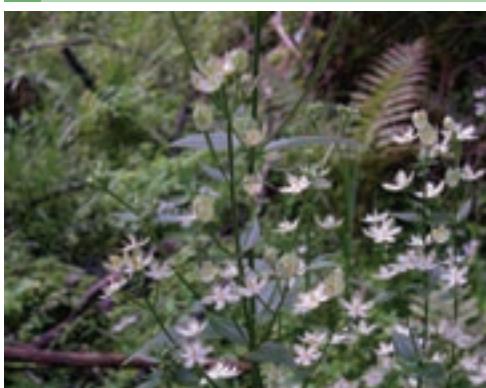
Sium suave var. nipponicum



生育環境

アケボノソウ (リンドウ科)

Swertia bimaculata



生育環境

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 50~60cm の多年草。葉は掌状複葉で輪生し、5~10cm の葉柄があります。花は球形の花序を形成します。花期は 6~9 月です。果実は赤熟します。果実の先端部が黒くなる個体もあります。

●生育環境：山麓部・平野部の森林の林床に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の渓流沿いの湿地に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 36, 52, 57

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： 絶滅危惧 II 類 VU

●特徴：高さ 30~80cm の多年草。多くの枝を出し、葉腋にむかごができます。葉は単羽状複葉、小葉はほとんど無柄で薄く、長卵形～披針形です。花は白色、複散形花序を形成します。花期は 8 月です。

●生育環境：山地帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の湿地に生育しています。

●減少要因：湿地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 57

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 50~80cm の一年草または越年草。根出葉は長楕円形で、基部は柄状、茎葉は披針形で銳頭、基部はくさび形で対生します。花は黄白色、4~5 裂し、裂片に濃緑色の斑点と黄色の腺体が 2 個あります。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山地帯の草原や道ばたに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の湿地に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 36, 46, 48, 52, 57

センブリ (リンドウ科)

Swertia japonica



生育環境



▶ 草原



▶ 森林・灌木

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：準絶滅危惧

NT

VU

環境省：

—

●特徴：高さ 5~20cm の一年草または越年草。葉は線形で対生します。花は白色で紫色の条があり、径約 15mm で、5 深裂します。花期は 9 ~10 月です。

●生育環境：山地帯の日当たりのよい草原や道ばたに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域（北部では北安曇郡南部のみ）に分布します。

●市内の分布：豊科・穂高・三郷・堀金の日当たりのよい草原に生育しています。

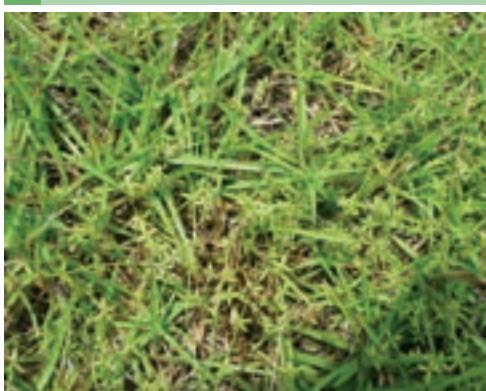
●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び薬草採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 24, 52, 57

ヒメヨツバムグラ (アカネ科)

Galium gracilens



生育環境



▶ 草原



▶ 森林・灌木

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：

—

VU

環境省：

—

●特徴：茎の長さ 10~40cm の多年草。茎は斜上し、無毛か僅かに刺状の毛があります。葉は 4 枚輪生し、狭披針形で、長さは 5~10mm です。花は淡緑色、花冠が 4 裂し、枝先や葉腋から出た花序の先に数個づきます。花期は 6~7 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の日当たりのよい草原などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・明科の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 19, 24, 36, 48, 57, 59, 144

メハジキ (シソ科)

Leonurus japonicus



生育環境



▶ 草地



▶ 森林・灌木

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：準絶滅危惧

NT

VU

環境省：

—

●特徴：高さ約 1m の越年草。茎は四角で直立します。葉は 3 深～裂し、裂片は線形です。下部の葉には葉柄がありますが、上部のものには無く、基部はくさび形となり対生します。花は紅紫色、唇形で上部の葉腋に輪生状につきます。花期は 9 ~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の道ばたや河川敷などに生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の平野部の道路の法面や湿地に生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 19, 20, 24, 52, 57, 59

キセワタ (シソ科)

Leonurus macranthus



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：留意種

N

VU

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ約 1m の越年草。茎は四角で直立します。葉は卵形から狭卵形で粗い毛と粗い鋸歯があります。基部は広い楔形の葉柄があり、対生します。花は紅紫色、唇形で、外側は白毛が密生して白くみえ、上部の葉腋に輪生状につきます。花期は 9~10 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁や草原などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金・明科の山麓部の草原に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57, 59

テンニンソウ (シソ科)

Leucosceptrum japonicum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： —

—

VU

環境省： —

—

●特徴：高さ 20~70cm の多年草。茎は四角で、木化した地下茎から出ます。葉は長楕円形～広披針形で先は鋭くとがり、基部はくさび状で短い柄があります。花は淡黄色、茎頂に長さ 10~18cm の円柱状の花序に密生します。花期は 9~10 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の溪流沿いに生育しています。

●減少要因：道路開発、河川開発や湿地・湧水地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 16, 24, 36, 57

シロネ (シソ科)

Lycopus lucidus



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： —

—

VU

環境省： —

—

●特徴：高さ 80~120cm の多年草。茎は四角で、匍匐する地下茎から出て分枝しません。葉は対生し、広披針形から狭長楕円形、硬くて光沢があり、鋭い鋸歯があります。花は白色、小さな唇形で葉腋に輪生状につきます。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の河川敷に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では北部、中部、東部に分布します。

●市内の分布：堀金の烏川・明科の犀川に生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 19, 24, 57, 59

ヒメシロネ (シソ科)

Lycopus maackianus



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 30~70cm の多年草。茎は四角です。葉は対生し、披針形～広披針形で、鋭い鋸歯があり、上部では次第に小さくなります。花は白色、小さな唇形で葉腋に輪生状につき、花期は8~10月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・堀金の山地帯の湿地に生育しています。

●減少要因：河川開発や池沼の開発・湿地・湧水地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 24, 48, 57, 145

エゾシロネ (シソ科)

Lycopus uniflorus



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 20~40cm の多年草。茎は四角で、全体に軟毛があり、基部は暗紫色を帶びます。葉は対生し、菱状狭卵形で、粗い鈍鋸歯があります。花は白色、小さな唇形で葉腋に輪生状につきます。花期は8~9月です。

●生育環境：山地帯の湿地や湿った森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・堀金の山麓部の湿地や湧水地に生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 20, 24, 36, 52, 57

カメバヒキオコシ (シソ科)

Rabdosia shikokiana var. *lecantha*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 60~80cm の多年草。茎は四角で、下向きの細毛があります。葉は対生し、長楕円状披針形で葉の先端が3裂し、中央の裂片が細い尾状となります。花は青紫色、筒状の唇形で、茎頂や葉腋から伸びる花序に多数つきます。花期は8~9月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁に生育します。

●国内の分布：本州（東北地方から中部地方）に分布します。県内では主に北部、中部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 19, 24, 57

タイリンヤマハツカ (シソ科)

Rabdosia umbrosa var. *excisinflexa*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：準絶滅危惧

NT

VU

環境省：

—

●特徴：高さ 60~80cm の多年草。茎は四角で、下向きの細毛があります。葉は対生し、薄く長楕円状披針形です。花は青紫色の筒状の唇形で、茎頂や葉腋から伸びる集散花序に多数つきます。花期は 8~9 月です。変種の中でも比較的花が大きいです。

●生育環境：山地帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：本州（東北地方、中部地方の日本海側）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

キバナアキギリ (シソ科)

Salvia nipponica



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：—

—

VU

環境省：—

—

●特徴：高さ 20~40cm の多年草。茎は四角で、基部はやや倒伏します。葉は長い葉柄があり、三角状ほこ形で基部は左右に張り出します。花は淡黄色、大きな唇形で 10~20cm の花穗を形成し、段状につきます。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床や林縁に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 52, 57

ニガクサ (シソ科)

Teucrium japonicum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：—

—

VU

環境省：—

—

●特徴：高さ 30~70cm の多年草。茎は直立し、地下に走出枝を出します。葉は卵状長楕円形から広披針形で対生します。花は淡紅色、やや小さく、長さ 3~10cm の花序を茎頂に形成し、密につきます。花期は 7~9 月です。

●生育環境：山地帯の湿った草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・三郷の農地の畦畔に生育しています。

●減少要因：水田除草剤や稻作の変化による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 24, 36, 38, 52, 57

アゼトウガラシ (ゴマノハグサ科)

Lindernia micrantha



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：準絶滅危惧

NT

VU

環境省：

—

●特徴：高さ 10~20cm の一年草。葉は披針形で鋭頭、基部は柄がなく、縁辺は低い鋸歯があり、対生します。花は唇形で筒部は紫色、裂片は白色、下唇に黄色い斑点があり、上部の葉腋から出た細長い柄の先につきます。花期は8~10月です。

●生育環境：山麓部・平野部の水田や湿地に生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島、小笠原に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の山麓部・平野部の水田の畦に生育しています。

●減少要因：畦などの生育地の減少や、除草方法の変化や除草剤の使用による生育地の悪化が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 52, 57, 59

ヒキヨモギ (ゴマノハグサ科)

Siphonostegia chinensis



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：準絶滅危惧

NT

VU

環境省：

—

●特徴：高さ 30~70cm の一年草。全体に曲がった短毛が密生します。葉は卵形で3片ほどの広線形に裂けます。花は黄色、枝先の葉腋ごとに1個ずつ咲きます。花期は8~9月です。

●生育環境：山麓部・平野部の草原や河川敷に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・明科の日当たりのよい草原や河川敷などに生育しています。

●減少要因：土地開発や河川開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 18, 24, 36, 48, 56, 57, 59

ハグロソウ (キツネノマゴ科)

Peristrophe japonica var. *subrotunda*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

VU

環境省：

—

●特徴：高さ 20~50cm の多年草。茎は四角で短毛が散生し、まばらに分枝して直立します。葉は狭卵形から広披針形です。花冠は淡紅紫色の2唇形で、枝先や上部の葉腋から伸びた柄の先に2~3枚の葉状の苞とともに咲きます。花期は7~10月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁などの日陰に生育します。

●国内の分布：本州（関東地方以西）から九州に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

オミナエシ (オミナエシ科)

Patrinia scabiosaeifolia



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 60～100cm の多年草。地下茎が横に這います。葉は頭大羽状に深裂し、対生します。花は黄色、多数の小花が集散花序を形成します。花期は 8～10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯のやや湿った草原や湿地などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金・明科の山地帯の日当たりのよい草原に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 19, 24, 48, 52, 57, 59, 144

ナベナ (マツムシソウ科)

Dipsacus japonicus



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ約 1m の越年草。よく分枝して植物全体に刺状の剛毛があります。葉は頭大羽状に全裂し、裂片は銳尖頭で、鋸歯縁となります。頭花は球状で径約 2cm、小花の花冠は約 7mm で上部は 4 裂します。花期は 8 月～10 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・堀金の日当たりのよい草原に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 16, 18, 19, 24, 36, 48, 52, 57

マツムシソウ (マツムシソウ科)

Scabiosa japonica



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 60～90cm の越年草。葉は対生し、下部の葉は羽状に深裂し、裂片葉がさらに分かれます。頭花は淡紫色、長い柄の先に上向きにつき、径約 5cm で、縁の小花の花冠は 5 裂して外側の裂片が大きく伸びます。花期は 8～10 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山地帯の日当たりのよい草原に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 13, 16, 18, 19, 24, 36, 52, 57

フクシマシャジン (キキョウ科)

Adenophora divaricata



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：高さ 60～100cm の多年草。葉は卵状橢円形で基部はくさび形、多くは輪生状につきます。花は鐘型で淡紫色、長さ 1.5～2cm で、先がやや広がり、浅く 5 裂で、まばらな花序を形成します。萼裂片は全縁です。花期は 9～10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から亜高山帯の森林の林縁・草原・岩場に生育します。

●国内の分布：本州（東北、中部地方）、四国に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科の山地帯の日当たりのよい草原に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 52, 57, 59, 143

キキョウ (キキョウ科)

Platycodon grandiflorum



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：準絶滅危惧 NT

VU

環境省：絶滅危惧 II 類 VU

●特徴：高さ 50～100cm の多年草。茎は直立します。葉は狭卵形で先はとがり、裏面は粉白色を帶びます。花は青紫色、径 4～5cm で 5 浅裂し、茎頂近くからでた数本の花柄先に 1 つずつ咲かせます。花期は 8～9 月です。

●生育環境：山地帯の日当たりのよい草原に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：山麓部から山地帯の日当たりのよい草原に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 15, 16, 19, 24, 52, 57, 59, 63, 144

ムカシヨモギ (キク科)

Erigeron acris var. *kamtschaticus*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：高さ約 50cm の多年草。茎は帶紫色、上部で多数分枝します。下葉は倒披針形、上葉は披針形です。頭花は径 1～1.5cm で、円錐状かゆるい散房状につきます。総苞に毛はありません。花期は 7 月下旬～10 月上旬です。

●生育環境：山地帯の河川敷や裸地、石灰岩地に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方）に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の溪流沿いの砂礫地に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 13, 24, 57

サワヒヨドリ (キク科)

Eupatorium lindleyanum



生育環境



▶山地
▶耕作地



▶河川

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 40~90cm の多年草。茎は直立します。葉は披針形で、低鋸歯縁で両面に縮毛が多く、葉柄はなく、ときに基部で 3 深裂します。頭花は白色、淡紅色を帶び、散房状に多数の小花がつきます。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湿地や水田の畦に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の山地帯や高瀬川に生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 46, 52, 57, 59

カワラニガナ (キク科)

Ixeris tamagawaensis



生育環境



▶山地
▶草原



▶河川

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

環境省：準絶滅危惧

VU

NT

●特徴：高さ 15~30cm の多年草。葉は線形か線状披針形で全縁～疎歯牙縁、根生葉は多数、茎葉は少ししかありません。頭花は黄色、径 1.5~2cm です。花期は 5~11 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の日当たりのよい河川敷に生育します。

●国内の分布：本州（中部地方以北）に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の犀川の河川敷に生育しています。

●減少要因：河川敷上流のダム建設後、自然遷移が進み森林化したことによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 19, 20, 24, 36, 39, 56, 57, 59

シラネアザミ (キク科)

Saussurea nikoensis



生育環境



▶山地
▶草原



▶河川

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ 35~65cm の多年草。茎に狭い翼があります。下部の葉には長い柄があり、卵形または長楕円形で基部は心形からほこ形です。頭花は淡紅紫色、茎頂に 2~8 個つきます。花期は 8~9 月です。総苞片は卵状披針形で先が長く伸びます。

●生育環境：山地帯の森林の林床や林縁、草原、伐採跡地に生育します。

●国内の分布：本州（東北地方から中部地方）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：森林の管理放棄や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 16, 24, 57, 59

コウリンカ (キク科)

Senecio flammeus var. *glabrifolius*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：留意種

N

VU

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ 50~60cm の多年草。茎は直立します。根生葉は花期には枯れ、下部の茎葉は広倒披針形、縁にふぞろいな微鋸歯があり、基部は茎をやや抱きます。頭花は橙色でやや散状に付き、長い舌状花が反り返って咲きます。花期は7~9月です。

●生育環境：山地帯の日当たりのよい草原に生育します。

●国内の分布：本州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：森林や草原などの生育地の減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57, 59

タムラソウ (キク科)

Serratula coronata ssp. *insularis*



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： —

—

VU

環境省： —

—

●特徴：高さ 30~140cm の多年草。茎は直立します。葉は卵状長楕円形で羽状全裂、裂片は6~7対になります。頭花は長い柄の先に付き、紅紫色で径3~4cmです。総苞片は7~8列です。花期は7~9月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁や草原に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：山麓部・平野部から山地帯の草原に生育しています。

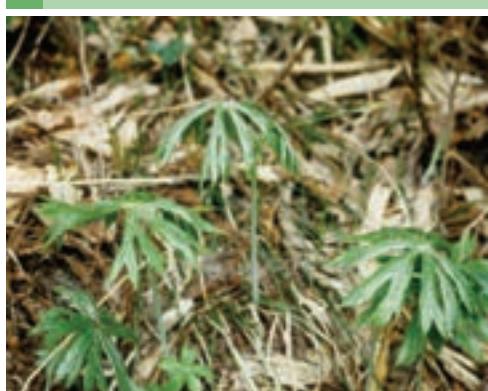
●減少要因：森林や草原などの生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 19, 24, 46, 52, 57, 59, 144, 145

ヤブレガサ (キク科)

Syneilesis palmata



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： —

—

VU

環境省： —

—

●特徴：高さ 70~120cm の多年草。花茎は直立し、分枝しません。下部の葉は葉柄に盾状につき、円形で掌状に7~9個に深裂します。茎葉は2~3枚つき小型で、披針形です。頭花は白色、円錐花序を形成します。花期は7~10月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷・堀金の山地帯の森林の溪流沿いに生育しています。

●減少要因：明るい林からヒノキやスギの林床が暗い林になったことによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 52, 57, 144

オナモミ (キク科)

Xanthium strumarium



生育環境



■草原
■耕作地



■河川
■湿地

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

VU

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ 20~120cm の一年草。葉身は卵状 3 角形で、3~5 浅裂してふぞろいな鋸歯があり、基部は心形、両面に剛毛があつてざらつきます。頭花は白色、無花冠です。花期は 8~10 月です。いがは狭卵形～広卵形で 9~18mm です。

●生育環境：山麓部・平野部のやや湿った草原や道ばた、河川敷などに生育します。

●国内の分布：日本全国に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の農地や、豊科・明科の犀川の河川敷に生育しています。

●減少要因：土地改良や河川開発による生育地の悪化や減少及び外来植物との競合による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 19, 20, 24, 39, 57, 59, 144

ヘラオモダカ (オモダカ科)

Alisma canaliculatum



生育環境



■草原
■耕作地



■河川
■湿地

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： —

—

VU

環境省： —

—

●特徴：高さ 40~130cm の多年草。葉は根生し、披針形で、基部は葉柄につづきます。花は白色、3 枚の花弁からなり、ややまばらな花序を形成します。花序の枝は 3 本ずつ輪生し、更に小枝を 3 本ずつ輪生します。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の池沼や水田などに生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・堀金・明科の農地や、用水路の岸辺、河川の湿地に生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発後の水質汚濁や池の管理放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 19, 20, 24, 52, 56, 57, 59, 63

ウリカワ (オモダカ科)

Sagittaria pygmaea



生育環境



■草原
■耕作地



■河川
■湿地

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

VU

環境省： —

—

●特徴：高さ 10~25cm の多年草。地面を横に走る茎を出し、その先に新しい個体をつくります。葉は線形で根生し、ややへラ形になります。花は白色、3 枚の花弁からなり、花序の上部に雄花、基部に雌花を付けます。花期は 7~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の池沼や水田などに生育します。

●国内の分布：北海道南西部から南西諸島に分布します。県内では中部、南部に分布します。

●市内の分布：豊科の水田に生育しています。

●減少要因：水田除草剤の使用や稲作の変化による生育地の悪化や減少が考えられます。かつては安曇野市全域の水田に普通にみられました。

参考文献 No.

4, 19, 24, 57, 59

クロモ (トチカガミ科)

Hydrilla verticillata



生育環境

ヒルムシロ (ヒルムシロ科)

Potamogeton distinctus



生育環境

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：絶滅危惧 IA 類

CR

VU

環境省：

—

●特徴：沈水性の多年草。茎はよく分枝し、各節に3~8葉を輪生します。葉は無柄で長さ1~1.5cmです。雄花は植物体を離れて水面に浮き、雌花は萼筒が細く伸びて水面で開花します。花期は8~10月です。冬になると越冬芽を形成します。

●生育環境：山地帯の湖や池沼に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の山麓部・平野部の用水路に生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発後の水質汚濁による生育地の悪化や減少及び外来種のコカナダモとの競合による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

19, 20, 52

ヒルムシロ (ヒルムシロ科)

Potamogeton distinctus



生育環境

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：

—

VU

環境省：

—

●特徴：沈水性、浮葉性の多年草。沈水葉は明瞭な葉柄があり、披針形、長さ約16cm、幅約2.5cmです。浮葉は狭長楕円形から楕円形で長さ5~10cm、幅2~4cmです。長さ2.5~5cmの穗状の花序を形成します。花期は5~10月です。

●生育環境：山麓部・平野部の河川、湖や池沼、溜池、水田、用水路などに生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山麓部・平野部の水田や用水路に生育しています。

●減少要因：土地改良や湿地・湧水地の開発、除草剤の使用などの水質汚濁による生育地の悪化や減少及び外来種のコカナダモとの競合による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 19, 24, 52, 57

イトモ (ヒルムシロ科)

Potamogeton pusilla



生育環境

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

VU

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：沈水性の多年草。葉は狭線形で長さ2~5cm、無柄で鋭頭、全縁です。葉の内側に茎を抱く托葉があり、葉の付け根の反対側で開き、両縁が重なり合います。花は1~2cmの花柄の先に長さ3~5cmの穗状の花序を形成します。花期は6~8月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湖や池沼、溜池、用水路に生育し、水の流れる場所を好みます。

●国内の分布：日本全国に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山麓部・平野部の用水路に生育しています。

●減少要因：河川開発や湿地・湧水地の開発後の水質汚濁による生育地の悪化や減少及び外来種のコカナダモとの競合による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 57, 145

ヒロハノコウガイゼキショウ (イグサ科)

Juncus diastrophanthus



生育環境



■ 湿地



■ 河川

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：多年草。コウガイゼキショウに似ていますが、茎葉は幅広く2~5mmです。頭花は球形で各花が疎らに星状につき、果実の倍の長さです。花期は7~8月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の渓流の湿地に生育しています。

●減少要因：河川開発や森林の管理放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

カズノコグサ (イネ科)

Beckmannia syzigachne



生育環境



■ 湿地



■ 河川

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ30~90cmの一年草または越年草。茎はやや軟弱で太いです。葉は粉緑色で幅は5~10mmです。花序は直立し、長さは15~35cmで、短い枝の先に長さ約3cmの小穂がびっしりとつきます。花期は5~7月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：明科の山麓部・平野部の用水路に生育しています。

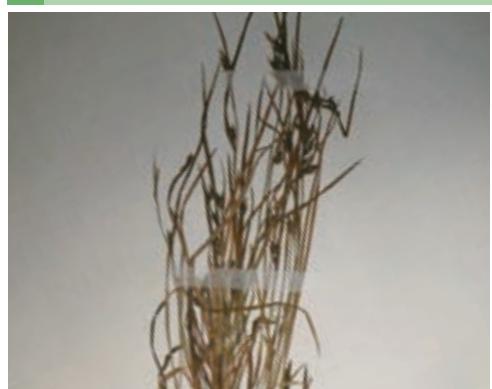
●減少要因：水田の秋起こしや除草剤の使用による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 20, 24, 39, 57, 59

コジュズスゲ (カヤツリグサ科)

Carex parciflora var. *macroglossa*



生育環境



■ 森林



■ 湿地

安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県： — —

VU

環境省： — —

●特徴：高さ15~30cmの多年草。ゆるい株を作ります。葉は幅3~7mm、基部の鞘は淡色です。頂小穂は雄性で線形、長さ1~1.5cm、側小穂は雌性で長楕円形、長さ1~2cm 果胞は斜開し長卵形で長い嘴があります。花期は5~6月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の湿地や、やや湿った森林に生育します。

●国内の分布：北海道、本州、九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山麓部の林縁に生育しています。

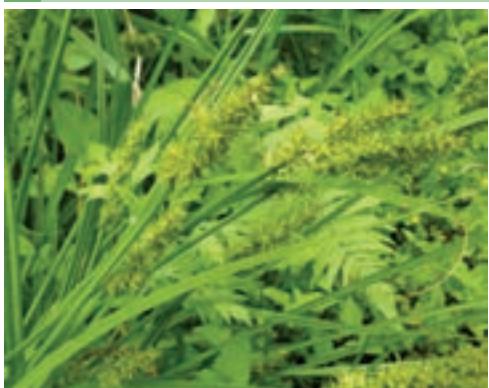
●減少要因：森林化による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 52, 57

オオカワズスゲ (カヤツリグサ科)

Carex stipata



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：— —

VU

環境省：— —

●特徴：高さ 30~60cm の多年草。茎は 3 種があり、叢生します。葉は幅 3~7mm、基部の鞘は淡褐色です。花序は長さ 3~6mm の卵状円柱形で、苞が刺状で目立ち、小穂はやや近接し、卵円形で 6~10mm、果胞は開出します。花期は 5~7 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の湿地や沢沿いに生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の湿地に生育しています。

●減少要因：森林化や植林、土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 24, 57, 145

シズイ (カヤツリグサ科)

Scirpus nipponicus



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

環境省：— —

●特徴：高さ 40~60cm の多年草。3 種形で、根生葉を生じ、地下に走出枝を伸ばします。根生葉は 3 種形、幅 2~3mm です。花序は枝のある散房状で、5~8 個の小穂を付けます。

●生育環境：山麓部・平野部の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では北部、中部に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の湿地に生育しています。

●減少要因：湿地・湧水地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 57

カモメラン (ラン科)

Orchis cyclochila



生育環境



安曇野市：絶滅危惧 II 類

長野県：絶滅危惧 I B 類

VU

環境省：準絶滅危惧

EN

NT

●特徴：高さ 5~15cm の多年草。横走する根状の地下茎が出て株を増やし群生します。葉は広楕円形で、根本に 1 枚あり、長さ約 10cm、葉柄は基部で茎を包みます。花は淡紅色、茎の上方に 2 個付け、濃色の斑点が多数あります。花期は 5~7 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の湿気の多い森林の林縁や、岩石上などに生育します。

●国内の分布：北海道から四国に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：淡紅色の花が美しいため、園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 57

コスギラン (ヒカゲノカズラ科)

Lycopodium selago



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 5~10cm の常緑性のシダ類。茎は単生か基部で又状に分枝し、先端に芽体を付け栄養繁殖をおこないます。葉は黄緑色、線状披針形で、やや厚く、茎に圧着する傾向があります。

●生育環境：高山帯の裸地に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（岐阜県以北）、九州（屋久島）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の高山帯の乾燥した岩場に生育しています。

●減少要因：登山道の拡張による生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 24, 57, 143

エゾフユノハナワラビ (ハナヤスリ科)

Botrychium multifidum var. *robustum*



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：冬緑性のシダ類。栄養葉の葉質は厚く、三角状長楕円形で三回羽状に深裂し、小羽片はほぼ無柄でほぼ全縁、葉柄に毛が多く、大型になります。胞子葉は栄養葉よりはるかに高く、直立します。

●生育環境：山地帯の湿原などに生育します。

●国内の分布：北海道から四国に分布します。県内では北部、中部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 35, 52, 57, 59, 69, 143, 145

コウヤコケシノブ (コケシノブ科)

Hymenophyllum barbatum



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：常緑性のシダ類。葉は2~3回羽状複葉で長さ3~5cm、暗緑色で時に黒光りするほどの光沢を持ちます。葉縁に不規則な鋸歯があります。胞子のう群は裂片の頂端に単生し、葉の先端に集まります。

●生育環境：山地帯の苔むした岩上などに生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では中部、南部に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の溪流沿いの岩上に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

13, 24, 36, 52, 57

チャセンシダ (チャセンシダ科)

Asplenium trichomanes



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

長野県：—

環境省：—

●特徴：葉の長さ10~20cmの常緑性のシダ類。葉は単羽状の線形で、羽片は20対以上あり、ほとんど同形で長楕円形、円頭、縁にごく浅い鋸歯があります。葉柄は紫褐色で、表面両側に2つの翼をもちます。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の石垣、岸壁などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の岩上や石垣などに生育しています。

●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 52, 57

テバコワラビ (メシダ科)

Athyrium atkinsonii



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：留意種

N

NT

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ1m以上の夏緑性のシダ類。葉は大形です。3~4回羽状で、裂片には小さな鈍鋸歯があります。葉はやや赤褐色でしっかりせず、互いに寄りかかるように生育します。

●生育環境：亜高山帯の森林の林床などに生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。長野県は分布の北限です。

●市内の分布：堀金の亜高山帯の湿地に生育しています。

●減少要因：湿地などの生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 57, 144

イヌガヤ (イヌガヤ科)

Cephalotaxus harringtonia



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

—

NT

環境省：—

—

●特徴：高さ8~10mの常緑針葉樹。幹の直径は20~30cmです。樹皮は灰褐色で薄く、縦長に裂けます。葉はカヤに似ていますが、明らかに中肋があり、先端が急に尖るもの、痛くないことで区別されます。花期は3~4月です。種子は10月に熟し、楕円形で約2.5cmです。

●生育環境：山地帯の湿った場所に生育します。

●国内の分布：本州（岩手県以南）から九州（屋久島）に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：明科の犀川の土手に生育しています。

●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 29, 36, 57

ケショウヤナギ (ヤナギ科)

Chosenia arbutifolia



生育環境



森林地



河川

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：準絶滅危惧

NT

NT

環境省：

—

●特徴：高さ約15mの落葉広葉樹。1年枝は秋から翌春にかけて紅く、若枝は粉白色です。葉は倒披針形で鋭尖頭、基部は鋭形で短い葉柄があり、裏面は粉白色です。花穂は下垂し、雌花穂は果時に斜上します。花期は4~5月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯に生育します。

●国内の分布：北海道に隔離分布します。そのほか、本州（長野県）に分布します。県内では北部、中部に分布します。

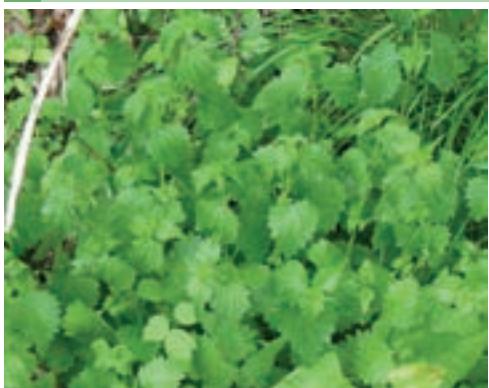
●市内の分布：豊科・穂高・堀金の河川敷に生育しています。確認数は多いものの、豊科熊倉地区以外では個体数は少なく、安曇野市が分布の南限です。

●減少要因：ダム建設や河川開発後、森林化が進んだことによる生育地の悪化や減少が考えられます。また、外来種のハリエンジュとの群落競合による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No. 4, 19, 20, 24, 57

コバノイラクサ (イラクサ科)

Urtica laetevirens



生育環境



森林地



河川

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：

—

NT

環境省：

—

●特徴：高さ50~100cmの多年草。刺毛があります。葉は広卵形でイラクサの葉が重鋸歯縁であるのに対し、コバノイラクサの葉は単鋸歯縁です。雌雄同株で、茎の上方に雄性に、下方に雌性の穂状花序が腋につきます。花期は7~10月です。

●生育環境：山地帯の落葉広葉樹林の林床の岩場に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（近畿地方以北）に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：明科の山地帯の渓流沿いや道路の法面に生育しています。

●減少要因：道路工事による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 24, 57, 59, 69

タガソデソウ (ナデシコ科)

Cerastium pauciflorum var. amurense



生育環境



森林地



河川

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：準絶滅危惧

NT

NT

環境省：絶滅危惧Ⅱ類

VU

●特徴：高さ30~50cmの多年草。茎は直立し、上部には纖毛の混じった毛が生えます。葉は無柄で披針形、先はとがり、両面と縁に伏毛が生えます。花は白色、全縁の5枚の花弁からなり、頂生するまばらな集散花序を形成します。花期は5~6月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁に生育します。

●国内の分布：本州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。また、白い花が美しいため、園芸用としての採取による個体数の減少も考えられます。

参考文献 No. 4, 16, 21, 24, 35, 36, 40, 45, 48, 52, 57, 59, 63, 144

タカネナデシコ (ナデシコ科)

Dianthus superbus var. *speciosus*



生育環境



■草原
■種地



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：高さ 10~30cm の多年草。茎は直立します。葉は線状倒披針形で粉白色を帶びます。花は紅紫色、茎頂にまばらに付き、深く切れ込む 5 枚の花弁があります。萼筒は長さ 2~2.3cm、基部に 2 対の苞があります。花期は 7~8 月です。

●生育環境：高山帯に生育します。

●国内の分布：北海道、本州に分布します。県内では北アルプス、中央アルプス、南アルプスなどの高山帯に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の高山帯の乾燥した草原に生育しています。穂高では 1920 年以降確認されていないことから、絶滅した可能性があります。

●減少要因：登山道の拡張による生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 57, 144

フシグロセンノウ (ナデシコ科)

Lynchnis miqueliana



生育環境



■森林
■山地



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：高さ 50~80cm の多年草。茎は直立します。葉は卵形から長楕円状披針形で基部は細まり、先は短く尖ります。花は朱赤色、ほぼ全縁の 5 枚の花弁からなります。萼筒は長さ 2.5~3cm です。花期は 7~10 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。また、赤い花が美しいため、園芸用としての採取による個体数の減少も考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 18, 19, 24, 36, 52, 57, 59

ワダソウ (ナデシコ科)

Pseudostellaria heterophylla



生育環境



■森林
■山地



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：高さ 5~25cm の多年草。茎は直立します。葉には 2 形あり、上部の 4 枚は仮輪生状で広卵形～菱状卵形、他の葉は倒披針形で基部は細まります。花は白色、1~5 個が頂生し、花弁は 5 枚で倒卵形で先がややへこみます。花期は 4~5 月です。

●生育環境：山地帯の落葉広葉樹林の林床などに生育します。

●国内の分布：本州、九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷・堀金の山地帯の落葉広葉樹林の林床や林縁に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 36, 52, 57

ヒゲネワチガイソウ (ナデシコ科)

Pseudostellaria palibiniana



生育環境



▶ 森 林



▶ 農 作 地

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：高さ 8~15cm の多年草。茎は直立します。葉は卵状披針形～倒披針形で基部は細まります。花は白色、上部の葉腋から細長い柄を出して単生します。花弁は 5~7 枚でやや細長いです。花期は 4~5 月です。

●生育環境：山地帯の落葉広葉樹林の林床などに生育します。

●国内の分布：本州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 52, 57

カワラアカザ (アカザ科)

Chenopodium virgatum



生育環境



▶ 農 作 地



▶ 河 川

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：高さ 30~50cm の多年草。茎は直立します。葉は幅が狭く、厚くて全縁です。花穂は細長くて普通枝を分けず、花軸には長い管状の毛を密生する特性があります。花期は 7~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の河川敷に生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の犀川や高瀬川の河川敷に生育しています。

●減少要因：ダムや堰堤の建設後、河川敷が安定し、台風や梅雨などの長雨の増水で群落が破壊され、裸地などの生育地が無くなりました。また外来種との競合による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 19, 20, 24, 56, 57, 59

アズマイチゲ (キンポウゲ科)

Anemone raddeana



生育環境



▶ 森 林



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：高さ 15~20cm の多年草。茎葉は 3 出状に分裂し、3 枚が輪生します。大きな花が一個頂生し、上に向かって開きます。花弁はなく、白色の萼片が 10 枚程度つき、裏面は少し紫色を帶びています。花期は 3~5 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の森林の林床や水田、畑地の土手などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金・明科の山麓部の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少及び園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 18, 21, 24, 36, 38, 48, 52, 57, 59

バイカモ (キンポウゲ科)

Ranunculus nipponicus var. *major*



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：多年草。節から白い根を出して、長く茎を伸ばします。葉は3~4回3出し、線形の裂片が房状になります。蕾の柄は3~5cm伸びて水上に開花し、花後もさらに伸びます。花は径約1.5cmで白色の花弁が5枚です。花期は6~8月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の河川や用水路に生育し、きれいな水が流れている場所を好みます。

●国内の分布：北海道、本州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金・明科の河川や用水路に生育しています。

●減少要因：圃場整備・河川開発・湧水開発による流水などの生育地の消失及び外来種のコカナダモと競合による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 15, 16, 19, 20, 24, 39, 52, 56, 57, 144, 146

メギ (メギ科)

Berberis thunbergii



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：高さ約2mの落葉広葉樹。幹は分枝し、顕著な稜とトゲが目立ちます。葉は倒卵形から橢円形で円頭、全縁の長さ1~5cm、幅0.5~1.5cmで面は帶白色です。花は黄色、短枝の先に垂れる総状の花序を2~4個付けます。花期は4月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の明るい森林の林縁、草原などに生育します。

●国内の分布：本州（関東地方以西）から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山麓部から山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 15, 16, 24, 36, 48, 52, 57, 145

タコアシオトギリ (オトギリソウ科)

Hypericum penthorodes



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：高さ約70cmの多年草。茎は叢生で分枝します。葉は対生し、披針状長楕円形で黒点が入ります。花は黄色、長さ約6mmの5枚の花弁からなります。花期は7~8月です。

●生育環境：山地帯のやや湿った場所に生育します。

●国内の分布：本州（日本海側）に分布します。県内では北部に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金・明科の水田の畦に生育しています。

●減少要因：明科では休耕田の縁に生育していました。現在休耕田が再利用され、生育地が消失したため、明科では絶滅したものと考えられます。

参考文献 No.

24, 57

ミズオトギリ (オトギリソウ科)

Triadenum japonicum



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 50～100cm の多年草。葉は対生し、披針状長楕円形で長さ 3～7cm と比較的大きくなります。花は淡桃色、長さ約 5mm の 5 枚の花弁があります。花期は 8～9 月です。

●生育環境：山地帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山麓部の湿地に生育しています。

●減少要因：土地開発や湿地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。また、市内には湿地が少ないことも個体数の減少の要因と考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57, 145

ツルケマン (ケシ科)

Corydalis ochotensis



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：絶滅危惧 IB 類

EN

NT

環境省： — —

●特徴：高さ約 1m の多年草。茎はよく分枝します。葉は 2～3 回 3 出複葉、小葉は 3 深裂して長楕円形から卵形の裂片となります。花は淡黄色、細長い距を持つ筒状で、総状花序を形成します。花期は 8～9 月です。果実は長倒卵形で種子が 2 列に並びます。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：本州（関東地方、中部地方）に分布します。県内では東部に分布します。

●市内の分布：堀金の山麓部から山地帯の裸地に生育しています。

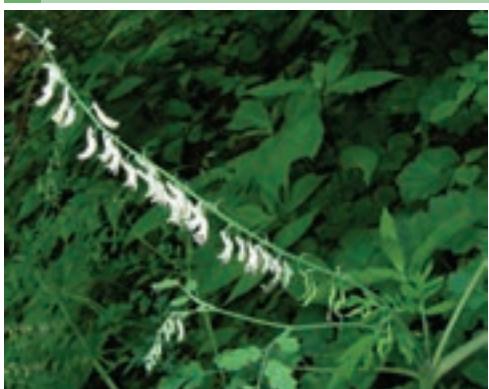
●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 24, 57

ヤマキケマン (ケシ科)

Corydalis ophiocarpa



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 40～80cm の多年草。全体に白っぽい青緑色をしています。葉は羽状複葉で小葉は卵形に深裂し、欠刻があります。花は黄緑色、細長い距を持つ筒状で、長めの総状花序を形成します。花期は 5～7 月です。果実は線形で著しく屈曲します。

●生育環境：山地帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：本州（関東地方以西）から九州に分布します。県内では中部、東部に分布します。

●市内の分布：明科の山麓部の湿地に生育しています。

●減少要因：土地開発や湿地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。また、市内には湿地が少ないことも個体数の減少の要因と考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 24, 52, 57, 59

キバナハタザオ (アブラナ科)

Sisymbrium luteum



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 1m 以上の多年草。茎は直立します。葉はこの科の中では比較的大きく、卵形から披針形で柄があります。花は黄色、4枚の花弁があり、総状花序を形成します。果実は8~14cmの線形で細長く、垂れ下がる様に付きます。花期は6~7月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：本州、九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 19, 24, 36, 57, 59, 144

チシマネコノメソウ (ユキノシタ科)

Chrysosplenium kamtschaticum



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 3~20cm の多年草。根生葉はロゼットを形成し花期まで残ります。茎葉はないまたは1対、苞は円形で茎葉より大きいです。萼裂片は4裂し、黄緑色で平開し、花盤は緑色から淡黄緑色、雄蕊は8個で葯は紅色です。花期は4~6月です。

●生育環境：山地帯の湿った森林や沢沿いに生育します。

●国内の分布：北海道、本州（近畿地方以北の日本海側）に分布します。県内では北部、中部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の湿地に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 52, 57

オクチョウジザクラ (バラ科)

Prunus apetala var. pilosa



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 5m の落葉広葉樹。樹皮は紫褐色です。葉は倒卵形で先が尾状に伸び、基部は円形、葉柄は6~10mm、毛が目立ちます。花は白色から淡紅色、径 1.8~2.5cm、萼や花柄の開出毛は少なく、萼裂片は全縁です。花期は展葉前の4~5月です。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。

●国内の分布：本州（東北地方、中部地方、北陸地方）に分布します。県内では北部に分布します。

●市内の分布：豊科・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。また、元々日本海型分布の種類であり、市内の個体数はごくわずかです。

参考文献 No.

16, 24, 57

フジカンゾウ (マメ科)

Desmodium oldhamii



生育環境



森林



河川・湿地

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

長野県：—

環境省：—

●特徴：高さ 50～150cm の多年草。葉は 5～7 小葉からなり、頂小葉は長楕円形または倒卵形です。花は淡桃色、50cm にも達する長い総状花序を形成します。花期は 8～9 月です。小節果は 3 角形で全面に短い鉤毛がります。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷・堀金の山地帯の森林に生育しています。

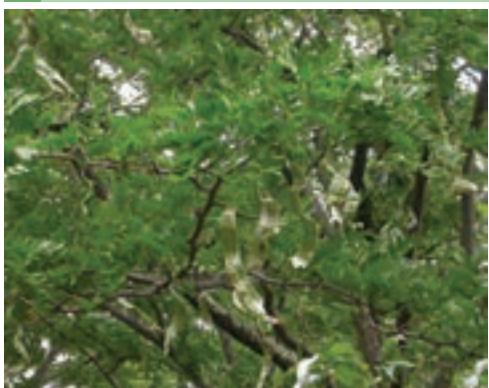
●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 19, 24, 52, 57

サイカチ (マメ科)

Gleditsia japonica



生育環境



森林



河川

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：準絶滅危惧

NT

NT

環境省：—

長野県：—

●特徴：高さ 20m の落葉広葉樹。幹にはトゲがあります。葉は 1～2 回羽状複葉です。小型の雄花または雌花を密につけます。花は黄緑色、花期は 5～6 月です。

●生育環境：河川の岸辺に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金・明科の河川の土手などに生育しています。

●減少要因：河川開発による生育地の悪化や減少が考えられます。また、トゲがあるため危険だと考えられたことや、木材として伐採されたことも影響しています。

参考文献 No.

4, 16, 19, 24, 38, 52, 57, 59, 144

イヌハギ (マメ科)

Lespedeza tomentosa



生育環境



河川

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：留意種

N

NT

環境省：絶滅危惧Ⅱ類

VU

●特徴：高さ 1.5m の落葉広葉樹。葉は 3 小葉からなり頂小葉は長楕円形です。全体に黄褐色の軟毛があります。花は帶黃白色、総状花序を形成します。花期は 7～9 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の犀川の土手に生育しています。

●減少要因：河川開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 20, 24, 35, 38, 57, 59

ミヤコグサ (マメ科)

Lotus corniculatus var. *japonicus*



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県：—

—

環境省：—

—

●特徴：高さ 5~40cm の多年草。茎は叢生します。葉は 5 小葉あり、葉の先端に 3 枚、基部に托葉状に 2 枚がつきます。花は黄色、1~3 個からなる花序を形成します。花期は 7~9 月です。豆果は線形で、熟すと 2 つに裂けます。

●生育環境：山地帯の湿った森林や沢沿いに生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：河川敷や山地帯の草原に生育しています。いずれも個体数はごくわずかです。

●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。また、外来種のセイヨウミヤコグサやコメツブウマゴヤシとの競合による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No. 1, 4, 16, 18, 19, 2, 36, 38, 52, 57, 59, 144

ニガキ (ニガキ科)

Picrasma quassoides



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県：—

—

環境省：—

—

●特徴：高さ 8~12m の落葉広葉樹。樹皮は暗褐色で苦味があります。葉は奇数羽状複葉で長さ 20~30cm、小葉は 7~13 枚で先端は鋭く尖ります。花は黄緑色、葉腋からなる集散花序に多数つきます。花期は 4~5 月です。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金・明科の山地帯に生育しています。いずれも個体数は少ないです。

●減少要因：森林管理の放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No. 4, 13, 19, 24, 38, 52, 57, 59

ホソエカエデ (カエデ科)

Acer capillipes



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県：—

—

環境省：—

—

●特徴：高さ 10~15m の落葉広葉樹。樹皮は緑色で黒斑があり、葉は卵状五角形で 3~5 浅裂し先が尾状で、基部は浅心形から円形です。花は 5~10 cm の下垂する総状花序を形成します。花期は 5 月です。分果は長さ約 1.5cm、翼果は鈍角に開きます。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。

●国内の分布：本州（中部地方から近畿地方）、四国に分布します。県内では中部、東部、南部に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の落葉広葉樹林に生育しています。

●減少要因：森林伐採による生育地の悪化や減少が考えられます。明科地域では、森林伐採により枯死しました。

参考文献 No. 24, 36, 52, 57

ヒナウチワカエデ (カエデ科)

Acer tenuifolium



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県：—

—

環境省：—

—

●特徴：高さ 5~8m の落葉広葉樹。葉は掌状に 9~11 中・深裂、基部は心形から切形、裂片に欠刻状の切れ込みと重鋸歯があります。花は 5~10 cm の総状の花序を形成します。花期は 4~5 月です。分果は長さ約 2cm、翼果は鈍角に開きます。

●生育環境：山地帯に生育します。

●国内の分布：本州（福島県南部以南）から九州に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の落葉広葉樹林に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 36, 57

ウメモドキ (モチノキ科)

Ilex serrata



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県：—

—

環境省：—

—

●特徴：高さ 2~3m の落葉広葉樹。葉は長さ 2~7cm で楕円形から長楕円形、先は鋭くとがり、基部は鋭形で葉柄に流れます。花は淡紫色、葉腋に集散状の花序を形成します。花期は 5~7 月です。果実は球形で径約 5 mm、赤熟します。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷の山地帯の落葉広葉樹林に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。また、園芸用として採取され、赤い果実の美しさから庭木として利用されています。

参考文献 No.

4, 18, 19, 24, 36, 52, 57, 145

クマヤナギ (クロウメモドキ科)

Berchemia racemosa



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県：—

—

環境省：—

—

●特徴：つる性の落葉広葉樹。葉は卵型から長楕円形で、長さ 5~20 mm、縁は全縁です。花は小さな黄緑色、総状または複総状で側枝の先または枝の先端部に付けます。花期は 7~8 月です。核果は長楕円形で長さ 5~7mm、赤色から熟すと黒色になります。

●生育環境：山地帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・明科の平野部の湿地に生育しています。穂高では 1926 年以降確認されていないことから、絶滅した可能性があります。

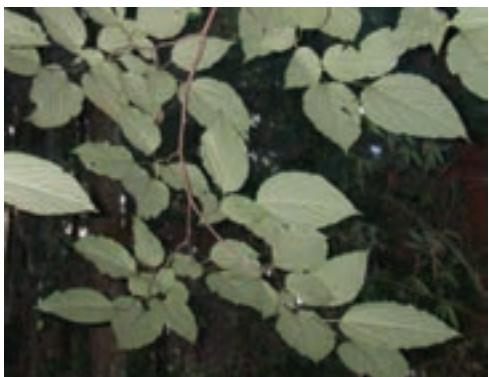
●減少要因：森林伐採や植林、土地開発などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 18, 20, 24, 36, 38, 48, 52, 57, 59

ケンボナシ (クロウメモドキ科)

Hovenia dulcis



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

—

NT

環境省：—

—

●特徴：高さ 20~25m の落葉広葉樹。葉は広卵形、長さ 10~20cm、幅 6~14cm、葉脚部から 3 本の脈が出ます。花は集散花序を形成します。花期は 6~7 月です。果実は球形で径約 7mm です。花序の枝は肥厚し、霜が降りると甘くなり食べられます。

●生育環境：山地帯の沢沿いなどに生育します。

●国内の分布：北海道（奥尻島）から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山麓部から山地帯に生育しています。

●減少要因：もともと個体数の少ない樹木です。果実は生食もされていました。森林伐採による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 38, 57, 59

カラスノゴマ (シナノキ科)

Corchoropsis tomentosa



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：準絶滅危惧

NT

NT

環境省：—

—

●特徴：高さ 30~60cm の一年草。茎は直立します。葉は卵形で先がややとがり、基部は円形、重鋸歯があります。花は黄色、径 10~15mm の下向きの 5 弁です。花期は 8~9 月です。果実は棍棒状で長さ 25~35mm です。

●生育環境：山麓部・平野部の畠地の縁や道ばたに生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金・明科の放置された農地や道ばたに生育しています。個体数はごくわずかです。

●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

19, 24, 52, 57, 59

オオタチツボスマリ (スミレ科)

Viola kusanoana



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

—

NT

環境省：—

—

●特徴：高さ約 40cm の多年草。茎は叢生します。葉は円心形で基部は心形です。花は淡紫色、距は白色、側弁に毛があり、花柄は茎上に腋生します。花期は 4~6 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州の日本海側に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の落葉広葉樹林に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林により生育地が減少しました。

参考文献 No.

5, 13, 24, 36, 48, 52, 57, 144

ミソハギ (ミソハギ科)

Lythrum anceps



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ約 1m の多年草。茎は無毛です。葉は柄が無く対生若しくは3輪生し、長披針形～広披針形で先はとがり、基部は細まって茎を抱きません。花は紅紫色、6枚の花弁からなり、穂状花序を形成します。花期は7～8月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湿地や水田の畦に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の落葉広葉樹林に生育しています。

●減少要因：圃場整備や水路の三面堰化により生育地が減少しました。盆花としても利用されており、園芸用として採取されたり水田の縁に移植されることがあります。

参考文献 No. 4, 16, 19, 24, 38, 52, 57, 59, 63

ヒシ (ヒシ科)

Trapa japonica



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：水中に生育する一年草。浮水葉は放射状に水面に浮かび、3角状菱形で鋸歯があります。葉柄は長くて中央部が膨らみ、浮袋の役目をしています。花は白色、4枚の花弁からなります。核果に2本の大きなトゲがあります。花期は7～10月です。

●生育環境：山地帯の湖や池沼、溜池に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の溜池に生育しています。

●減少要因：池沼開発による絶滅の可能性があります。市内には池沼が少ないとことや、個体数が少ないとことによる減少が考えられます。最近では、明科の人工池で確認されました。

参考文献 No. 19, 20, 59, 144

ホザキノフサモ (アリノトウガサ科)

Myriophyllum spicatum



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：水中に生育する多年草。水中葉は4個輪生し、柄はなく、羽状に深裂し、裂片は糸状で対生します。6～9月に、頂生する穂状花序を水面から突き出し、上部に雄花、下部に雌花を付けます。水上葉はごく小さく目立ちません。

●生育環境：山麓部・平野部の池沼に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の犀川の細流に生育しています。

●減少要因：水質汚濁による生育地の悪化や減少が考えられます。また、コンクリートによる三面堰化や冬期堰に通水しないことも生育地の減少要因と考えられます。

参考文献 No. 4, 24, 56, 57, 59, 144

ノダケ (セリ科)

Angelica decursiva



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県：—

—

環境省：—

—

●特徴：高さ 80～150cm の多年草。葉は 3 出羽状複葉で下部のものは長い葉柄があり、3～5 枚の小葉がみられます。葉柄は膨らんで袋状になります。花は暗紫色まれに白色、複散形集散花序を形成します。花期は 9～10 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁や草原などに生育します。

●国内の分布：本州（岩手県以南）から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・堀金の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：土地開発や草原の管理放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 13, 16, 18, 19, 24, 36, 38, 46, 52, 57, 59, 144

シャク (セリ科)

Anthriscus sylvestris



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県：—

—

環境省：—

—

●特徴：高さ 80～140cm の多年草。茎は直立し、枝を分けます。葉は 2 回 3 出羽状複葉で小葉は細裂します。花は白色、大きな複散形花序を形成し、周辺花の外側の 2 花弁はほかよりも大きくなります。花期は 5～6 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 16, 18, 24, 36, 38, 48, 52, 57

ハナウド (セリ科)

Heracleum nipponicum



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県：—

—

環境省：—

—

●特徴：高さ 70～100cm の多年草。葉は 3 小葉か短羽状複葉で、葉両面に多少とも毛があります。花は白色、径約 18cm の複散形花序を形成します。花序の一一番外側の花は形が異なり、花弁がやや大きくなります。花期は 5～6 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁に生育します。

●国内の分布：本州（関東地方以西）から九州に分布します。県内では中部、南部に分布します。

●市内の分布：堀金・明科の山麓部の草原や道路の法面に生育しています。

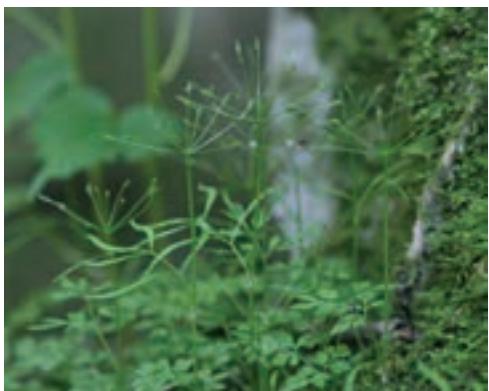
●減少要因：土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。また、明科では、道路の縁に生育しており、法面の除草により減少しています。

参考文献 No.

1, 3, 24, 57, 59

イワセントウソウ (セリ科)

Pternopetalum tanakae



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 10~30cm の多年草。茎は単一です。根出葉は 2~3 回三出羽状複葉で、小葉は深く切れ込みます。花は白色、10~20 個の小花が複散形花序を形成します。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。

●国内の分布：本州（岩手県以南）から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 13, 16, 24, 57, 143, 144

ハダカシャクジョウソウ (イチヤクソウ科)

Monotropa hypopithys var. *glaberrima*



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 10~20cm の腐生植物。葉緑素を持たず全体が淡黄褐色になります。茎や花柄は無毛です。花は長さ 1.2~1.5cm で、茎の先に総状花序を形成し、4~8 個の下向きの花を付けます。花期は 6~8 月です。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。

●国内の分布：本州に分布します。県内では中部、東部に分布します。

●市内の分布：明科のアカマツ林に生育しています。寄生植物です。

●減少要因：森林伐採により減少しました。また生育地の自然遷移による減少の可能性も考えられます。

参考文献 No.

24, 57, 59

ホンシャクナゲ (ツツジ科)

Rhododendron degronianum ssp. *metternichii* var. *hondoense*



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 2~4m の常緑広葉樹。葉は長さ 5~15 cm の長楕円形で革質、裏面に枝状毛がほとんどなく、平たいロゼット状毛のみが生えます。花は紅紫色、花冠は 7 裂し、枝先に短い総状花序を形成します。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の常緑針葉樹林に生育し、岩の露出した場所を好みます。

●国内の分布：本州（新潟県西部以西）、四国に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の森林に生育しています。花が白いタイプ（シロバナホンシャクナゲ）もあります。

●減少要因：森林伐採により減少しました。花が美しいため、園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 15, 16, 24, 36, 52, 57, 145

ヒカゲツツジ (ツツジ科)

Rhododendron keiskei



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

長野県：—

環境省：—

●特徴：常緑広葉樹。葉は互生し、枝先に輪状につき、披針形で先は尖ります。葉質は薄い革質で全縁、裏面に細点があります。花冠は淡黄色、漏斗状鐘形です。ツツジ亜属とシャクナゲ亜属の中間的な存在です。花期は4~5月です。

●生育環境：山地帯のアカマツ林などに生育し、岩の露出した場所を好みます。

●国内の分布：本州（関東地方以西）から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・明科の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。黄色の花が大きく美しいため、庭木にしたり、鉢植えにする場合もあります。園芸用としての採取による個体数の減少も考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 57, 59, 143

ハナイカリ (リンドウ科)

Halenia corniculata



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

長野県：—

環境省：—

●特徴：高さ20~60cmの一年草または越年草。茎は直立します。葉は長楕円形で先がとがり、対生します。花は淡黄色、花冠は4裂し、底から4本の長い距を出して鐘のような形になります。茎頂や葉腋から花柄を伸ばします。花期は8~9月です。

●生育環境：山地帯から高山帯の草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。また、土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

3, 4, 16, 48, 19, 24, 36, 52, 57

スズサイコ (ガガイモ科)

Cynanchum paniculatum



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：準絶滅危惧

NT

NT

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：高さ0.4~1mの多年草。葉は長披針形から線形で細長く、対生します。花は黄褐色、裂片は開出、副花冠は直立し、葉腋から出た柄の先にまばらな集散花序を形成します。花期は7~8月で、早朝に咲き、日が当たる日中には花を閉じます。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の日当たりのよい草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・明科の山麓部の農地の土手に生育しています。

●減少要因：草刈りや除草剤の使用、管理放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 24, 57, 59

オニルリソウ (ムラサキ科)

Cynoglossum aspernum



生育環境



■草原
■林地



■河川

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

—

環境省：—

—

●特徴：高さ 60～120cm の越年。茎には全体に粗い開出毛があります。葉は長楕円形披針形で両端共にとがります。花は淡青紫色、径約 3mm、花序は分枝し、長く伸び、花柄は短く苞葉はありません。花期は 6～8 月です。

●生育環境：山地帯の裸地や河川敷に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山地帯の溪流の湿地に生育しています。

●減少要因：植林による草原などの生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 35, 52, 57

エゾムラサキ (ムラサキ科)

Myosotis sylvatica



生育環境



■森林
■河川



■河川

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：絶滅危惧 II 類

NT

VU

環境省：—

—

●特徴：高さ 20～40cm の多年草。全体に粗く開出毛があります。基部の葉はさじ形、上部の葉は倒披針形でやや茎を抱きます。花は淡青紫色、径約 7mm で、花柄は短く、苞葉は下部にのみあります。萼には鉤状の毛があります。花期は 5～7 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁に生育します。

●国内の分布：北海道、本州中部に分布します。県内では中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山地帯の森林に生育しています。穂高・三郷では絶滅した可能性があります。堀金では 1977 年に確認されています。

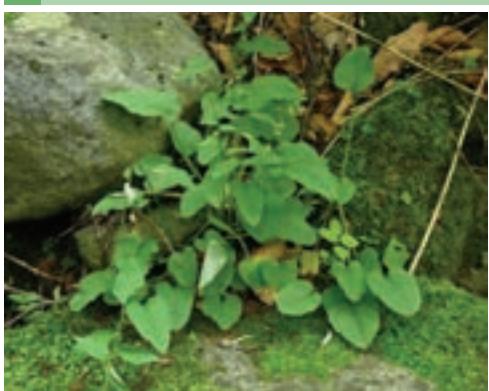
●減少要因：森林伐採や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 52, 57

タチカメバソウ (ムラサキ科)

Trigonotis gulieliomii



生育環境



■森林
■杜鵑林



■杜鵑林

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

—

環境省：—

—

●特徴：高さ 20～60cm の多年草。茎は直立し、圧毛があります。葉は卵形で下方のものには長い柄があります。花は白色または淡青紫色、径 7～10mm で、花序に苞葉はなく、双生し、花柄は約 1cm になります。花期は 5～6 月です。

●生育環境：山地帯の湿った樹林下や沢沿いに生育します。

●国内の分布：北海道、本州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の草原や森林に生育しています。

参考文献 No.

1, 4, 16, 24, 36, 52, 57, 144

コシロネ (シソ科)

Lycopus ramosissimus var. *japonicus*



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：高さ 20~80cm の多年草。茎は四角で、あまり分枝せず直立します。葉は対生し、菱状狭卵形で、先は鈍く粗い鋸歯があります。花は白色、小さな唇形で葉腋に輪生状に付きます。花期は8~10月です。

●生育環境：湿地や池の縁に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の湿地に生育しています。

●減少要因：湿地・湧水地の開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 18, 19, 20, 24, 36, 56, 57

セキヤノアキチョウジ (シソ科)

Rabdossia effusa



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：高さ 70~100cm の多年草。茎は四角で、下向きの毛があります。葉は対生し、長楕円状狭卵形で先が鋭くとがり、基部はくさび形の翼となります。花は青紫色の筒状の唇形で、まばらな集散花序を形成します。花期は9~10月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の沢沿いの湿潤な森林の林縁に生育します。

●国内の分布：本州（中部地方の太平洋側）に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：三郷・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 52, 57

クロバナヒキオコシ (シソ科)

Rabdossia trichocarpa



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：高さ 50~150cm の多年草。茎は四角で、下向きの細毛があります。葉は対生し、三角状広卵形で先が鋭くとがり、基部はくさび形の翼となります。花は暗紫色の唇形で、茎頂や葉腋から伸びる大きな花序を形成します。花期は9~10月です。

●生育環境：山地帯の湿った草原に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（東北地方、中部地方の日本海側）に分布します。県内では北部、中部に分布します。

●市内の分布：三郷・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。また、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 46, 57

ツルニガクサ (シソ科)

Teucrium viscidum var. *miquelianum*



生育環境



▶ 森 林



▶ 河 川

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：高さ 20~40cm の多年草。茎は直立し、地下に走出枝を出します。葉は対生し、卵形~広卵形で、基部はくさび型で葉柄に流れます。花は淡紅色で長さ 3~4cm の花序を形成し、一方に向って付きます。花期は 7~9 月です。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：生育地の自然遷移による生育地の減少が考えられます。また、大型草本類の生育により個体数が減少しています。

参考文献 No.

24, 52, 57

タチコゴメグサ (ゴマノハグサ科)

Euphrasia maximowiczii



生育環境



▶ 草 原



▶ 河 川

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：— —

NT

環境省：— —

●特徴：高さ 15~30cm の一年草。茎は直立し、上部で分枝します。葉は卵円形で基部は切形、鋭い鋸歯が 4~6 対あります。下部の葉は花期には枯れます。花は唇形で白色、紫色の条があり、上部の葉腋ごとにひとつ付きます。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の日当たりのよい草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：草原の森林化による生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 13, 16, 24, 52, 57, 59

ヒヨクソウ (ゴマノハグサ科)

Veronica melisifolia



生育環境



▶ 森 林



▶ 草 原

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：準絶滅危惧

NT

NT

環境省：— —

●特徴：高さ 25~70cm の多年草。茎には軟毛がやや密に生えます。葉は対生し、葉の形は卵形で先はとがり、基部は丸く、縁には不規則な鋸歯があります。茎の上部に紫色の花をつけます。花期は 6~7 月です。

●生育環境：山地帯の森林や草原などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金・明科の森林の林縁や草原に生育しています。

●減少要因：森林伐採や植林、土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 16, 24, 36, 52, 57, 59, 69

サワギキョウ (キキョウ科)

Lobelia sessilifolia



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

環境省：—

●特徴：高さ 50～100cm の多年草。茎は直立し、分枝はしません。葉は披針形で互生し、上部の葉は次第に小さくなります。花は濃紫色で、総状花序を形成します。花冠は2唇形で上部は2裂、下部は3裂します。花期は8～9月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の湿地や池に生育しています。

●減少要因：湿地や湧水地の開発、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 57, 144, 145

シデシャジン (キキョウ科)

Phyreuma japonicum



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

環境省：—

●特徴：高さ 50～100cm の多年草。茎は直立し、全体に毛が散生します。葉は卵形から長楕円形で、基部はくさび形、下部のものは有柄です。花は総状花序を形成し、青紫色で裂片は線状で反転します。萼裂片は線形、全縁です。花は7～9月に咲きます。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の草原、森林の林縁に生育します。

●国内の分布：本州、九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金・明科の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：森林の管理放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 19, 24, 38, 2, 57, 59, 63

コヤブタバコ (キク科)

Carpesium cernuum



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

環境省：—

●特徴：高さ 0.5～1m の多年草。全体に軟毛が多く生えます。下部の葉はさじ状長楕円形で葉柄に翼があり、上部の葉は楕円形から長楕円状披針形です。頭花は黄色で枝の先に複数個を付け、線状披針形の苞が多数付きます。花期は8月～10月です。

●生育環境：山地帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林の管理放棄による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 35, 52, 57

サワアザミ (キク科)

Cirsium yezoense



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

—

NT

環境省：—

—

●特徴：高さ 1~2m の多年草。茎は上部で多く分枝します。葉は大きく、楕円形、羽状に浅裂します。頭花も大型で数個がつき、総状花序を形成します。花期は 9~10 月です。総苞は楕円形、総苞片は 6 列、斜上し先端はやや開出し、粘りません。

●生育環境：山地帯の森林の林縁に生育し、やや湿った場所を好みます。

●国内の分布：北海道、本州（日本海側）に分布します。県内では北部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の渓流沿いの湿地に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。また、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 52, 57

キクタニギク (キク科)

Dendranthema boreale



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：準絶滅危惧

NT

NT

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：高さ 25~150cm の多年草。茎は叢生します。葉は長卵形で有柄、羽状に深裂し、裂片の先はとがり、裏面は淡緑色で有毛です。頭花は黄色で径約 1.5cm、やや散房状につきます。花期は 10~11 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の森林の林縁や道ばた、土手に生育します。

●国内の分布：本州（東北地方から近畿地方の太平洋側）、九州（壱岐、対馬）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・明科の山地帯の草原に生育しています。豊科では 1935 年以降確認されていないことから、絶滅した可能性があります。

●減少要因：草原の管理放棄や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 52, 57

ヤナギタンポポ (キク科)

Hieracium umbellatum



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

—

NT

環境省：—

—

●特徴：高さ 30~120cm の多年草。茎は直立し、上部には短い毛と星状毛が密生します。葉は互生し披針形、下部の葉は花期に枯れます。頭花は黄色で、径 2.5~3.5cm、散房状若しくは円錐状の花序を形成します。花期は 7~10 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の草原や道ばたに生育します。

●国内の分布：北海道から四国に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の山地帯の草原に生育しています。

参考文献 No.

4, 16, 18, 19, 24, 52, 57, 59, 143, 144

アギナシ (オモダカ科)

Sagittaria aginashi



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：絶滅危惧 IB類

EN

NT

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：高さ 20~80cm の多年草。葉腋に多数の小球芽を付けます。葉は根生し長い柄を持つ矢じり形、3つ裂片の先はとがりません。花は白色で3枚の花弁からなり、花序の上部に雄花、下部に雌花を付けます。花期は7~10月です。

●生育環境：山麓部・平野部の水田や湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：各地の水田に生育しています。

●減少要因：除草剤の使用による生育地の悪化が考えられます。かつては、市内の水田に普通にみられる草本でした。

参考文献 No.

4, 16, 19, 144

オモダカ (オモダカ科)

Sagittaria trifolia



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： —

—

NT

環境省： —

—

●特徴：高さ 20~80cm の多年草。葉は根生し長い柄を持つ矢じり形、上の裂片より下の 2 つの裂片の方が長く、それぞれ先はとがります。花は白色で三つの卵円形の花弁からなり、花序の上部に雄花、下部に雌花を付け、花期は8~10月です。

●生育環境：山麓部・平野部の池や水田などに生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の水田・用水路に生育しています。

●減少要因：圃場整備や水路改修、除草剤の使用による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 19, 24, 38, 52, 57, 59

ホソバミズヒキモ (ヒルムシロ科)

Potamogeton octandrus



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：準絶滅危惧

NT

NT

環境省： —

—

●特徴：沈水性、浮葉性の多年草。沈水葉は線形、浮葉は長楕円形でコバノヒルムシロに似ますが果実の形状から区別されます。6月頃から秋にかけて各葉腋に殖芽をつくり、これが栄養繁殖ならびに越冬の方法となります。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の溜池や河川、用水路などに生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の用水路に生育しています。

●減少要因：河川開発や水質汚濁による生育地の悪化により減少しました。用水路の河床や護岸のコンクリート化や冬期に通水しないことも生育地の減少要因と考えられます。

参考文献 No.

19, 24, 52, 56, 57, 59

ヤナギモ (ヒルムシロ科)

Potamogeton oxyphyllus



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

NT

環境省：

—

●特徴：常緑性、沈水性の多年草。茎はよく分枝します。葉は無柄、線形で鋸尖頭、長さ 6~10cm、幅約 1mm で、全縁、5 脈以上あり、基部は長く葉鞘となります。花は 2~5cm の花茎の先に長さ 6~12mm の穂状花序を形成します。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の河川や用水路、まれに溜池にも生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科の用水路に生育しています。

●減少要因：河川開発や水質汚濁による生育地の悪化により減少しました。コンクリートによる三面堰化や冬期堰に通水しないことも生育地の減少要因と考えられます。

参考文献 No.

4, 19

ホウチャクソウ (ユリ科)

Disporum sessile



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

—

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 30~60cm の多年草。茎は通常 1~2 回分枝します。葉は長楕円形へ卵状楕円形です。花は白色で先端が緑白色を帯び、枝の先端に 1~3 個が下垂してつき、筒状で平開せず、長さ 25~30mm、花期は 4~5 月です。液果は球形で黒く熟します。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。また、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 36, 46, 52, 57

カタクリ (ユリ科)

Erythronium japonicum



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

—

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 10~20cm の多年草。葉は黄緑色で暗紫色の斑紋があり、開花個体は根生葉を 2 枚出します。花はピンクで花茎の先に下向きに 1 つ付き、花被片は披針形で内部に W 字状の斑紋があり、強く反りります。花期は 3 月下旬~6 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の落葉広葉樹林の林床や草原などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。また、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。園芸用としての採取による個体数の減少も考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 18, 19, 24, 29, 36, 38, 46, 54, 57, 144

ワニグチソウ (ユリ科)

Polygonatum miserum



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 20~40cm の多年草。上部に稜があります。葉は卵状楕円形で裏面はやや粉白色を帶びます。花は白緑色で長さ約 25mm、葉腋に2つずつ、下垂する花柄の先に2個の苞とともに付きます。花期は5月下旬~6月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。また、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。また、2個の苞が特徴的で珍しいことから園芸用として採取されています。

参考文献 No.

4, 19, 24, 52, 57

コワニグチソウ (ユリ科)

Polygonatum miserum



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：

—

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 15~20cm の多年草。葉は卵状楕円形で裏面はやや粉白色を帶びます。花は白緑色で、葉腋から下垂する花柄の先に二個の苞とともに二つの花がつきます。苞は披針形で長さ 7~12cm です。花期は5月下旬~6月です。

●生育環境：山地帯の草原に生育します。

●国内の分布：長野県のみに分布します。県内では中部、東部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。そのほか、植林や草原の自然遷移による生育地の悪化や減少が考えられます。また、園芸用としての採取による個体数の減少も考えられます。

参考文献 No.

24, 57

イワショウブ (ユリ科)

Tofieldia japonica



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：

—

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 20~40cm の多年草。根生葉は線形で長さ 10~40cm です。花は白色で茎頂に総状花序を形成し、花被片は長さ 5~7mm、葯が黒紫色で目立ちます。花期は8~9月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の湿地に生育します。

●国内の分布：本州に分布します。県内では北部、中部に分布します。

●市内の分布：堀金の高山帯の湿地に生育しています。

●減少要因：登山者の踏みつけなどによる生育地の悪化や個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 16, 24, 57, 144

アマナ (ユリ科)

Tulipa edulis



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 15~25cm の多年草。根出葉は 2 個で線形、幅 5~10mm、先は次第に細くなります。葉鞘は土中に埋まります。花は白色で暗紫色の脈があり、長さ 2~2.4cm で 1 つの花茎に 1 つ付けます。花期は 4~5 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の開けた草原や水田の畦に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山地帯の日当たりのよい林縁に生育しています。三郷では 1954 年以降確認されていないことから、絶滅した可能性があります。

●減少要因：植林や草原の自然遷移による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

16, 24, 29, 36, 46, 52, 57, 59, 146

ノハナショウブ (アヤメ科)

Iris ensata var. *spontanea*



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：

—

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 40~100cm の多年草。葉は剣状で太い中脈が目立ちます。花茎の頂部に径約 10cm の赤紫色の花を咲かせます。内花被片は直立し高さ 4cm 前後、外花被片は広倒卵形で平開し、中央から爪部にかけて黄色い斑があります。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山地帯の湿った草原や森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の湿った草原に生育しています。

●減少要因：紫色の花が美しいため、園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 13, 16, 19, 24, 29, 46, 57, 145

アヤメ (アヤメ科)

Iris sanguinea



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：

—

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 30~60cm の多年草。葉の中脈はありますが、あまり目立ちません。花茎の頂部に径約 8cm の紫色の花を咲かせます。内花被片は直立し高さ 4cm 前後、外花被片は広倒卵形で平開し、爪部は黄色地に紫色の網脈があります。花期は 5~7 月です。

●生育環境：山地帯の草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・穂高・堀金・明科の山地帯の草原に生育しています。

●減少要因：草原の管理放棄による生育地の減少や、園芸用としての採取による個体数の減少が考えられます。個人の庭や畠の縁での栽培もみられ、穂高では 1930 年に確認されています。

参考文献 No.

1, 4, 16, 18, 19, 24, 36, 46, 52, 57, 59, 144

イトイ (イグサ科)

Juncus maximowiczii



生育環境



▶ 森林地



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 20~30cm の一年草。茎は下部が分枝して這い、やや肉質で柔らかです。葉は狭披針形で長さ 3~7cm です。花は淡紅色の 3 個の花弁からなります。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の湿った岩場などに生育します。

●国内の分布：本州（中部地方）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯から亜高山帯の湿った岩上に生育しています。

●減少要因：河川開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 16, 24, 57, 143

イボクサ (ツユクサ科)

Murdannia keissak



生育環境



▶ 沿岸地



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 20~30cm の一年草。茎は下部が分枝して這い、やや多肉質で柔らかです。葉は狭披針形で長さ 3~7cm です。花は淡紅色の 3 個の花弁からなります。花期は 8~10 月です。

●生息環境：山麓部・平野部の水田の畦や池に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の休耕田に生育しています。

●減少要因：現在の生育地である休耕田を水田として再利用すると絶滅する恐れがあります。稲作の機械化も減少要因と考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 19, 24, 52, 57

オガルカヤ (イネ科)

Cymbopogon tortilis var. *goeringii*



生育環境



▶ 森林地



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 1m の多年草。茎は直立します。葉は線形で幅 3~5mm です。花序の枝は 2 個の小穂が花時にはそれぞれ左右に開いて付くので T 字形になります。花期は 8~11 月です。

●生息環境：山地帯の草原に生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島、小笠原に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：三郷・明科の山麓部から山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：管理放棄や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 52, 57

ドジョウツナギ (イネ科)

Glyceria ischyronoeura



生育環境

ヒロハノドジョウツナギ (イネ科)

Glyceria leptolepis



生育環境

カラフトドジョウツナギ (イネ科)

Glyceria lithuanica



生育環境

安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 1m の多年草。葉はやや薄く幅 3~7mm。花序は 15~40cm、小穂は長さ 5~7mm で、内花穂の龍骨は強く湾曲し、その曲線に沿うように、小軸が波形に強く屈曲するのが特徴的です。花期は 5~7 月です。

●生息環境：山麓部・平野部から山地帯の池沼、河川、水田などの周辺に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・穂高の用水路などに生育しています。

●減少要因：土地開発や圃場整備による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 19, 20, 24, 52, 57, 69, 144, 146

安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 1~1.5m の多年草。葉はやや厚く幅 5~12mm です。葉鞘は縦横の脈により格子紋ができます。花序は円錐形で少し先が垂れ 20~30cm、小穂は 6~8mm で緑色またはわら色です。花期は 7~8 月です。

●生育環境：山地帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の湿地に生育しています。

●減少要因：森林伐採や土地開発、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 36, 52, 57

安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：多年草。花序の枝は 2~5 本ずつ出て、枝は著しくざらつきます。小穂は一部が紫色を帯びますが、苞穎は普通半透明でやや褐色で、稀に淡い紫色に染まることもあります。花期は 7~8 月です。

●生育環境：山地帯から高山帯の湿った草原や森林内の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の亜高山帯の湿地に生育しています。

●減少要因：登山道の拡張などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

ヌマガヤ (イネ科)

Molinia japonica



生育環境



▶ 湿地



▶ 農作地

安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 30~100cm の多年草。葉の表面は粉白色を帯び、幅 2~10mm です。花序は長さ 10~40cm、小穂は長さ 6~14mm、2~6 小花になります。低所では高所と比べ小花が小型になる傾向があります。花期は 8~10 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の湿地に生育しています。

●減少要因：周辺の樹林が成長したことによる生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

アワガエリ (イネ科)

Phleum paniculatum



生育環境



▶ 森林



▶ 草原

安曇野市：準絶滅危惧

長野県：絶滅危惧 IA 類 CR

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 15~50cm の一年草。稈は叢生します。葉は柔らかく幅 2~5mm です。花序は円柱形で直立し、小穂には 1 小花があり、芒穎は基部が狭くなり、先に短い芒を付けます。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の草原や森林の林縁に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：豊科・三郷・堀金・明科の草原や農地に生育しています。

●減少要因：土地改良による生育地の悪化や減少が考えられます。現在の生育地である休耕地を畑として再利用すると絶滅する恐れがあります。明科では 2013 年に絶滅しました。

参考文献 No.

24, 52, 57, 59

ショウブ (サトイモ科)

Acorus calamus



生育環境



▶ 湿地



▶ 池沼

安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：多年草。根茎はよく分枝し、植物体には芳香があります。葉は長さ 50~100cm、幅 10~20mm で中肋が突出します。花には葉よりも短い長さ 20~40cm の苞がつきます。花は淡黄緑色で長さ 4~7cm 花序につきます。花期は 5~7 月です。

●生育環境：山地帯の日当たりのよい湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：山地帯の池沼などに生育しています。行事に使用するため、栽培しているものもあります。

●減少要因：圃場整備や水湿地の改修などによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 19, 24, 38, 48, 52, 57, 59, 144

ヒロハテンナンショウ (サトイモ科)

Arisaema amurense ssp. *robustum*



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

環境省：—

●特徴：高さ 15~55cm の多年草。偽茎と葉柄はほぼ同長で、葉は普通1枚、小葉は全縁、5枚のものが多く、掌状複葉に見えます。仏炎苞は緑色で濃紫色を帯びることもあります。花柄は短く花序は葉の上に出ません。花期は5~6月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育します。

●国内の分布：北海道、本州、九州に分布します。県内では全域（諏訪、上伊那、下伊那を除く）に分布します。

●市内の分布：明科の山麓部の道ばたに生育しています。

●減少要因：道路工事による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 36, 52, 57, 59, 143, 144, 145

ミクリ (ミクリ科)

Sparganium erectum ssp. *stoloniferum*



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：絶滅危惧 II 類

NT

環境省：準絶滅危惧

VU

NT

●特徴：高さ 0.6~2m の抽水性の多年草。葉は線形で断面が三角、幅7~20mm、直立します。花序は分枝し、上部に雄性の頭花、下部に1~3個の雌性の頭花を付けます。花期は6~8月です。果実は径15~20mmの球形の集合果です。

●生育環境：山麓部・平野部の湖や池沼、河川、用水路に生育します。

●国内の分布：北海道から九州まで分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・穂高・明科の用水路に生育しています。市内のものは流れがあるので沈水葉のものが多いです。

●減少要因：河川開発による護岸や河床のコンクリート化は生育地を消失させる可能性があります。また、洗剤や化学肥料による水質汚濁により、個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57, 59, 144, 146

コガマ (ガマ科)

Typha orientalis



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

環境省：—

—

—

●特徴：高さ 1~1.5m の多年草。葉は幅1cm以下で、茎頂に花序を付け、上部に雄花穂、その下に雌花穂を付け、雌花穂は長さ6~10cmになります。花期は6~8月です。

●生育環境：山麓部・平野部の池や休耕田などに生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の犀川の河川敷に生育しています。

●減少要因：河川開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 38, 57, 59

マツバスゲ (カヤツリグサ科)

Carex biwensis



生育環境



▶ 湿地



▶ 河川

安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 10~40cm の多年草。短い根茎から叢生します。葉は幅約 1.5mm、基部の鞘は淡褐色～褐色です。小穂は 1 個で頂生し、長さ 1~2cm、上部は雄花部で線形、はつきり突出し、下部は雌花部で長楕円形となります。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山地帯の日当たりのよい沢沿いや湿地に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の日当たり良い湿地に生育しています。

●減少要因：土地改良による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 24, 57

ハリガネスゲ (カヤツリグサ科)

Carex capillacea



生育環境



▶ 湿地



▶ 河川

安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 10~40cm の多年草。短い根茎から叢生します。葉は幅約 1.5mm、基部の鞘は淡褐色～褐色です。小穂は 1 個で頂生し、長さ 5~10mm、上部は雄花部で短い披針形、下部は雌花部となります。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山地帯の日当たりのよい沢沿いや湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州まで分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の湿地や水辺に生育しています。

●減少要因：土地改良による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 57

ミヤマジュズスゲ (カヤツリグサ科)

Carex dissitiflora



生育環境



▶ 森林



▶ 湿地

安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 40~80cm の多年草。短い根茎から叢生します。葉は幅 3~7mm、基部の鞘は濃褐色です。小穂は苞から 1~2 個ずつ 4~6 個がつき、上部に短い雄花部、下部に雌花部があります。果胞は直立し、長い嘴があります。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州まで分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林の湿った場所に生育しています。

●減少要因：森林伐採による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

19, 24, 57

コタヌキラン (カヤツリグサ科)

Carex doenitzii



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

環境省：—

●特徴：高さ 30~60cm の多年草。短い根茎から叢生します。葉は幅3~5mmで、基部の鞘には葉身がなく、濃血赤色です。小穂は2~3個つき上部の1~2個は雄性で線形、ほかは雌性で長楕円形、柱頭は長く残存します。花期は7~8月です。

●生育環境：亜高山帯から高山帯の草原に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（近畿地方以北）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の乾燥した場所に生育しています。

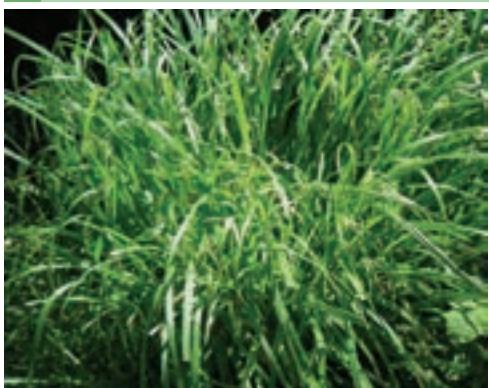
●減少要因：開発や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 16, 24, 57

オタルスゲ (カヤツリグサ科)

Carex otaruensis



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

環境省：—

●特徴：高さ 30~60cm の多年草。短い根茎から叢生します。葉はざらつき、基部の鞘は無葉身で赤褐色です。小穂は5~7個で長さ 3~10cm、頂小穂は雄性で線形、ほかは雌性で長い円柱形、下垂し柄はざらつきます。花期は5~6月です。

●生育環境：山地帯の渓谷や湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から四国に分布します。県内では中部、南部、東部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の湿地に生育しています。

●減少要因：土地改良や道路工事、踏みつけなどによる生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57, 145

タカネマスクサ (カヤツリグサ科)

Carex planata



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：—

NT

環境省：—

●特徴：高さ 40~60cm の多年草。短い根茎から叢生します。葉は幅2~4mm、基部の鞘は褐色で一部無葉身となります。小穂は卵形または円形で長さ 6~10mm、果胞は扁平で広卵形、くちばしは短いです。花期は5~6月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育します。

●国内の分布：北海道から九州まで分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科のやや湿った道ばたに生育しています。

●減少要因：道路開発による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57, 59

ヌマガヤツリ (カヤツリグサ科)

Cyperus glomeratus



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：絶滅危惧 IB 類

EN

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 20~70cm の一年草。葉は幅 3~7mm です。花序は単生または 1 回分枝し 3~10cm、苞は 3~4 個で花序より長くなります。枝は 3~5 個で、長さ 10cm 以下、花穂は多数の小穂を付け、濃褐色です。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湿地に生育します。

●国内の分布：本州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・穂高・明科の湿地に生育しています。

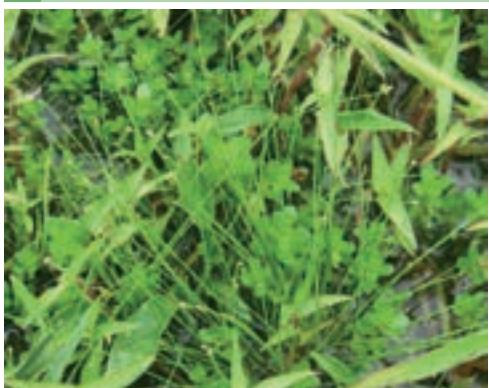
●減少要因：水質汚濁と土地開発による生育地の悪化や減少が考えられます。穂高では、1945 年以降確認されていないことから、絶滅したものと考えられます。

参考文献 No.

20, 24, 57, 59

ハリイ (カヤツリグサ科)

Eleocharis congesta



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：

—

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 10~30cm の一年草または多年草。叢生します。基部の鞘は淡褐色で一部赤褐色を帶びます。小穂は披針形若しくは狭卵形で長さ 3~8mm、茎頂につき、基部に殖芽ができます。花期は 7~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・堀金の湿地や農地に生育しています。

●減少要因：圃場整備、堰の開発や除草剤の使用による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 57

アゼテンツキ (カヤツリグサ科)

Fimbristylis squarrosa



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：

—

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 10~20cm の一年草。叢生します。葉は柔らかくて糸状で、幅は 0.5mm 程度です。花序は 1~3 回分枝し、長さ 3~5cm、小穂はやや多く広披針形で 4~10mm、さび色を帶びます。花期は 7~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の畑地や道ばたに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科の水田の土手に生育しています。

●減少要因：水田の秋起こし、畦の作り方の変化、草刈りや除草剤の使用による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 18, 19, 20, 34, 36, 52, 57

クロアブラガヤ (カヤツリグサ科)

Scirpus sylvaticus var. *maximowiczii*



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 1m の多年草。茎は、鈍3稜形、6~8 個の節がつきます。葉は幅 5~10mm、葉鞘は乾燥時に茎を包みます。花序は大型で数回分枝し、苞は 2~3 個について花序より長く、小穂は約 5mm で暗緑色、1 ~3 個ずつです。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山地帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：豊科・堀金の山地帯の湿地に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。また、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 16, 24, 57

ウキヤガラ (カヤツリグサ科)

Scirpus yagara



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 1~1.5m の多年草。根茎は、太く長く匍匐し先端に塊茎をつくります。葉は長く伸びて幅 6~8mm です。花序は頂生し、長さ 7cm にもなる枝を 3~8 個付け、苞は 2~4 個あって葉状です。小穂は卵形で赤褐色、花期は 7~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の池沼や河川に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の犀川河川敷にある人工池に生育しています。

●減少要因：河川開発により生育地の悪化や減少が考えられます。安曇野市では個体数がごくわずかです。

参考文献 No.

4, 19, 56, 59

ササバギンラン (ラン科)

Cephalanthera longibracteata



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

NT

長野県： — —

環境省： — —

●特徴：高さ 30~50cm の多年草。葉は 6~8 個が互生し、卵状披針形、長さ 7~15cm で基部が茎を抱きます。花は白色で距があり、茎の上部にややまばらな花序を形成します。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床などに生育し、やや暗い場所を好みます。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科・堀金・明科の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。植林による生育地の悪化や減少が考えられます。また、白花が美しいため、園芸用としての採取による個体数の減少も考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 19, 21, 24, 36, 52, 57, 59, 143, 144

イチヨウラン (ラン科)

Dactylostalix ringens



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：準絶滅危惧

NT

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 10~20cm の多年草。葉は 1 枚で卵形、地表に接してつき、長さ 3~6cm です。花はやや大きく、茎頂に 1 個つき、萼片や側花弁は淡緑色で長さ 2~2.5cm、唇弁だけは白地に紫褐色の斑点があります。花期は 6~7 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の常緑針葉樹林の林床に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。また、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4, 13, 15, 16, 24, 52, 57, 143, 144

エゾスズラン (ラン科)

Epipactis papillosa



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：

—

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 30~60cm の多年草。全体に褐色の短い縮毛があります。葉は橢円状卵形、長さ 7~12cm の鋭尖頭で 5~7 枚が互生します。花は緑色で多数が総状につきます。花期は 7~8 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の森林の林縁や草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の明るい落葉広葉樹林に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。また、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

3, 4, 16, 24, 52, 57, 143

ジンバイソウ (ラン科)

Platanthera florentii



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：

—

NT

環境省：

—

●特徴：高さ 15~30cm の多年草。葉は二枚が根生状につき、表面は光沢があり、縁は波打ちます。花は淡緑色で茎の上方に 5~10 個を疎らに付け唇弁は 7~10mm、距は前方に湾曲し 15~20mm です。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：三郷の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。また、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 36, 52, 57, 144

ネジバナ (ラン科)

Spiranthes sinensis var. *amoena*



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県： — —

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 10~40cm の多年草。葉は広線形で数枚が根生し、長さ 5~20cm です。花は淡紅色で多数つき、螺旋状にねじれた穂状花序を形成します。花期は 7~8 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の日当たりのよい草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・三郷の山地の草原に生育しています。

●減少要因：管理放棄や植林による生育地の減少が考えられます。また、園芸用としての採取による個体数の減少も考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 18, 19, 36, 52, 56, 63, 69

ショウキラン (ラン科)

Yoania japonica



生育環境



安曇野市：準絶滅危惧

長野県：絶滅危惧 II 類 VU

NT

環境省： — —

●特徴：高さ 10~25cm の腐生植物。太くやや曲がりながら立ち、全体に白色で紅色を帶びます。花は淡紅色で距があり、茎の中ほどから上で分枝した長い柄の先に 1 つずつ、1~8 個ができます。花期は 6~7 月です。

●生育環境：山地帯の森林の林床やササ原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山地帯の森林に生育しています。

●減少要因：森林伐採により減少しました。また、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 4

サンリンソウ (キンポウゲ科)

Anemone stolonifera



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県： — —

DD

環境省： — —

●特徴：高さ 15~30cm の多年草。茎葉は 3 深裂し 3 枚が輪生し、小葉は 2 回羽状に欠刻します。花は径約 1.5cm で 1~4 個を付けます。花弁ではなく、白色の萼片が 5 枚となります。花期は 6~7 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の林縁などに生育します。

●国内の分布：北海道、本州（中部地方以北）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育していましたが、1953 年以降確認されていません。

●減少要因：森林伐採により減少しました。また、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

カザグルマ (キンポウゲ科)

Clematis patens



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：絶滅危惧 IA類

CR

DD

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：つる性の多年草。茎は木化します。葉は対生し、複葉で3～5個の小葉からなります。花は淡紫色若しくは白色で大きく、直径7～12cm、長い花柄の先に上向きに1個頂生します。花期は5～6月です。【長野県指定希少野生動植物種】

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の森林の林縁に生育します。

●国内の分布：本州から九州に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：豊科の草原に生育していましたが、1959年以降確認されていません。

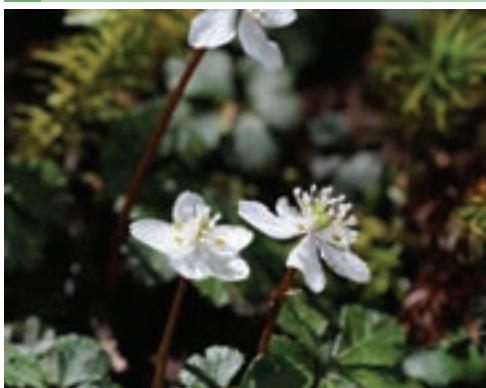
●減少要因：園芸用としての採取により個体数が減少しました。花が大きく見栄えが良いので観賞用となっています。

参考文献 No.

24, 52, 57

バイカオウレン (キンポウゲ科)

Coptis quinquefolia



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：—

—

DD

環境省：—

—

●特徴：高さ4～15cmの多年草。根出葉は鳥足上複葉で強い光沢のある5枚の小葉からなります。花茎は上部で分枝し、1～3個の花を付けます。花は白い花弁状の萼片が目立ち、直径約15～18mmです。花期は4～5月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の常緑針葉樹林の林床などに生育します。

●国内の分布：本州（福島県以南）、四国に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の亜高山帯の常緑針葉樹林に生育していましたが、1924年以降確認されていません。

●減少要因：登山者の踏み付けによる個体数の減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 13, 16, 24, 52, 57, 143, 144

マメザクラ (バラ科)

Prunus incisa



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：準絶滅危惧

NT

DD

環境省：—

—

●特徴：高さ3～5mの落葉広葉樹。樹皮は紫褐色または暗灰色でざらつきます。葉は小さく長さ3～5cm、幅1.5～3cm、葉の上面は裏面より多毛です。花は径1.6～2cmで白色または淡紅色です。花期は3～5月中旬、展葉より先か同時に咲きます。

●生育環境：山地帯から亜高山帯に生育します。

●国内の分布：本州（関東地方、中部地方）に分布します。県内では東部、南部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の森林に生育していましたが、1924年以降確認されていません。

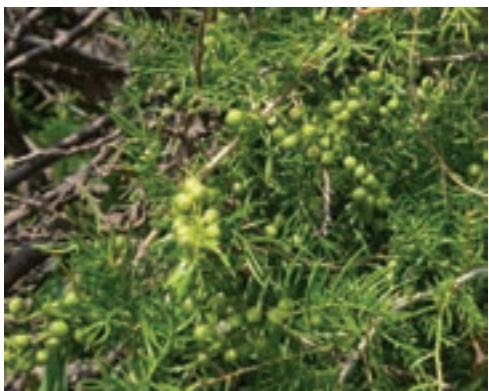
●減少要因：森林伐採、植林、土地開発などによる生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57, 69

クサスギカズラ (ユリ科)

Asparagus cochinchinensis var. *lucidus*



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：情報不足

DD

DD

環境省：

—

●特徴：高さ 1~2m の多年草。太い枝の葉は刺状になり、葉状枝は固く葉腋に 1~3 個が束生し線形で 3 穂があります。花は黄白色、鐘状漏斗形で長さ 3~4mm、葉腋ごとに 2~3 個がつきます。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の森林の林縁、疎林内に生育します。

●国内の分布：本州から南西諸島まで分布します。県内では中部に分布します。

●市内の分布：豊科の山地帯の草原に生育していましたが、1969 年以降確認されていません。

●減少要因：草原の管理放棄や植林による生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

ハリコウガイゼキショウ (イグサ科)

Juncus wallichianus



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：

—

DD

環境省：

—

●特徴：高さ 20~50cm の多年草。花や果実はコウガイゼキショウに似ていますが、葉は円状になり、單管質（隔壁が 1 列で竹竿状）になることで識別されます。花期は 8~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から南西諸島に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：堀金の水田や湿地に生育していましたが、1963 年以降確認されていません。

●減少要因：土地開発や圃場整備などによる生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 36, 57

エゾカモジグサ (イネ科)

Agropyron yezoense



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：

—

DD

環境省：

—

●特徴：多年草です。外見はヤマカモジグサによく似ていますが、花序に小穂を疎らに 5~8 個しか付けないのに対し、本種は 10~14 個や密に付けます。花期は 7~8 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：北海道、本州（東北地方から中部地方）に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科の土手や草原に生育していましたが、1956 年以降確認されていません。

●減少要因：土地開発や圃場整備などによる生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 13, 24, 57, 69

イワタケソウ (イネ科)

Asperella japonica



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

DD

環境省：

—

●特徴：高さ 60~80cm の多年草。葉は幅 8~15mm です。花序の先は下垂し、小穂には 1 小花があり、各節に 1 個ずつ付き、外花穎の先は長さ 1.5~2.5cm の芒になります。苞穎はない、もしくは短い針があります。花期は 6~7 月です。

●生育環境：山地帯から亜高山帯の森林の林縁などに生育します。

●国内の分布：本州（中部地方）から九州に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：豊科の土手や草原に生育していましたが、1951 年以降確認されていません。

●減少要因：土地開発や圃場整備などによる生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

オオイチゴツナギ (イネ科)

Poa nipponica



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：

—

DD

環境省：

—

●特徴：葉はやや幅広く、先は急に狭まり、北地のものほど狭くなる傾向があります。外花穎の側面の脈間の伏毛は少なく、ほとんどないこともあります。葉舌は白色で背面が全く無毛になります。花期は 5~7 月です。

●生育環境：山麓部・平野部から山地帯の荒地や道ばたに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：豊科の草原や道ばたに生育していましたが、1912 年以降確認されていません。

●減少要因：土地開発や道路開発、圃場整備などによる生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 36, 52, 57, 143

ヒメゴウソ (カヤツリグサ科)

Carex phacota



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：

—

DD

環境省：

—

●特徴：高さ 30~60cm の多年草。短い根茎から叢生します。葉は幅 2~6mm、基部の鞘は一部葉身が無く栗褐色です。小穂は 3~5 個で、頂小穂が雄性、ほかは雌性で長さ 2~6mm、鱗片は芒となり、果胞の嘴は短いです。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山麓・平野部～山地帯の湿地や沢沿いに生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：明科の湿った草原に生育していましたが、1924 年以降確認されていません。

●減少要因：土地開発や圃場整備などによる生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 48, 57, 59

シカクイ (カヤツリグサ科)

Eleocharis wichurae



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：—

DD

—

環境省：—

●特徴：高さ 30~50cm の多年草。茎は、普通 4 つの稜があり、叢生しますが時に匍匐することもあります。基部の鞘は淡褐色で一部赤褐色を帯び、長さ 2~5cm です。茎はやや太く、小穂は円柱形から広針形で、茎頂につきます。花期は 7~9 月です。

●生育環境：山麓部・平野部の湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高・堀金の山麓部の湿地に生育していましたが、1952 年以降確認されていません。

●減少要因：土地開発や圃場整備などによる生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 16, 24, 57

カキラン (ラン科)

Epipactis thunbergii



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：準絶滅危惧

NT

DD

—

環境省：—

●特徴：高さ 30~70cm の多年草。葉は狭卵形で長さ 7~12cm、いちじるしい縦脈があり、基部は茎を抱き、5~10 枚が付きます。花は黄褐色で唇弁には赤紫色の斑紋があり、10 個程度が横向きに咲きます。花期は 6~7 月です。

●生育環境：山地帶の日当たりのよい湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帶の湿った草原に生育していましたが、1952 年以降確認されていません。

●減少要因：土地開発や圃場整備などによる生育地の減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 19, 24, 57

ミズトンボ (ラン科)

Habenaria sagittifera



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

DD

環境省：絶滅危惧 II 類

VU

●特徴：高さ 40~70cm の多年草。葉は茎の下半分に数枚あり、線形で長さ 5~20cm、基部は鞘となり茎を抱きます。花は淡緑色で茎頂に総状につき、径 8~10mm、唇弁は長さ約 2cm で 3 裂して十字型になります。花期は 7~9 月です。

●生育環境：山地帶の日当たりのよい湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帶の湿地に生育していましたが、1953 年以降確認されていません。

●減少要因：土地開発や生育地の管理放棄、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

ミズチドリ (ラン科)

Platanthera hologlottis



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：準絶滅危惧

NT

DD

環境省：—

—

●特徴：高さ 40~80cm の多年草。葉は下部に大形のものが 4~6 枚付付き、長さ 10~20cm、線状披針形、鋸尖頭、上部の葉は次第に小さくなります。花は白色で茎頂に穂状に多数付き、距は下垂して 10~12mm です。花期は 7~8 月です。【長野県指定希少野生動植物種】

●生育環境：山地帯から亜高山帯の日当たりのよい湿地や草原に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の湿地に生育していましたが、1951 年以降確認されていません。

●減少要因：土地開発や生育地の管理放棄、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57, 146

マンシュウヤマサギソウ (ラン科)

Platanthera mandarinorum ssp. var. *cornu-bovis*



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：絶滅危惧 II 類

VU

DD

環境省：—

—

●特徴：高さ 30~50cm の多年草。タカネサギソウやオオキソチドリに似ますが、より大型になります。花は黄緑色で距の長さは 13~24mm ほどになります。花期は 7 月です。

●生育環境：亜高山帯の湿地に生育します。

●国内の分布：本州（中部地方以北）に分布します。県内では中部に分布します。

●市内の分布：穂高の山地帯の湿地に生育していましたが、1952 年以降確認されていません。

●減少要因：土地開発や生育地の管理放棄、植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

ミヤマチドリ (ラン科)

Platanthera ophrydioides var. *takedae*



生育環境



安曇野市：情報不足

長野県：絶滅危惧 I B 類

EN

DD

環境省：—

—

●特徴：高さ約 25cm の多年草。最下部の葉が大きく、広楕円形、鈍頭で長さ 5~7cm、基部は茎を抱き、上方の葉は披針形で次第に小さくなります。花は黄緑色で 5~10 個を穂状に付け、距は円錐形で 1~3mm です。花期は 7~8 月です。

●生育環境：亜高山帯から高山帯にかけての草原や森林に生育します。

●国内の分布：本州中部に分布します。県内では北部、中部、南部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の草原に生育していましたが、1962 年以降確認されていません。

●減少要因：管理放棄や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

1, 3, 4, 13, 16, 24, 57, 144

ガッサンチドリ (ラン科)

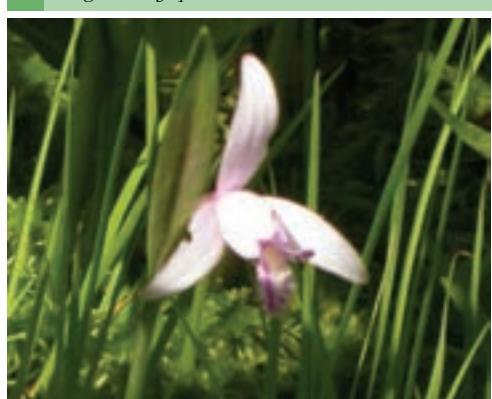
Platanthera ophrydioides var. *uzenensis*



生育環境

トキソウ (ラン科)

Pogonia japonica



生育環境

ベニカヤラン (ラン科)

Saccolabium matsuran



生育環境

安曇野市：情報不足

長野県：絶滅危惧 IB類

EN

DD

環境省：絶滅危惧 IB類

EN

●特徴：高さ約 25cm の多年草。ミヤマチドリに似ていますが、唇弁の長さは 2~2.5mm、距は楕円形です。花期は 7~8 月です。

●生育環境：亜高山帯の草原に生育します。

●国内の分布：北海道、本州に分布します。県内では北部、中部に分布します。

●市内の分布：堀金の山地帯の草原に生育していましたが、1951 年以降確認されていません。

●減少要因：管理放棄や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57

安曇野市：情報不足

長野県：絶滅危惧 II類

VU

DD

環境省：準絶滅危惧

NT

●特徴：高さ約 20cm の多年草。地下茎は長く横に伸びる。基部に鱗片葉があり、葉は 1 個で中央につき、長さ 4~9cm です。花は紅紫色で 1 個頂生し横向きに開き、花被片は長さ 2~2.5cm、唇弁は中ほどで 3 裂します。花期は 6~7 月です。【長野県指定希少野生動植物種】

●生育環境：日当たりのよい湿地に生育します。

●国内の分布：北海道から九州に分布します。県内では全域に分布します。

●市内の分布：穂高の日当たりのよい湿地に生育していましたが、1952 年以降確認されていません。

●減少要因：園芸用としての採取により個体数が減少しました。管理放棄や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

4, 24, 57

安曇野市：情報不足

長野県：絶滅危惧 IA類

CR

DD

環境省： —

—

●特徴：茎の長さ 1~3cm の常緑性多年草。細長い根で樹幹などに着生します。葉は厚く、長さ 1~2cm で密に互生し、暗紅紫色の斑点があります。花は 1~3 個つき、淡黄緑色で暗紫色の斑点があり、唇弁は幅広く短い距があります。花期は 5~6 月です。

●生育環境：山地帯の森林に生育します。木の幹に着生します。

●国内の分布：本州（宮城県以西）から九州に分布します。県内では中部、南部に分布します。

●市内の分布：穂高の落葉広葉樹林に生育していましたが、1953 年以降確認されていません。

●減少要因：園芸用としての採取により個体数が減少しました。管理放棄や植林による生育地の悪化や減少が考えられます。

参考文献 No.

24, 57